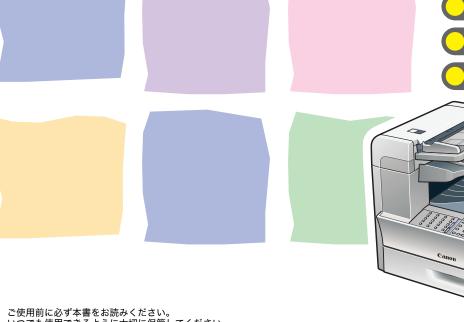
Canofax L1000

操作ガイド（本体編）

- こんなことができます
- お使いになる前に
- 原稿と用紙の取り扱い
- コピーする
- 送信する
- 受信する
- コンピュータからプリントする
- コンピュータからファクス送信する
- リモート UI
- システム管理設定
- 日常のメンテナンス
- 困ったときには
- 各種機能の登録／設定
- 付録

ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール

スタートアップガイド

- 本製品の操作方法
- メンテナンス
- 仕様
- ネットワーク環境に接続しなくても使用できる機能

操作ガイド（本体編）（本書）

- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール
- 本製品の操作方法
- メンテナンス
- 仕様
- ドライバ、ネットワークを含むすべての機能

操作ガイド（総合編）

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている HTML マニュアルです。

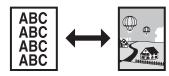
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

こんなことができます

コピー機能

原稿の種類に合わせて、画質を調節する

コピー画質の調節

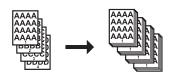
→ P.3-3

原稿の読み取り濃度を調整する

読み取り濃度の調節

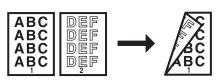
→ P.3-4

ページ順に並べる

ソートコピー

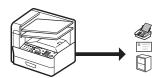
→ P.3-6

両面にコピーする

両面コピー

→ P.3-7

送受信機能

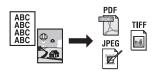
いろいろな送信手段で文書を送信する

ファクス／電子メール * ／Iファクス * ／ファイルサーバ送信 *

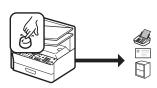
*オプションのセンドキットを装着している場合に使用できます。

用途に合わせてファイル形式を指定する

画像の調節 *

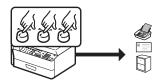
*オプションのセンドキットを装着している場合に使用できます。

→ P.4-6

キー 1 つで宛先を指定する

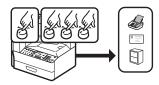
ワンタッチダイヤル

→ P.4-30

3 桁の番号で宛先を指定する

短縮ダイヤル

→ P.4-32

複数の宛先を 1 つの宛先として指定する

グループダイヤル

→ P.4-34

宛先を検索する

宛先表からのダイヤル

→ P.4-36

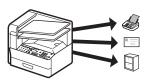
通話中の場合かけなおす

自動リダイヤル

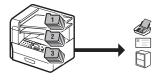
→ 操作ガイド（総合編）

複数の宛先に文書を送る

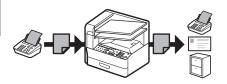
同報送信

→ P.4-46

過去に指定した宛先を呼び出す

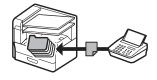
リダイヤル機能／コール機能

→ P.4-52

受信した文書を転送する

転送

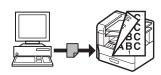
→　操作ガイド（総合編）

受信した文書をプリントしないでメモリに蓄積する

代行受信

→　P.5-6

プリンタ機能

コンピュータからプリントする

プリント *

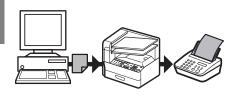
*オプションのネットワークプリンタキットを装着している場合に使用できます。

→　オンラインヘルプ

PC ファクス機能

コンピュータからファクスを送信する

PC ファクス *

*オプションのネットワークプリンタキットを装着している場合に使用できます。

→ オンラインヘルプ

リモート UI 機能

コンピュータから本製品を管理する

リモート UI*

*オプションのネットワークプリンタキットを装着している場合に使用できます。

→ 操作ガイド（総合編）

システム管理機能

部門 ID で本製品の使用者を管理する

部門別 ID 管理

→ 操作ガイド（総合編）

目次

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

安全にお使いいただくために

本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になることがあります。本製品の修理については、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

取り扱いと保守／点検について

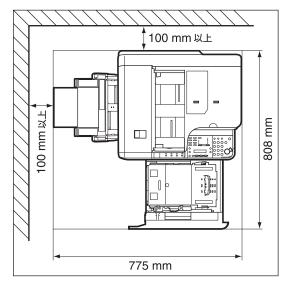
- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。
- 本製品の排紙部にあるローラには手を近づけないでください。動作中でなくても、プリントなどのため急に動き出し、衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源の入切、操作パネル部や後ろカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 排紙直後の用紙は高温になっている場合があります。用紙を取り出す際、取り出した用紙を揃える際に火傷の原因になることがあります。
- 持ち運ぶときは、本製品の左右にある取っ手をしっかりと持ってください。用紙カセットや金具部分は、絶対に持たないでください。
- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
- 本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。
- 水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- 以下のような場合は本製品の主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
  - 電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
  - 本製品の中に水などの液体がこぼれたとき
  - 本製品が雨や水に濡れたとき

- 同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
    手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となったりしますのでご注意ください。
  - 本製品を落としたり、傷つけたりしたとき
  - 本製品の動作に明らかに異常がみられるとき、エラーランプが点滅し続けるとき
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- この製品はIEC60825-1:2007においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。
- 以下のラベルが本製品内部のレーザースキャナユニットに貼られています。

 注意

本書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。

設置について

- 平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。
- 涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。
- ちりやほこりがない環境でお使いください。
- 高温多湿にならない環境でお使いください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。
- 水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。
- 屋外での使用や設置は避けてください。
- スピーカーなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。
- 本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。通気口は壁や他の機器などから 10cm 以上離して設置してください。

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行って下さい。
- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、直ちに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結んだりしないでください。
- 使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

電源について

- 雷が鳴ったら、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。（突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、内蔵バッテリによりユーザデータ設定内容やスピードダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリ内に蓄積されたジョブは、約 3 時間保存されます。）
- 電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 分以上間隔をおいてください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

● 使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

● 使用済みカートリッジなどの廃棄について

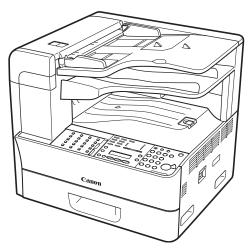
使用済みとなったカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「第 11 章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。

イラストについて

本書に使われているイラストは、特にお断りがない限り、オプション機器を装着していない場合のものです。

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージ、コンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- キー名称：[ストップ]
- ディスプレイ：＜用紙を補給して下さい＞
- コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：[詳細設定]

本書の操作説明で使用している操作パネル図中の番号は、操作手順の番号に対応しています。

略称について

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（ ）内の名称で登録されている場合があります。
Canofax L1000 （F189505）

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

高調波の抑制について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

IPv6 Ready Logo について

本製品は、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-1 を取得しています。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております Canon Cartridge 304 を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録３～５に基づき試験を実施しました。）

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

● 著作物など
他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

● 通貨、有価証券など
以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

● 公文書など
以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]
- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
- 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Canofax はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

第三者のソフトウェアについて

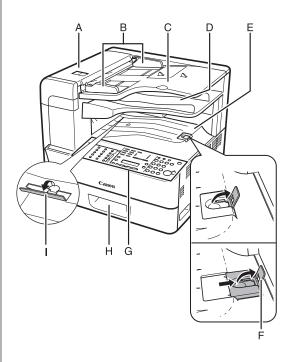
A. お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下１～８の条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
    - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
    - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

1 お使いになる前に

各部の名称とはたらき

A　ADF（自動原稿給紙装置）
セットされた原稿を自動的に読み込み位置に送ります。

B　原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調節します。

C　原稿給紙トレイ
原稿をセットします。

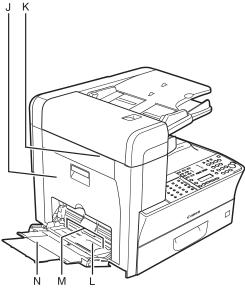
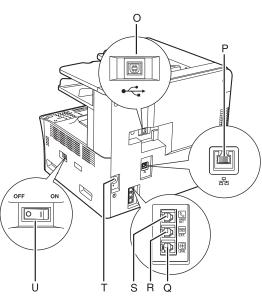
D　原稿排紙トレイ
原稿が排出されます。

E　排紙トレイ
コピー、プリント、ファクスなどの出力紙を排出します。

F　排紙ストッパー
排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。
A4 サイズの用紙で出力する場合に、ストッパーを開いて使用します。

G　操作パネル
本製品を操作します。

H　用紙カセット
用紙をセットします。

I　スタックサポート
排紙トレイでの用紙のカール防止に役立ちます。
カールしやすい用紙をお使いの場合、できるだけ開いた状態で使用してください。

J　左カバー
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

K　ADF 読み取りエリア
ADF にセットされた原稿を読み取ります。

L　手差しトレイ
標準サイズ以外の用紙や、厚いまたは薄い用紙をまとめてセットできます。

M　手差しトレイ用紙ガイド
用紙の幅に合わせて調節します。

N　補助トレイ
引き出して用紙をセットします。

O　USB ポート
USB ケーブルを接続します。

P　イーサーネットポート
ネットワークケーブルを接続します。

Q　電話回線端子
電話線コードを接続します。

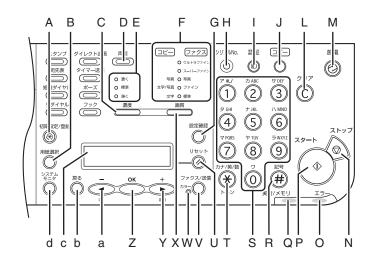
R　外付け電話機用端子
外付け電話機を接続します。

S　ハンドセット端子
オプションのハンドセットケーブルを接続します。

T　電源ソケット／アース端子
電源コードおよびアース線を接続します。

U　主電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。

操作パネル

操作パネル右部分

A　［初期設定／登録］キー
各種の登録や機能の設定をするときに押します。

B　［用紙選択］キー
給紙元（カセットまたは手差しトレイ）を選択するときに使います。

C　［濃度］キー
コピーや送信原稿の濃度を調整するときに使います。

D　［両面］キー
両面コピーまたは両面ファクスを設定するときに使います。

E　濃度ランプ
コピー／ファクスモードで設定された濃度が点灯します。

F　画質ランプ
コピー／ファクスモードで設定された画質が点灯します。

G　［設定確認］キー
コピーの設定を確認するときに使います。

H　［シリアル No.］キー
シリアル番号を確認するときに使います。

I　［認証］キー
ID 管理モードが有効な状態のときに使います。本製品を使用するときや管理モードに切り替えるときに押します。

J　［コピー］キー
コピーモードに切り替えます。

L　［クリア］キー
入力した文字や数字を削除するときに使います。

M　［節電］キー
手動で節電状態に設定したり解除したりするときに使います。節電状態のときはグリーンに点灯します。

N　［ストップ］キー
操作をキャンセルするときに使います。

O　エラーランプ
エラーが起きたときに点滅または点灯します。

P　［スタート］キー
コピー、スキャン、ファクス送信などを開始するときに使います。

Q　実行／メモリランプ
本製品が動作中に点滅します。待機中のジョブがあるときは点灯します。

R　［記号］キー
記号を入力するときに使います。

S　テンキー
文字や数字を入力するときに使います。

T　［トーン］キー
プッシュ回線とダイヤル回線を切り替えるときに使います。

U　［リセット］キー
待受画面に戻ります。

V　［ファクス／送信］キー
ファクス／送信モードに切り替えます。

W　カラーランプ
カラー送信を選んだときに点灯します。

X　［画質］キー
コピーやファクスの画質を設定するときに使います。

Y　［+►］キー
設定する数値を上げるときに使います。また、次のメニュー項目を表示するときにも使います。

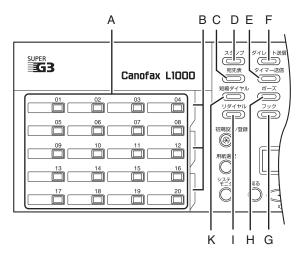
Z　［OK］キー
設定、登録した内容を確定するときに使います。

a　［◄−］キー
設定する数値を下げるときに使います。また、前のメニュー項目を表示するときにも使います。

b　［戻る］キー
前の画面に戻るときに押します。

c　ディスプレイ
メッセージや動作状況を表示します。設定操作中は選択項目、テキスト、数字などを表示します。

d　［システムモニタ］キー
ファクス、プリント、コピー、レポート印刷などの状況を確認するときに使います。

操作パネル左部分

A　［ワンタッチ］キー
ワンタッチダイヤルに登録した番号にダイヤルするときに使います。
キー 01-04 は定型業務ボタンとして使用します。

B　ワンタッチキーパネル
ワンタッチキー01 ～ 20 を使うときは閉じておきます。21 ～ 40 を使うときは 1 枚開きます。41 ～ 60 を使うときは 2 枚開きます。61 ～ 80 を使うときは 3 枚開きます。

C　［宛先表］キー
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛先を相手先の名前またはファクス番号／メールアドレス／Iファクスアドレス／ホスト名から検索するときに使います。

D　［スタンプ］キー
スタンプ機能を設定するときに使います。

E　［タイマー送信］キー
あらかじめ宛先の指定や原稿の読み込みをしておき、指定した時刻に送信するときに使います。

F　［ダイレクト送信］キー
ダイレクト送信を設定するときに使います。

G　［フック］キー
オプションのハンドセットや外付け電話機の受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

H　［ポーズ］キー
ファクス番号にポーズを挿入するときに使います。

I　［リダイヤル］キー
待機中のとき、送信した相手先に設定とともに、もう一度かけなおすときに押します。
オプションのセンドキットを装着している場合は、コール機能として使用します。

K　［短縮ダイヤル］キー
短縮ダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

ディスプレイ（待受画面）

ファクス／送信モード

ファクス

コピーモード

コピー　100％
カセット1：A4　01

メモ

- 主電源スイッチを入れると、ディスプレイに<ウォーミングアップ中 … ／お待ちください>と表示したのち、待受画面に切り替わります。
- 宛先の登録件数によっては、主電源スイッチを入れたあと、待ち受け画面が表示されても操作パネルでのキー操作が受け付けられない場合があります。その場合はキー操作が受け付けられるまでお待ちください。
- オートクリアが有効になっている場合、ディスプレイが待受画面に戻ります。
- 部門別／ユーザ ID 管理モードは、部門別／ユーザ ID 管理機能を設定している場合に表示されます。操作方法については、「部門別／ユーザ ID 管理を設定している場合」（→ P.1-8）を参照してください。

ID 管理モード

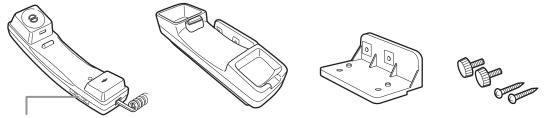
● 部門別 ID 管理の場合

部門ID入力
_

● ユーザ ID 管理の場合

ユーザIDを入力　：A
_

ハンドセット（オプション）

本機を電話機としても使う場合と手動でファクス文書を受信したい場合は、オプションのハンドセットを取り付けください。ハンドセットの購入については担当サービスにご連絡ください。

ボールペンなど先のとがったものでハンドセットの着信音量を選択してください。

メモ

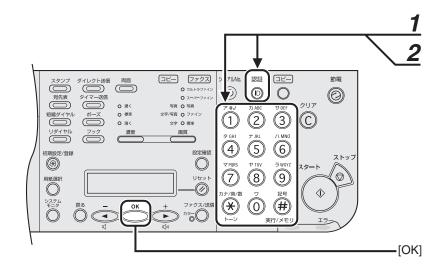
ハンドセットの取り付けについてはスタートアップガイド「ハンドセット（オプション）をセットする」を参照してください。

ハンドセット取扱上の注意

- ハンドセットは直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ハンドセットは高温または高湿の場所に取り付けないでください。
- ハンドセットにエアゾールの光沢剤を吹きかけないでください。故障の原因になります。
- 水を含ませて固く絞った布でハンドセットを掃除してください。

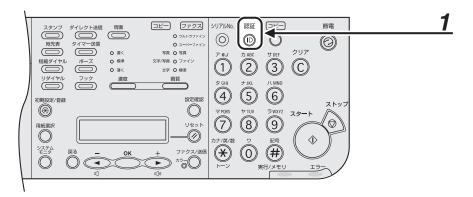
部門別／ユーザID管理を設定している場合

＜システム管理設定＞にある部門別ID管理またはユーザID管理を＜ON＞に設定している場合は、登録済みの ID と暗証番号を入力した場合のみ本製品が使えるように設定することができます。詳細については、操作ガイド（総合編）＞ セキュリティ ＞ 部門別 ID 管理を設定する または ユーザ ID 管理を設定する を参照してください。

ご使用の前に必要な作業

1 テンキーを使って部門 ID またはユーザ ID を入力し、[OK] または [認証] を押します。

2 暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って暗証番号を入力し、[OK] または [認証] を押します。

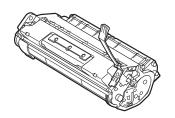
待受画面が表示されます。

ご使用後に必要な作業

1　［認証］を押します。

トナーカートリッジ

本製品に付属のキヤノン純正スタータートナーカートリッジ（同梱用）の寿命は、約 2,000 ページです。また、交換用のキヤノン純正トナーカートリッジの寿命は、約 4,500 ページです。このページ数は印字率 5%* で A4 サイズの用紙に印刷した場合の値です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図、表、グラフなどを多用した、空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの寿命が短くなります。トナーカートリッジ交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

*「印字率5%」とは、用紙全体に対してトナーでカバーされる面積が5%であることをいいます。

トナーカートリッジ名：
Canon FX12 Cartridge

機種名	同梱品／交換品	対応するキヤノン純正カートリッジ	印字枚数
Canofax L1000	同梱品	Canon FX12 S-Cartridge	A4 サイズで約 2,000 枚
	交換品	Canon FX12 Cartridge	A4 サイズで約 4,500 枚

トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないように必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- カートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- カートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- カートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

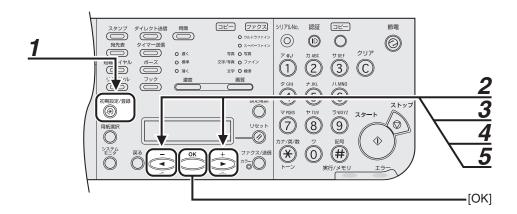
トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。

消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。ご不明な場合は巻末のキヤノンお客様相談センター（巻末参照）までお問い合わせください。

タイマー設定

スリープモードを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜タイマー設定＞を選択し、［OK］を押します。

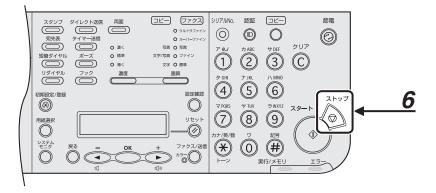
3 ［◄－］または［＋►］を押して＜オートスリープタイム＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄－］または［＋►］を押して時間を選択し、［OK］を押します。

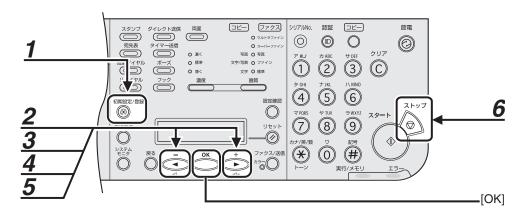
時間は 3 分～ 30 分の間で設定できます（1 分刻み）。
テンキーを使って数値を入力することもできます。

メモ

初期値は 5 分に設定されています。

6 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

- スリープモードに移行すると、［節電］キーがグリーンに点灯します。
- スリープモードから復帰するには、［節電］を押してください。
- 手動でスリープモードにするには、［節電］を押してください。
- 以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
  - ・本製品が操作中の場合
  - ・実行／メモリランプが点灯または点滅している場合
  - ・エラーメッセージがディスプレイに表示され、エラーランプが点滅している場合
  - ・手差しトレイに用紙がセットされている場合
  - ・本体内で紙づまりが発生している場合
  - ・オプションのハンドセットまたは外付け電話の受話器が外れている場合
- 以下の状態の場合は、スリープモードが解除されます。
  - ・［節電］が押された場合
  - ・ファクスを受信した場合
  - ・オプションのハンドセットまたは外付け電話の受話器が外れている場合
  - ・コンピュータからプリントジョブが送信され、プリントが開始された場合
- スリープモードの状態で主電源を切ったあとは、10 秒以上たってから主電源を入れなおしてください。

オートクリアタイムを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、ディスプレイが待受画面に戻ります（オートクリア機能）。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜タイマー設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜オートクリアタイム＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄－］または［＋►］を押して時間を選択し、［OK］を押します。

時間は 1 分～ 9 分の間で設定できます（1 分刻み）。
テンキーを使って数値を入力することもできます。

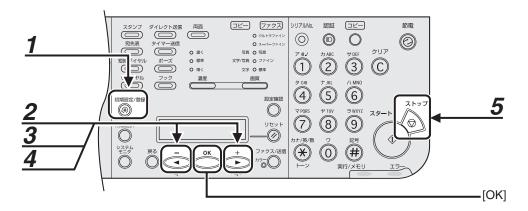
6 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

タイムゾーンを設定する

世界の地域別標準時間帯は、GMT（± 0 時）からの時差（± 12 時間以内）を使用して各国の標準時間帯としています。この時差を使用している地域をタイムゾーンといいます。日本の標準時はこれより 9 時間先行しているため、＜ GMT+09:00 ＞を設定します。

メモ

イギリスのグリニッジ天文台の時刻（グリニッジ標準時）を GMT（Greenwich Mean Time）と呼びます。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ —］または［+ ►］を押して＜タイマー設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ —］または［+ ►］を押して＜タイムゾーン＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ —］または［+ ►］を押して希望のタイムゾーンを選択し、［OK］を押します。

5 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

メモ

- 設定内容は本製品を再起動すると有効になります。
- 再起動を行う場合は、一度電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしてください。

原稿と用紙の取り扱い

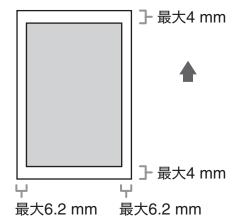
使用可能な原稿

	ADF
原稿の種類	普通紙（同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿）
サイズ（幅 x 長さ）	最大 297mm × 432mm（最長 630mm） 最小 148mm × 148mm
重量	片面読込の場合 : 50 ～ 128 g/m^2 両面読込の場合 : 50 ～ 105 g/m^2
枚数	最大 50 枚（A4・A4R・A5・A5R・B5・B5R サイズの場合）*1 最大 20 枚（A3・B4 サイズの場合）*1

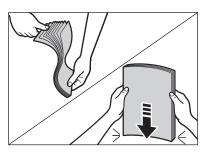
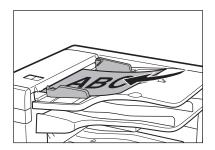
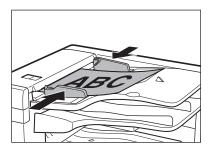
*1 80g/m^2 の用紙

- のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。
- ADF 内で原稿がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。
  - しわや折り目のある原稿
  - カーボン紙やカーボンバック紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた原稿
  - 薄質半透明紙や薄紙
  - ホッチキスの針またはクリップが付いた紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙
  - OHP フィルム

読み取り範囲

原稿の文字や画像が、以下の図の淡色部分に収まっていることを確認してください。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。

原稿をセットする

ADF にセットする

1 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の縁をそろえます。

2 読み取る面を上にして、ADF に原稿をセットします。

3　原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

原稿を読み込む準備ができました。

メモ

- 読み込み中に原稿を追加したり、抜いたりしないでください。
- すべての原稿が読み込まれたら、紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。
- 30 回以上 ADF で同じ原稿を読み込まないでください。繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。
- 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで給紙ローラが汚れた場合は、清掃してください。
  (→日常のお手入れ：P.10-1)

使用可能な用紙

		カセット	手差しトレイ
サイズ（幅 x 長さ）		A4	76 x 127 ～ 216 x 356 mm
坪量		64 ～ 90 g/m^2	56 ～ 128 g/m^2
枚数		最大 500 枚 *1	最大 100 枚 *1
用紙の種類	普通紙 *2	○	○
	色紙 *2	○	○
	再生紙 *2 *7	○	○
	厚紙 1*3	○	○
	厚紙 2*4	×	○
	厚紙 3*5	×	○
	OHP フィルム *6	×	○
	ラベル紙	×	○
	はがき	×	○
	4 面はがき	×	○
	封筒	×	○

（○：使用可能　×：使用不可）

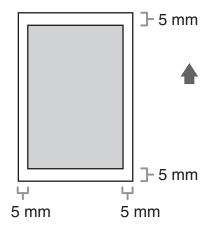
*1 80 g/m^2 の用紙
*2 64 ～ 80 g/m^2
*3 81 ～ 90 g/m^2
*4 91 ～ 105 g/m^2
*5 106 ～ 128 g/m^2
*6 本製品専用の A4 サイズの OHP フィルムをお使いください。
*7 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。

メモ

用紙サイズの初期値は A4 です。別の用紙サイズを使用する場合は、用紙サイズの設定を変更してください。
（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-11）

- 紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。
  - しわや折り目のある紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた紙
  - 湿った紙
  - 非常に薄い紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）
- 以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。
  - 目の粗い紙
  - つるつるした紙
  - 光沢紙
- 用紙にほこり、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。
- 用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。
- 用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。
- 用紙は室温 18 ℃～ 24 ℃、相対湿度 40%～ 60%の場所で保管してください。
- OHPフィルムは、レーザプリンタ用のものを使用してください。キヤノン機専用のOHPフィルムをお使いになるようお勧めします。

プリント範囲

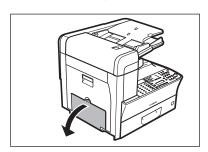
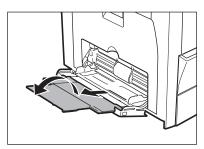
淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。

用紙をセットする

カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」を参照してください。

手差しトレイにセットする（例：封筒）

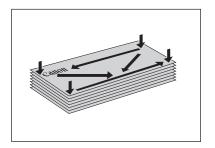
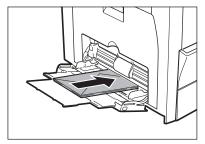
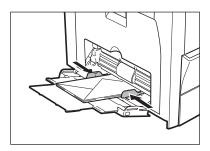
OHP フィルム、ラベル、規格外の用紙、封筒などにプリントする場合は、手差しトレイを使用してください。

- 洋形４号、洋形２号の封筒を使用してください。
- 紙づまりを防ぐため、以下のものは使用しないでください。
  - ・ 窓付き、穴あき、ミシン目付き、切り込みがある、フタが二重になっている封筒
  - ・ 特殊なコート紙の封筒や深い浮き出しのある封筒
  - ・ 剥離紙のついた封筒
  - ・ 中身の入った封筒
- プリンタドライバで正しい封筒サイズを設定してください。（オンラインヘルプを参照してください。）

1 **手差しトレイを開きます。**

2 補助トレイを最後まで引き出してから、開きます。

メモ

必ず補助トレイを使って用紙をセットしてください。

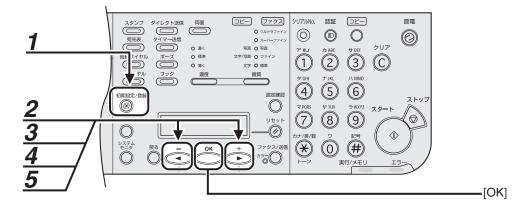
3 宛先を印刷する面を下向きにし、フタを図のようにしてセットします。一番奥まで封筒を差し込みます。

封筒をセットする場合は、平らな場所で封筒をそろえてから、４辺を押してそろえます。
封筒の短いほうの辺にフタがついている場合は、必ずフタのついている側から手差しトレイに差し込みます。
この向きに入れないと、紙づまりの原因になります。

4 用紙ガイドを封筒の幅に合わせます。

メモ

- 用紙が、枚数制限ガイドを越えないようにしてください。
- 用紙の種類によっては、手差しトレイにうまく給紙されないことがあります。より鮮明にコピーをするには、キヤノン推奨の用紙や OHP フィルムをお使いください。
- 小型サイズの用紙、厚紙などにコピーする場合は、コピー速度が通常より若干遅くなることがあります。

用紙のサイズと種類を設定する

初期値は、＜普通紙＞と＜ A4 ＞です。別の種類の用紙をセットする場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。
手順 3 で用紙カセットまたは手差しトレイを選択するのを除いて、用紙カセットと手差しトレイとで手順は同じです。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜用紙設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜カセット 1 ＞または＜手差しトレイ＞を選択し、［OK］を押します。

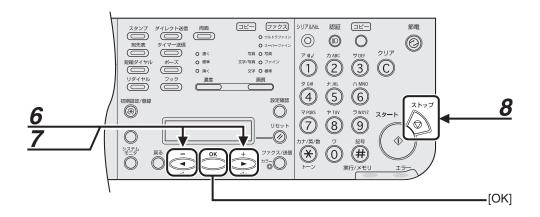
メモ

オプションのカセットを装着している場合は、＜カセット 2 ＞を選択することもできます。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜用紙サイズ＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］または［+ ►］を押して用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

以下の用紙サイズを選択できます。
カセット：＜ A4 ＞、＜ LGL ＞、＜ LTR ＞
手差しトレイ：＜ A4 ＞、＜ B5 ＞、＜ A5R ＞、＜ LGL ＞、＜ LTR ＞、＜ EXEC ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFICIO ＞、＜ MEXICO-OFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜ G-LTR ＞、＜ G-LGL ＞、＜ FLSP ＞、＜洋形 2 号＞、＜洋形 4 号＞、＜ハガキ＞、＜往復ハガキ＞、＜ 4 面ハガキ＞、＜ユーザ設定（カスタム）＞*1

*1 定形外用
このサイズを選択した場合は、＜高さ＞に縦の大きさを入力し、［OK］を押します。
＜幅＞に横の大きさを入力し、［OK］を押します。

6 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜用紙種類の登録＞を選択し、［OK］を押します。

メモ

手順５で、＜洋形４号＞、＜洋形２号＞、＜ハガキ＞、＜往復ハガキ＞、＜４面ハガキ＞を選択した場合は、＜用紙種類の登録＞は選択できませんので、手順８に進んでください。

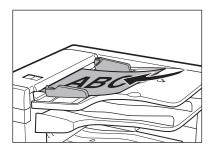
7 ［◄ −］または［+ ►］を押して用紙の種類を選択し、［OK］を押します。

以下の紙種を選択することができます。
カセット：＜普通紙＞、＜色紙＞、＜再生紙＞、＜厚紙１＞
手差しトレイ：＜普通紙＞、＜色紙＞、＜再生紙＞、＜厚紙１＞、＜厚紙２＞、＜厚紙３＞、
＜OHPフィルム＞、＜ラベル用紙＞、＜ハガキ＞、＜４面ハガキ＞、＜封筒＞

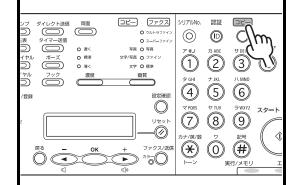
8 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

3 コピーする

以下の手順に従ってコピーします。

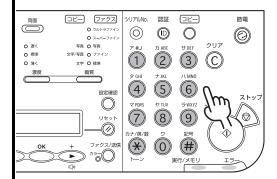
1 原稿をセットする

ADF に原稿をセットします。

使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 コピーモードを選択する

［コピー］を押します。

こんなときは ...

- **画質、濃度を調整するとき：**
  「コピーの設定をする」（→ P.3-3）を参照してください。
- **手差しトレイやオプションのカセットの用紙にコピーするとき：**
  [用紙選択] を押して、給紙元を選択します。

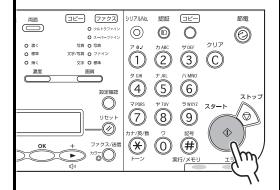
3 コピー部数を入力する

テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

例）

```
コピ゜ー  100%            03
カセット1：A4
```

こんなときは ...

- **間違った番号を入力したとき：**
  ［クリア］を押して、正しい部数を入力しなおします。

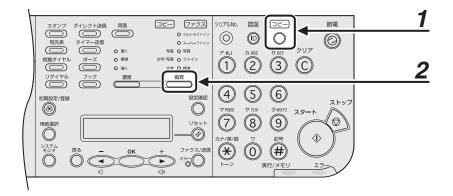
4 コピーを開始する

［スタート］を押します。

こんなときは ...

- **コピージョブを中止するために［ストップ］を押したとき：**
  ＜ストップキーが押されました＞が表示された場合は、［OK］を押します。
  ＜ジョブを中止しますか？＞が表示された場合は、［◄−］を押して＜はい＞を選択します。
- **［スタート］を押したあと＜原稿サイズ＞と表示されたときは：**
  ［◄−］または［+►］を押して原稿サイズを指定してください。

コピーの設定をする

[スタート] を押してコピーを開始する前に、読み込む原稿の種類に合わせて設定を調整することができます。オートクリアが有効になっている場合、または [ストップ] を押した場合は、調整した設定は初期値に戻ります。

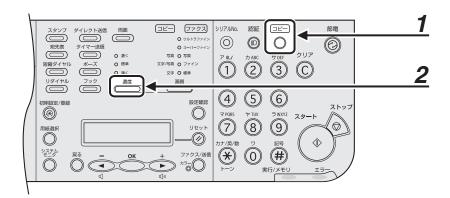
画質を調節する

1 **[コピー] を押します。**

2 **[画質] を繰り返し押して、原稿の種類を選択します。**

＜写真＞：細かい文字または写真のある原稿に適しています。
＜文字 / 写真＞：文字と写真のある原稿に適しています。
＜文字＞：文字原稿に適しています。

濃度を調節する

原稿に最適な濃度に調整できます。

---

1 **［コピー］を押します。**

2 **［濃度］を繰り返し押して、濃度を選択します。**

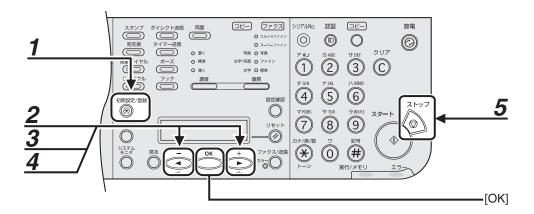
［濃く］：薄い原稿を濃くコピーします。
［標準］：通常の原稿のコピーに適しています。
［薄く］：濃い原稿を薄くコピーします。

メモ

- すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。
- ［ファクス／送信］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［初期設定／登録］→＜コピー仕様設定＞→＜標準モードの変更＞→＜濃度＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.12-4）

自動倍率

指定した用紙サイズに合わせて、原稿を自動的に拡大／縮小してコピーする設定にしておくことができます。倍率は 1:1.45、1:1.41、1:0.70、1:0.50 の範囲で設定されます。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜コピー仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

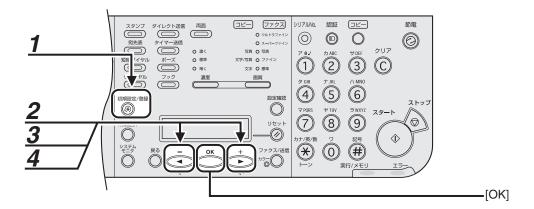
3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜自動変倍＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

ソートコピー

コピーをページ順にそろえることができます。この機能は、「両面コピー」（→ P.3-7）の機能と一緒に使うことができます。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜コピー仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜ソート＞を選択し、［OK］を押します。

ソートコピー機能を「両面コピー」（→ P.3-7）と一緒に使いたい場合は、片面から両面にコピーする、両面から両面にコピーする、両面から片面にコピーする、の手順 3 に進んでください。

4 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

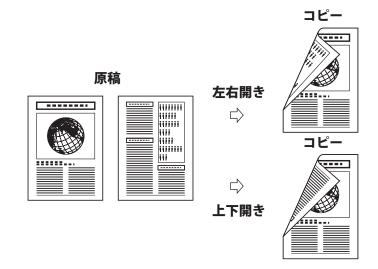
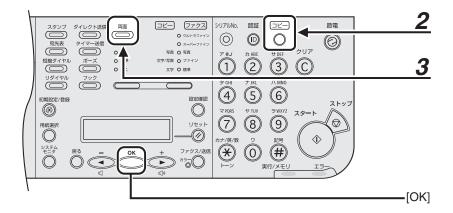
両面コピー

両面コピー機能を使って、片面の原稿から両面コピーをすることができます。この機能は、「ソートコピー」(→ P.3-6)の機能と一緒に使うことができます。

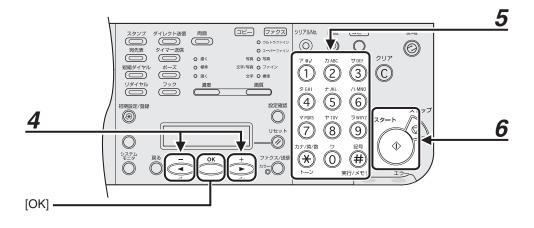
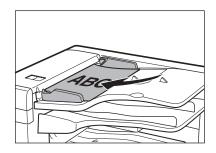
メモ

両面コピーには以下の用紙を使用してください。
・ 用紙サイズ：A4、LGL および LTR
・ 用紙の重さ：64 ～ 90g/m^2

片面から両面にコピーする

片面の原稿から両面にコピーします。

1 原稿をセットします。

2 [コピー] を押します。

3 [両面] を繰り返し押して<片面　>　両面>を選択し、[OK] を押します。

4 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜左右開き＞または＜上下開き＞を選択し、［OK］を押します。

図のように原稿の画像の向きを縦にセットした場合、出力結果は開きかたの選択により、以下のとおりになります。
＜左右開き＞：コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。
＜上下開き＞：コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。

メモ

A3 の縦原稿の場合など画像の向きを横にセットしたときは、＜左右開き＞を選択するとコピーの表面と裏面の上下が逆向きになります。また、＜上下開き＞を選択するとコピーの表面と裏面の上下が同じ向きになります。

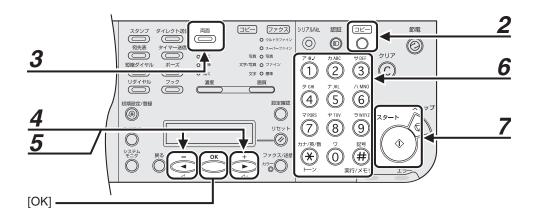
5 テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

6 ［スタート］を押します。

メモ

・ すべての設定を取り消すには、［ストップ］を押します。
・［ファクス／送信］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、「メニューの設定内容」（→ P.12-4）を参照してください。
・ 手順 4 の代わりに、［OK］を押すだけで手順 5 に進めます。この場合は、＜左右開き＞でコピーされます。

両面から両面にコピーする

両面の原稿から両面コピーします。

1　**原稿をセットします。**

2　**[コピー] を押します。**

3　**[両面] を繰り返し押して＜両面　＞　両面＞を選択し、[OK] を押します。**

4　**[◄−] または [+►] を押して（原稿の）＜左右開き＞または＜上下開き＞を選択し、[OK] を押します。**

＜左右開き＞：原稿の表と裏の面の上下を同じ向きにします。
＜上下開き＞：原稿の表と裏の面の上下を逆向きにします。

5　**[◄−] または [+►] を押して（コピーの）＜左右開き＞または＜上下開き＞を選択し、[OK] を押します。**

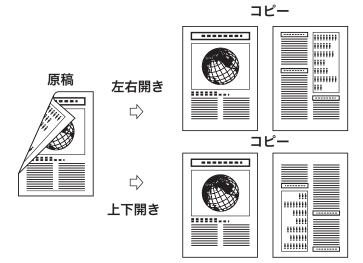
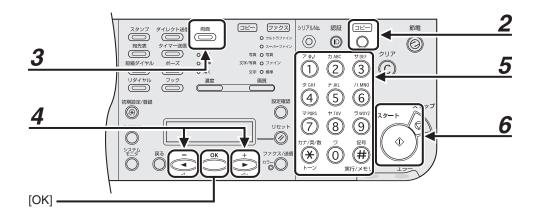
＜左右開き＞：コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。
＜上下開き＞：コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。

6　**テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。**

7　**[スタート] を押します。**

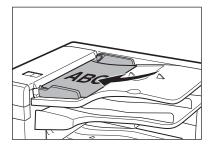
すべての設定を取り消すには、[ストップ] を押します。

両面から片面にコピーする

両面の原稿から片面コピーします。

1　**原稿をセットします。**

2　**［コピー］を押します。**

3　**［両面］を繰り返し押して＜両面　＞　片面＞を選択し、［OK］を押します。**

4　**［◄ −］または［+ ►］を押して（原稿の）＜左右開き＞または＜上下開き＞を選択し、［OK］を押します。**

図のように、原稿の画像の向きを縦にセットした場合、以下のように開きかたを選択してください。
＜左右開き＞：原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に選択します。
＜上下開き＞：原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合に選択します。

メモ

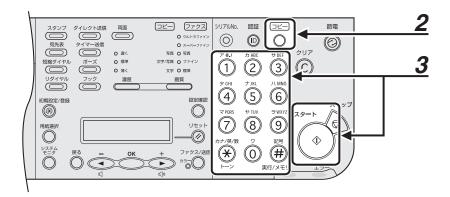
A3 の縦原稿の場合など画像の向きを横にしたときは、原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合に＜左右開き＞を選択します。また、原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に＜上下開き＞を選択します。

5　**テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。**

6　**［スタート］を押します。**

すべての設定を取り消すには、［ストップ］を押します。

予約コピー

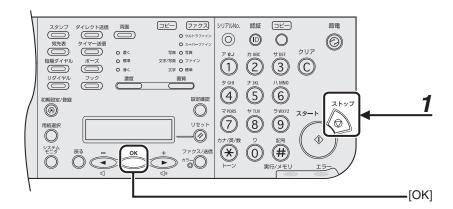
本製品がプリント中でも、コピー設定と原稿の読み込みができます。作業中のジョブが完了してから、読み込み済みのコピージョブが開始されます。

1 原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力し、［スタート］を押します。

異なる設定のコピージョブを最大 5 件まで予約できます。

コピージョブの中止

以下の手順で、原稿の読み込み操作や印刷操作を中止します。

1　［ストップ］を押します。

2　＜ストップが押されました＞と表示されたら、［OK］を押します。

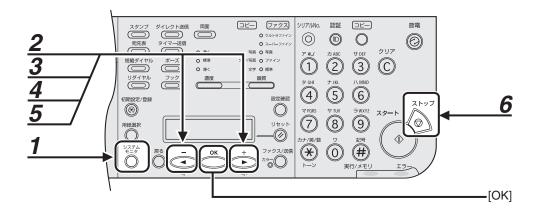
```
ｽﾄｯﾌﾟが 押 さ れ ま し た
ＯＫｷｰを 押 し て く だ さ い
```

＜ジョブを中止しますか？＞と表示されたら、［◄ ―］を押して＜はい＞を選択します。

```
ｼﾞｮﾌﾞを 中 止 し ま す か ?
 〈  は い          い い え 〉
```

ジョブの確認と削除

［システムモニタ］を押して、コピー中またはコピー待機中のジョブの状態を確認できます。

コピー状況を確認／削除する

1 **［システムモニタ］を繰り返し押して＜コピー状況＞を選択し、［OK］を押します。**

2 **［◄－］または［＋►］を押してメモリ内にあるコピー中のジョブを確認します。**

ジョブを削除する場合は、手順 3 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

3 **［◄－］または［＋►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄－］または［＋►］を押して＜キャンセル＞を選択し、［OK］を押します。**

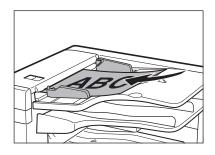
5 **［◄－］を押して＜はい＞を選択します。**

削除操作を中止する場合は、［＋►］を押して＜いいえ＞を選択します。

6 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

4 送信する

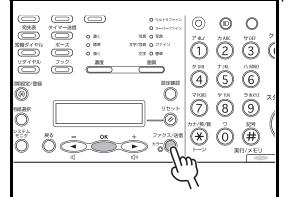
以下の手順に従って原稿を送信してください。読み込んだ原稿はファクス送信の他、電子メールやＩファクスの添付ファイルやネットワーク上のコンピュータ（ファイルサーバ）にファイルとして送信できます。
電子メール、Ｉ ファクス、ファイルサーバ送信など、本製品をネットワーク環境で使用する場合は、スタートアップガイド「ネットワーク設定」を参照してください。また、応用機能については、操作ガイド（総合編）＞ 送受信する を参照してください。

1 原稿をセットする

ADF に原稿をセットします。

使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

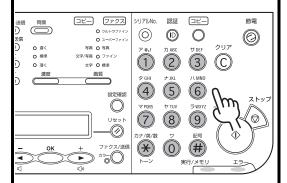
2 送信方法を選択する

［ファクス／送信］を繰り返し押して送信方法を選択し、［OK］を押します。

メモ

- カラー画像を送信する場合は、宛先を指定する前に必ず送信方法を指定してください。
- 電子メール／Ｉファクス／ファイルサーバ送信を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。

こんなときは ...

- **ファイルサーバに送信するとき：**
  ［ファクス／送信］を押し、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルから宛先を指定したあと、手順 4 に進んでください。テンキーを使って宛先を指定することはできません。
  （→宛先を指定する：P.4-30）
- **画質や濃度などを調整するとき：**
  「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

3 宛先を指定する

テンキーを使って相手先のファクス番号または電子メール／Ｉファクスアドレスを入力します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなど、スピードダイヤルを使って宛先を指定することもできます。（→宛先を指定する：P.4-30）

例）

```
ファクス番号
TEL=123
```

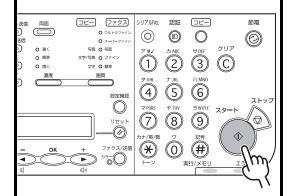
電子メール／Iファクス／ファイルサーバの宛先を指定したときは、［OK］を押して確定してください。

 メモ

電子メール／Ｉファクス／ファイルサーバ送信を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。

こんなときは ...

- **複数のファクス番号をテンキーで指定するとき：**
  1 件指定するごとに［OK］を押すと、最大 10 件までファクス番号を指定できます。（→テンキーで複数のファクス番号を指定する：P.4-48）
- **ファクス番号を消去するとき：**
  ［◄ー］を押すと番号が 1 つずつ消去されます。［クリア］を押すと入力内容が 1 度にすべて消去されます。
- **電子メール／Ｉファクスアドレスを消去するとき：**
  ［◄ー］を押して消去する文字までカーソルを移動し、［クリア］を押します。［クリア］を長押しすると入力内容が 1 度にすべて消去されます。

4 原稿を送信する

［スタート］を押します。

こんなときは ...

- **ファクス送信を中止するとき：**
  ［ストップ］を押します。
  <ストップが押されました>と表示された場合は、［OK］を押します。
  <ジョブを中止しますか？>と表示された場合は、［◄ー］を押して<はい>を選択します。
- **［スタート］を押したあと<原稿サイズ>と表示されたとき：**
  ［◄ー］または［＋►］を押して原稿サイズを指定してください。

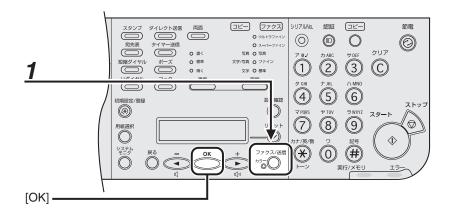
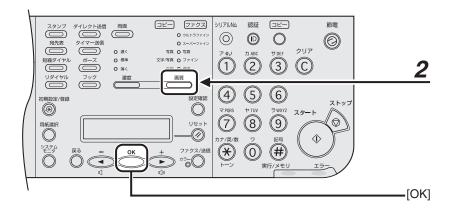
読み込み設定

送信原稿の種類に合わせて、画質（ファクス送信）と濃度を調整できます。高い画質に設定すると、出力画像は鮮明になりますが、通信速度は遅くなります。
また、電子メール、I ファクス、ファイルサーバに原稿を送信する場合、用途に合わせて以下の詳細設定もできます。設定操作は宛先指定後に詳細設定メニューで行います。（→画像／原稿の設定を調節する（電子メール／I ファクス／ファイルサーバ送信）：P.4-6）

- 画像のファイル形式
- 画像の分割送信（複数枚の原稿送信時）
- 画像の解像度
- 原稿の種類

メモ

電子メール／Iファクス／ファイルサーバ送信を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。

画質を調節する（ファクス送信）

1 ［ファクス／送信］を繰り返し押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。

2 ［画質］を繰り返し押して希望の画質を選択し、［OK］を押します。

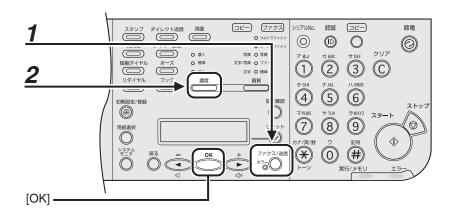
＜ウルトラファイン＞：＜スーパーファイン＞よりもさらにきめ細かく調整されます(解像度は＜標準＞の 8 倍)。(400 × 400dpi)

＜スーパーファイン＞：細かい文字と画像を含む原稿に適しています（解像度は＜標準＞の 4 倍)。(200 × 400dpi)

＜写真＞：写真を含む原稿に適しています（解像度は＜標準＞の 2 倍)。(200 × 200dpi)

＜ファイン＞：文字の細かい原稿に適しています（解像度は＜標準＞の 2 倍)。(200 × 200dpi)

＜標準＞：文字のみの原稿に適しています。(200 × 100dpi)

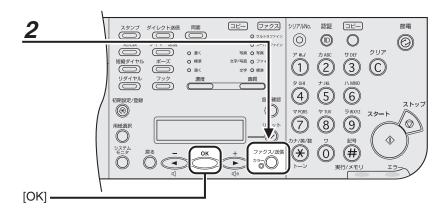
濃度を調節する

1 **[ファクス／送信]を繰り返し押して送信方法を選択し、[OK]を押します。**

2 **[濃度]を繰り返し押して、濃度を選択します。**

[濃く]：薄い原稿を濃くコピーします。
[標準]：通常の原稿のコピーに適しています。
[薄く]：濃い原稿を薄くコピーします。

メモ

読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、[初期設定／登録]→＜送信／受信仕様設定＞→＜共通設定＞→＜送信機能設定＞→＜標準モードの変更＞→＜読取濃度＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.12-4）

画像／原稿の設定を調節する（電子メール／Ｉファクス／ファイルサーバ送信）

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を繰り返し押して送信方法を選択し、［OK］を押します。

ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目からいずれかを選択し、［OK］を押してください。

メモ

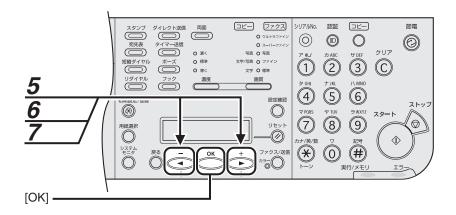
- 電子メール／ファイルサーバ送信でカラー画像を送信する場合は、<電子メール：カラー>を選択してください。
- カラー画像を送信する場合は、宛先を指定する前に必ず送信方法を指定してください。

3 宛先を指定します。

詳細については、「宛先を指定する」（→ P.4-30）を参照してください。

メモ

ファイルサーバ送信の場合は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルから宛先を指定してください。テンキーを使って宛先を指定することはできません。

4 ［OK］を繰り返し押して<ファイル形式>を表示させます。

5 [◄ −] または [+ ►] を押して送信する画像のファイル形式を選択し、[OK] を押します。

電子メール（白黒）／ファイルサーバ（白黒）送信：< PDF >、< TIFF（白黒）>
電子メール（カラー）／ファイルサーバ（カラー）送信：< JPEG >、< PDF（高圧縮）>

6 [◄ −] または [+ ►] を押して<ページごとに分割>を<しない>または<する>に選択し、[OK] を押します。

<しない>：複数の画像をページごとに分割しないで、1 つのファイルとして送信します。
<する>：複数の画像をページごとに分割して、別べつのファイルとして送信します。

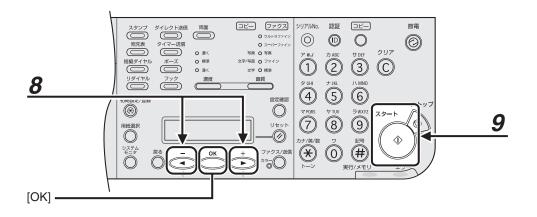
メモ

手順 5 で< JPEG >に設定すると、この手順は表示されません。

7 [◄ −] または [+ ►] を押して送信する画像の解像度を選択し、[OK] を押します。

電子メール（白黒）／ファイルサーバ（白黒）送信：< 200 × 200dpi >、< 300 × 300dpi >、< 400 × 400dpi >、< 600 × 600dpi >、< 150 × 150dpi >、< 200 × 100dpi >
電子メール（カラー）／ファイルサーバ（カラー）送信：< 200 × 200dpi >、< 300 × 300dpi >、< 100 × 100dpi >、< 150 × 150dpi >
I ファクス：< 200 × 200dpi >、< 200 × 100dpi >

メモ

手順 5 でファイル形式を< PDF(高圧縮) >に設定した場合は、自動的に< 300 × 300dpi >に設定されます。

8 ［◄ −］または［+ ►］を押して原稿の種類を選択し、［OK］を押します。

＜写真＞：細かい文字や写真のある原稿に適しています。
＜文字／写真＞：文字と写真のある原稿に適しています。
＜文字＞：文字原稿に適しています。

メモ

手順 5 でファイル形式を＜ PDF（高圧縮）＞に設定した場合、原稿の種類は自動的に＜文字／写真＞に設定されます。手順 9 に進んでください。

9 ［スタート］を押します。

メモ

- ＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、［スタート］を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。
- 電子メール／I ファクス／ファイルサーバ送信の場合は、必要に応じて送信文書名や本文の他、電子メールに使用する件名、送信先アドレス、重要度をあらかじめ設定しておくことができます。
  詳細については、操作ガイド（総合編）＞ 送受信する を参照してください。

宛先を登録／編集／削除する

原稿の送信先はテンキー入力の他、宛先登録機能を使って指定できます。テンキーでは宛先を1 字ずつ入力するのに対し、宛先登録機能ではよく利用する宛先（ファクス／電子メール／ I ファクス／ファイルサーバの送信先）をあらかじめ登録しておくことで原稿送信時に宛先を入力する手間を省くことができます。このように宛先をあらかじめ登録しておくことのできる機能を宛先表と呼び、宛先表を使って素早く簡単に宛先を指定する方法をスピードダイヤルと呼びます。スピードダイヤルを使った宛先の指定方法は以下の種類があります。

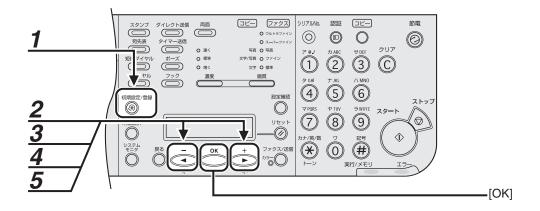
- ワンタッチダイヤル（P.4-10）
  - 登録済みの宛先を 1 回のキー操作で呼び出す機能です。最大 80 件まで宛先を登録できます。
  - 原稿送信時は、登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押すだけで宛先を指定できます。
- 短縮ダイヤル（P.4-10）
  - 登録済みの宛先を短縮番号を使って呼ぶ出す機能です。最大 420 件まで宛先を登録できます。
  - 原稿送信時は、[短縮ダイヤル］を押したあと、3 桁の登録先番号（000 ～ 419）を入力するだけで宛先を指定できます。
- グループダイヤル（P.4-24）
  - ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルとして登録済みの各宛先を 1 つのグループにまとめて登録する機能です。複数の宛先を 1 つの宛先として登録するため、1 度に送信する相手先が多い場合でも宛先指定操作が簡単に行えます。
  - グループダイヤルの登録先は未登録のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルのため、1 つのグループダイヤルには最大 499 件まで宛先を登録できます。
  - 原稿送信時の宛先指定操作はワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルと同様になります。
- 宛先表キーによる指定（P.4-30）
  - ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／グループダイヤルとして登録済みの宛先を相手先の名前またはファクス番号／メールアドレス／ホスト名から検索して指定できます。登録先を忘れてしまった場合などに便利な機能です。
  - 原稿送信時は、[宛先表］を押したあと、相手先の名前またはファクス番号／メールアドレス／ホスト名から検索して指定できます。
- 定型業務ボタンを使用する（P.4-21）
  - オプションのセンドキットを装着している場合は、宛先や送信設定の組み合わせを定型業務ボタンに登録できます。ワンタッチキー 01 ～ 04 は定型業務ボタンとして登録できます。

メモ

- 宛先の登録件数によっては、主電源スイッチを入れたあと、待ち受け画面が表示されても操作パネルでのキー操作が受け付けられない場合があります。その場合はキー操作が受け付けられるまでお待ちください。
- 電子メール／ I ファクス／ファイルサーバの宛先登録機能を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。
- 宛先表に暗証番号が設定されている場合は、＜宛先表仕様設定＞メニューに入るときに暗証番号入力画面が表示されます。テンキーを使って暗証番号を入力したあと［OK］を押します。

- ファイルサーバ送信の場合は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに宛先を登録してください。テンキーを使って宛先を指定できません。
- スピードダイヤルに登録した宛先は、お使いのコンピュータにファイルとして保存したり、保存したファイルを本製品に取り込むことができます。詳細については、操作ガイド（総合編）＞ パソコンからの設定／管理 ＞ 宛先表やデバイスの設定情報をファイルに保存する／ファイルから読み込む を参照してください。
- 登録済みの宛先については、宛先一覧表を出力して参照できます。（→レポート出力：P.12-22）

ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する

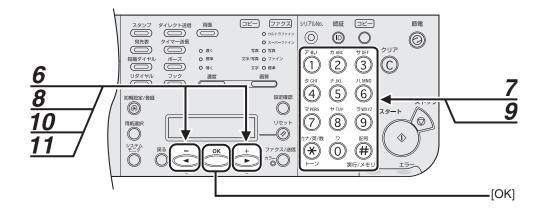
● ファクス番号を登録する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜短縮ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 80）または短縮ダイヤル（000 ～ 419）を選択し、［OK］を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。

5 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜電話番号＞を選択し、［OK］を押します。

7 テンキーを使って登録するファクス番号（スペースとポーズを含め最大 120 桁）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
電 話 番 号
012XXXXXXX_
```

8 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜名前＞を選択し、［OK］を押します。

9 テンキーを使って相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を入力し、［OK］を押します。

以下の通信機能も設定する場合は、次の手順に進んでください。設定しない場合は、［ストップ］を押して登録操作を完了します。

＜ ECM 通信＞：ECM 方式で原稿を送信します。ECM 方式とは通信画像のエラーを自動的に補正して通信する機能で、相手機もこの方式に対応している必要があります。

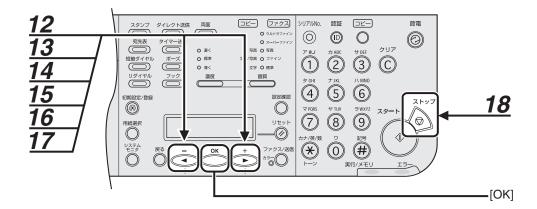
＜送信スピード＞：通信エラーがよく発生する場合に送信速度を変更します。

＜国内／国際送信＞：海外送信で通信エラーがよく発生する場合に設定します。

例）

```
名 前                    ：ｱ
ｷﾔﾉ
```

10 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜詳細設定＞を選択し、［OK］を押します。

11 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

12 [◄–] または [+►] を押して＜ ECM 通信＞を選択し、[OK] を押します。

13 [◄–] または [+►] を押して＜ ON ＞を選択し、[OK] を押します。

14 [◄–] または [+►] を押して＜送信スピード＞を選択し、[OK] を押します。

15 [◄–] または [+►] を押して送信速度（33600bps、14400bps、9600bps、または 4800bps）を選択し、[OK] を押します。

メモ

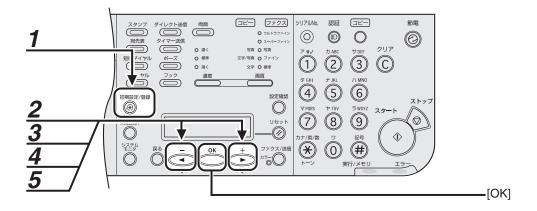
＜ 33600bps ＞で通信エラーがよく発生する場合は、＜ 14400bps ＞、＜ 9600bps ＞、＜ 4800bps ＞の順に設定を変更してください。

16 [◄–] または [+►] を押して＜国内／国際送信＞を選択し、[OK] を押します。

17 [◄–] または [+►] を押して設定項目を選択し、[OK] を押します。

通常は＜国内送信＞に設定します。
海外送信で通信エラーがよく発生する場合は、＜国際送信 1 ＞に設定してください。エラーが解消されない場合は、＜国際送信 2 ＞、＜国際送信 3 ＞の順に設定を変更してください。

18 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

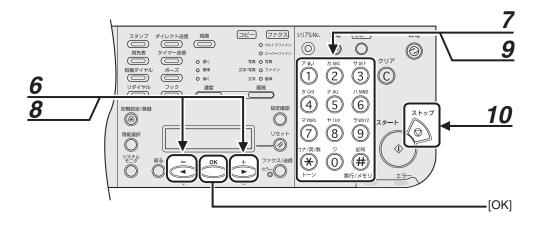
● 電子メールアドレス／Iファクスアドレスを登録する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜短縮ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 80）または短縮ダイヤル（000 ～ 419）を選択し、［OK］を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。

5 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜電子メール＞または＜ IFAX ＞を選択し、［OK］を押します。

6 [◄ −] または [+ ►] を押して<電子メールアドレス>または<Ｉファクスアドレス>を選択し、[OK] を押します。

7 テンキーを使って登録する電子メールアドレスまたはIファクスアドレス（最大120桁）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
電子ﾒｰﾙ　ｱﾄﾞﾚｽ　　　：a
sales@XXX.com
```

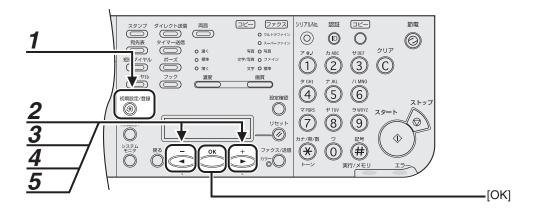
8 [◄ −] または [+ ►] を押して<名前>を選択し、[OK] を押します。

9 テンキーを使って相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
名前　　　　　　　　　：ｱ
ｷﾔﾉ
```

10 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

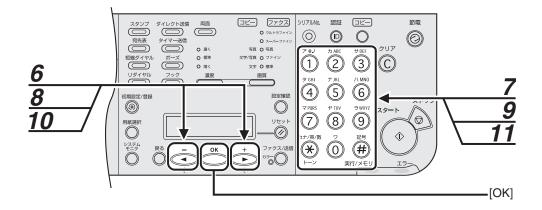
● ファイルサーバ送信先を登録する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して<宛先表仕様設定>を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して<ワンタッチ　ダイヤル>または<短縮ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 80）または短縮ダイヤル（000 ～ 419）を選択し、［OK］を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。

5 ［◄ −］または［+ ►］を押して< FTP >または< SMB >を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄－］または［＋►］を押して＜ホスト名＞を選択し、［OK］を押します。

7 テンキーを使ってファイルサーバのホスト名（最大 120 文字）を入力し、［OK］を押します。

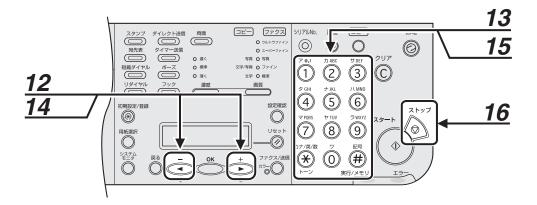
例）

```
ホスト名            :1
canon01_
```

8 ［◄－］または［＋►］を押して＜名前＞を選択し、［OK］を押します。

9 テンキーを使って相手先の名前（最大 16 文字）を入力し、［OK］を押します。

10 ［◄－］または［＋►］を押して＜フォルダへのパス＞を選択し、［OK］を押します。

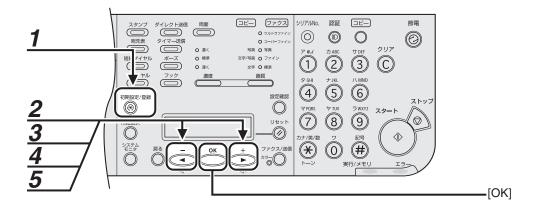
11 テンキーを使って送信先のフォルダ名（最大 120 文字）を入力し、［OK］を押します。

12 ［◄－］または［＋►］を押して＜ユーザ名＞を選択し、［OK］を押します。

13 テンキーを使ってユーザ名（最大 24 文字）を入力し、［OK］を押します。

14 ［◄－］または［＋►］を押して＜暗証番号＞を選択し、［OK］を押します。

15 テンキーを使ってパスワード（FTP の場合は最大 24 文字、SMB の場合は最大 14 文字）を入力し、［OK］を押します。

16 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを編集する

1　［初期設定／登録］を押します。

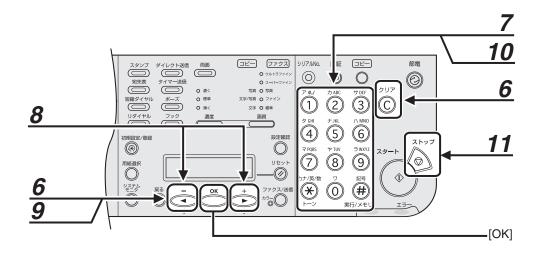
2　［◄ −］または［＋ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3　［◄ −］または［＋ ►］を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜短縮ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4　［◄ −］または［＋ ►］を押して編集するワンタッチダイヤル（01 ～ 80）または短縮ダイヤル（000 ～ 419）を選択し、［OK］を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。

5　［◄ −］または［＋ ►］を押して＜電話番号＞、＜電子メールアドレス＞、＜Ｉファクスアドレス＞または＜ホスト名＞を選択し、［OK］を押します。

ファイルサーバ送信の場合は、＜ホスト名＞、＜名前＞、＜フォルダへのパス＞、＜ユーザ名＞、＜暗証番号＞を編集することができます。

6 ファクス番号を変更する場合は、[◄ −] を押してカーソルを移動します。変更する内容がファクス番号以外の場合は、[◄ −] を押して変更する番号または文字にカーソルを移動し、[クリア] を押します。

入力内容をすべて消去する場合は、[クリア] を長押しします。

7 テンキーを使って新しい番号またはアドレスを入力し、[OK] を押します。

8 [◄ −] または [+ ►] を押して＜名前＞を選択し、[OK] を押します。

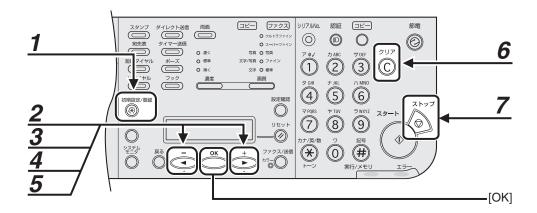
9 [◄ −] を押して変更する文字にカーソルを移動し、[クリア] を押します。

入力内容をすべて消去する場合は、[クリア] を長押しします。

10 テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK] を押します。

登録されている宛先がファクス番号の場合は、通信機能の設定も変更できます。(→ファクス番号を登録する：P.4-10)

11 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを削除する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ー］または［＋►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ー］または［＋►］を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜短縮ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ー］または［＋►］を押して削除するワンタッチダイヤル（01 ～ 80）または短縮ダイヤル（000 ～ 419）を選択し、［OK］を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。

5 ［◄ー］または［＋►］を押して＜電話番号＞、＜電子メールアドレス＞、＜I ファクスアドレス＞または＜ホスト名＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［クリア］を長押しして番号、アドレス、またはホスト名を削除し、［OK］を押します。

メモ

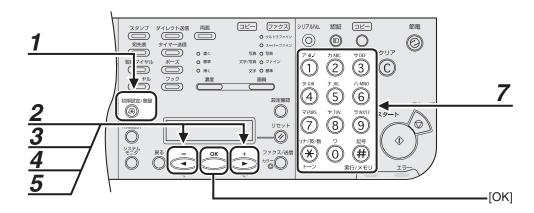
番号、アドレス、またはホスト名を消去した場合は、相手先の名前など他の登録内容も自動的にすべて消去されます。

7 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

定型業務ボタンを登録する

オプションのセンドキットを装着している場合は、宛先や送信設定の組み合わせを定型業務ボタンに登録できます。ワンタッチキー 01 ～ 04 は定型業務ボタンとして登録できます。

● ファクス番号を登録する

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄－］ または ［＋►］ を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］ を押します。

宛先表に暗証番号が設定されている場合はテンキーで暗証番号を入力して、[OK] を押します。

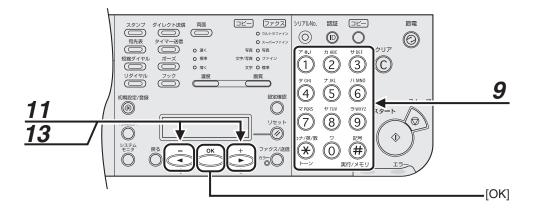
3 ［◄－］ または ［＋►］ を押して＜定型業務ボタン＞を選択し、［OK］ を押します。

4 ［◄－］または［＋►］ を押して定型業務ボタン（01 ～ 04）を選択し、［OK］を押します。

選択した定型業務にワンタッチ宛先が既に登録されている場合は、他のキーを選択するか、あらかじめ登録されている宛先を消去してください。

5 ［◄－］ または ［＋►］ を押して＜ファクス＞を選択し、［OK］ を押します。

6 ＜電話番号＞が表示されていることを確認して、［OK］ を押します。

7 テンキーを使って宛先のファクス番号を（120文字以内で）入力して、［OK］を押します。

8 ＜名前＞が表示されていることを確認して、[OK] を押します。

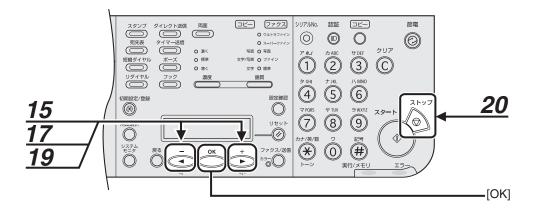
9 テンキーを使って宛先の名前を（半角 16 文字以内で）入力し、[OK] を押します。

10 ＜画質＞が表示されていることを確認して、[OK] を押します。

11 [◄ –] または [+ ►] を押して画質（＜ファイン＞、＜写真＞、＜スーパーファイン＞、＜ウルトラファイン＞、または＜標準＞）を選択し、[OK] を押します。

12 ＜詳細設定＞が表示されていることを確認して、[OK] を押します。

13 [◄ –] または [+ ►] を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、[OK] を押します。

詳細設定を指定しない場合は＜ OFF ＞を選択、手順 18 に進みます。
詳細設定を指定する場合は＜ ON ＞を選択します。

14 ＜ ECM 通信＞が表示されていることを確認して、[OK] を押します。

15 [◄ –] または [+ ►] を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、[OK] を押します。

16 ＜送信スピード＞が表示されていることを確認して、[OK] を押します。

17 [◄ –] または [+ ►] を押して送信速度（33600bps、14400bps、9600bps、または 4800bps）を選択し、[OK] を押します。

18 ＜国際送信＞が表示されていることを確認して、[OK] を押します。

19 [◄ –] または [+ ►] を押して通信オプション（＜国内送信＞、＜国際送信 1 ＞、＜国際送信 2 ＞、または＜国際送信 3 ＞）を選択し、[OK] を押します。

メモ

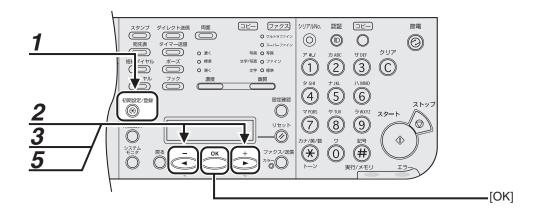
国際ファクスを送信するときにエラーが発生する場合は＜国際送信 1 ＞から＜国際送信 3 ＞までを設定してください。

20 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

グループダイヤルを登録／編集する

メモ

グループダイヤルを登録する際は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録しておいてください。

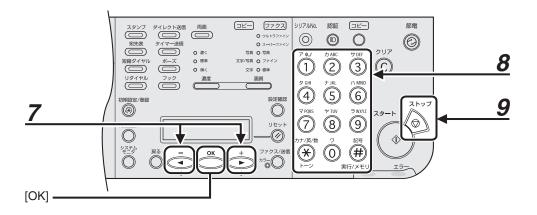
● グループダイヤルを登録する

1　［初期設定／登録］を押します。

2　［◄－］または［＋►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3　［◄－］または［＋►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4　グループダイヤルの登録先を指定し、［OK］を押します。

未登録のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録先として指定します。
ワンタッチダイヤルに登録する場合：［◄－］または［＋►］を押して登録先を選択します。また、ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押して選択することもできます。
短縮ダイヤルに登録する場合：［短縮ダイヤル］を押したあと、3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。

5　［◄－］または［＋►］を押して＜登録済み宛先選択＞を選択し、［OK］を押します。

6 **グループダイヤルに登録する宛先を指定し、[OK] を押します。**

登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを宛先として指定します。
ワンタッチダイヤルを指定する場合：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
短縮ダイヤルを指定する場合：[短縮ダイヤル] を押したあと、3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。複数指定する場合は、1 つの宛先を指定するごとに [短縮ダイヤル] を押します。

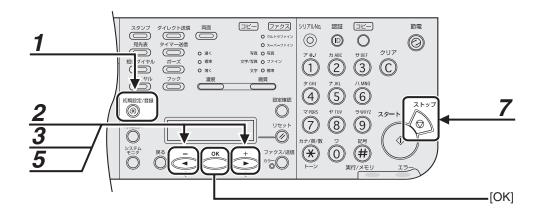
7 **[◄ −] または [+ ►] を押して<名前>を選択し、[OK] を押します。**

8 **テンキーを使ってグループの名前（スペースを含め最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。**

例）

```
名前                    :ア
キヤノングループ_
```

9 **[ストップ] を押して待受画面に戻ります。**

● 宛先を追加する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 宛先を追加するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

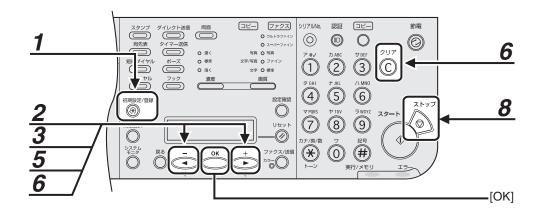
指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」（→ P.4-24）を参照してください。

5 ［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜登録済み宛先選択＞を選択し、［OK］を押します。

6 グループダイヤルに追加する宛先を指定し、［OK］を押します。

指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」（→ P.4-24）を参照してください。

7 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

● 宛先を消去する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 宛先を消去するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」（→ P.4-24）を参照してください。

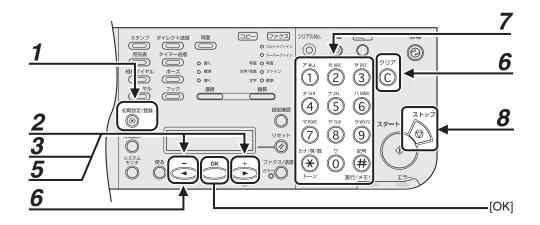
5 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜登録済み宛先選択＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ −］または［+ ►］を押して消去する宛先を選択し、［クリア］を押します。

続けて別の宛先を消去する場合は、本手順を繰り返します。

7 ［OK］を押します。

8 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

● グループ名を変更する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して<宛先表仕様設定>を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

4 グループ名を変更するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」（→ P.4-24）を参照してください。

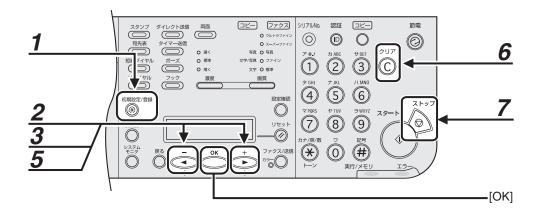
5 ［◄ −］または［+ ►］を押して<名前>を選択し、［ON］を押します。

6 ［◄ −］を押して消去する文字にカーソルを移動し、［クリア］を押します。

名前全体を消去する場合は、［クリア］を長押しします。

7 テンキーを使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。

8 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

● グループダイヤルを消去する

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜宛先表仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 宛先を消去するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」（→ P.4-24）を参照してください。

5 ［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜登録済み宛先選択＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［クリア］押して登録済みの宛先を 1 件ずつすべて消去し、［OK］を押します。

宛先をすべて消去すると、グループ名は自動的に消去されます。

7 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

宛先を指定する

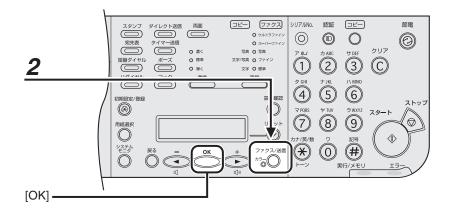
スピードダイヤルを使って原稿を送信します。

メモ

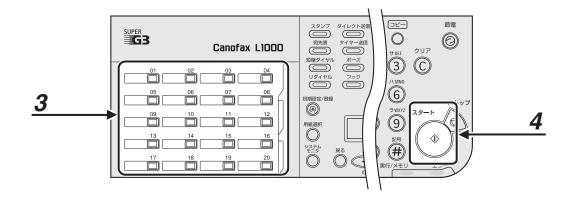
- 電子メール／Iファクス／ファイルサーバ送信を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。
- ファイルサーバ送信の場合は、テンキーを使って宛先を指定できません。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから宛先を指定してください。

ワンタッチダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.4-9）

1 **原稿をセットします。**

2 **［ファクス／送信］を繰り返し押して送信方法を選択し、［OK］を押します。**

ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目からいずれかを選択し、［OK］を押してください。

3 登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。

間違ったキーを押した場合は、［クリア］を押したあと、手順 2 から操作をやりなおしてください。
必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

例）

```
TEL=0123XXXXXX
[05]ｷﾔﾉﾝ
```

4 ［スタート］を押します。

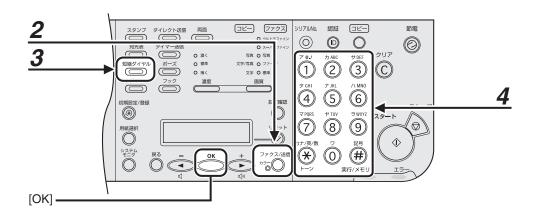
メモ

＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、［スタート］を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルで最大 420 個の宛先を指定できます。

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.4-9）

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を繰り返し押して送信方法を選択し、［OK］を押します。

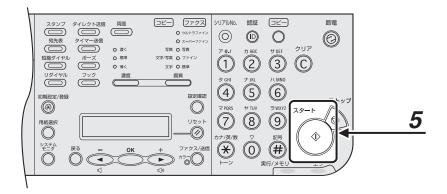
ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目からいずれかを選択し、［OK］を押してください。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 テンキーを使って 3 桁の登録先番号（000 ～ 419）を入力します。

例）

```
TEL=0123XXXXXX
[＊001]ｷﾔﾉﾝ
```

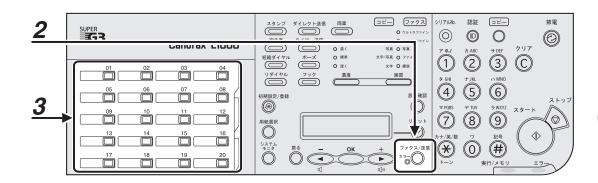
間違ったキーを押した場合は、［クリア］を押したあと、手順 2 から操作をやりなおしてください。
必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

5 ［スタート］を押します。

メモ

＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、［スタート］を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

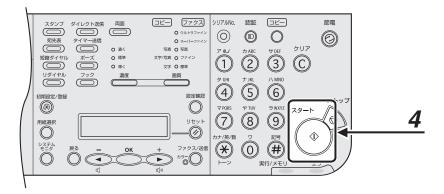
グループダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.4-9）

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を押します。

3 グループダイヤルを指定します。

グループダイヤルをワンタッチダイヤルに登録した場合：登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
グループダイヤルを短縮ダイヤルに登録した場合：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って登録先番号（000 ～ 419）を入力します。
間違ったキーを押した場合は、［クリア］を押したあと、操作をやりなおしてください。
必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

4 ［スタート］を押します。

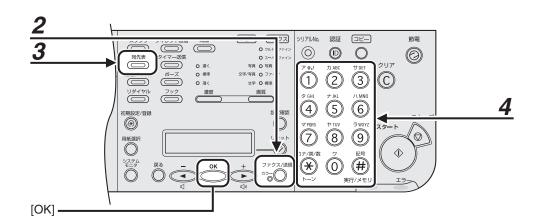
メモ

＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、［スタート］を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

宛先表を使用する

［宛先表］検索で本体に登録されている宛先を検索できます。指定したい宛先がどのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されているか覚えていないときに便利です。

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.4-9）

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を押します。

3 ［宛先表］を繰り返し押して＜名称検索＞または＜アドレス／番号検索＞を選択し、［OK］を押します。

＜名称検索＞：登録済みの宛先を名前から検索します。
＜アドレス／番号検索＞：登録済みの宛先をファクス番号／メールアドレス／Iファクスアドレス／ホスト名から検索します。

4 テンキーを使って検索する相手先の名称またはファクス番号／メールアドレス／Iファクスアドレス／ホスト名の頭文字を入力します。

たとえば、「C」で始まる相手先の名称を検索する場合は、［2］（ABC）を押します。この場合、「C」を含め「A」や「B」で始まる相手先の名称が登録されていると、該当する名称が表示されます。
入力モードを切り替える場合は、［＊］を押してください。ディスプレイ右上に入力モードを示す＜ア＞（カタカナ入力）、＜ A ＞（アルファベット入力）または＜ 1 ＞（数字入力）が表示されます。

例）

```
名 称 検 索                :ｱ
ｷﾔﾉﾝ
```

例）

```
ｱﾄﾞﾚｽ/番号検索          :A
canon@XXX.XXX
```

5 ［◄ —］または［+ ►］を押して宛先を検索します。

6 宛先を確認し、［OK］を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

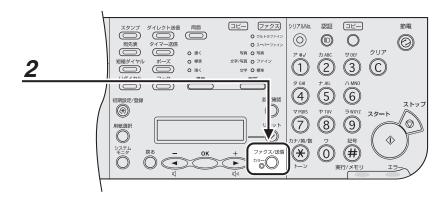
7 ［スタート］を押します。

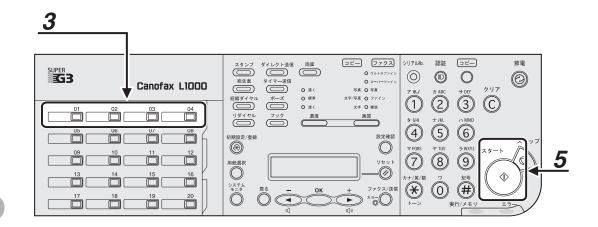
メモ

＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、［スタート］を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

定型業務ボタンを使用する

メモ

- この機能を使うには、あらかじめ宛先を定型業務ボタンに登録する必要があります。（→宛先を登録／編集／削除する：P.4-9）
- 定型業務ボタンは、オプションのセンドキットを装着した場合のみ登録することができます。

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を押します。

3 目的の定型業務ボタンとして登録されているワンタッチキー（01 ～ 04）を押します。

キーを間違えたときは [クリア] を押して、選択し直してください。

4 必要に応じて、文書の設定を調整してください。

詳細については、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

5 [スタート] を押します。

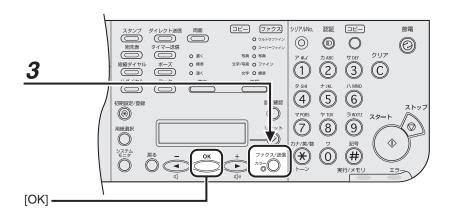
メモ

<ファクス仕様設定>の<送信機能設定>で<ダイヤルタイムアウト>が<する>に設定されている場合は、設定時間が過ぎると自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使って相手先を入力した場合は、[スタート] を押すまでダイヤルされません。

手動で送信する（ファクス送信）

原稿を送信する前に相手と話をしたい場合、または相手先のファクス機が自動受信できない場合は、手動で送信してください。

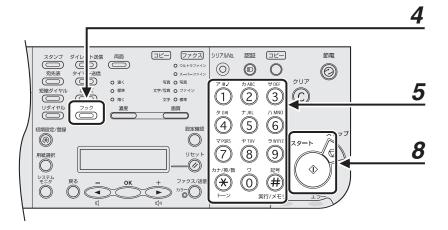
メモ

手動送信では、グループダイヤルは使用できません。

1 オプションのハンドセットを本製品に接続します。

オプションのハンドセットの接続方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」を参照してください。

2 原稿をセットします。

3 ［ファクス／送信］を繰り返し押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

4 ［フック］を押すか、オプションのハンドセットを取ります。

5 相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。

メモ

ファクス番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

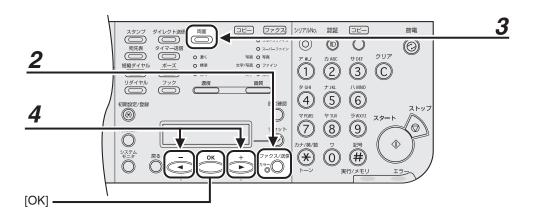
6 受話器で相手と話します。

手順４で［フック］を押した場合は、相手先の声が聞こえたら受話器を取ります。
相手先の声ではなく「ピー」という音が聞こえた場合は、手順８に進んでください。

7 ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。

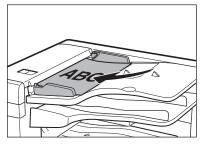
8 「ピー」という音が聞こえたら［スタート］を押し、受話器を置きます。

両面原稿を送信する

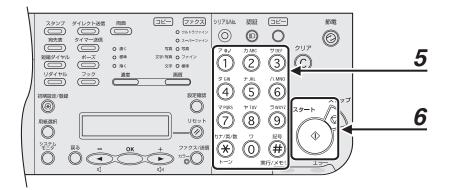
ADF 内で原稿を自動的に裏返して、両面を読み込むように設定することができます。

1 **原稿をセットします。**

2 **［ファクス／送信］を繰り返し押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［両面］を押します。**

4 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜左右開き＞または＜上下開き＞を選択し、［OK］を押します。**

図のように、原稿の画像の向きを縦にセットした場合、以下のように開きかたを選択してください。
＜左右開き＞：原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に選択します。
＜上下開き＞：原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合に選択します。

メモ

A3 の縦原稿の場合など画像の向きを横にしたときは、原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合に＜左右開き＞を選択します。また、原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に＜上下開き＞を選択します。

5 テンキー、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って相手先を入力します。

6 ［スタート］を押します。

すべての設定を取り消して待受画面に戻るには、［リセット］を押します。

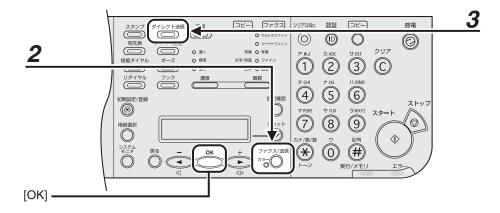
メモ

- ＜ファクス仕様設定＞の＜送信機能設定＞で＜ダイヤルタイムアウト＞が＜する＞に設定されている場合は、設定時間が過ぎると自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使って相手先を入力した場合は、［スタート］を押すまでダイヤルされません。
- 一時的な停電中（1 時間以内）にタイマー送信の設定時刻になった場合、翌日の設定時刻にファクスが送信されます。

ダイレクト送信する

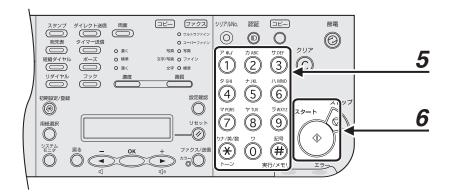
ダイレクト送信は、メモリに保存せず、ADF 内の原稿を 1 ページずつ読み込んで送信します。メモリに保存された原稿を送信する前に、原稿を送信できます。

メモ

- ダイレクト送信では、グループダイヤルは使用できません。
- ダイレクト送信では、1 ページずつをメモリに読み込み、直ちに送信します。＜メモリがいっぱいです＞が表示された場合は、ダイレクト送信を選択していても、1 ページ分を保存できるメモリが空くまで待つか、メモリ内の原稿を削除してから、やりなおしてください。（→メモリ内の送信ジョブを確認／操作する：P.4-65）
- 電子メール、I ファクス、ファイルサーバ送信時にはダイレクト送信することはできません。

1 **原稿をセットします。**

2 **［ファクス／送信］を繰り返し押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［ダイレクト送信］を押します。**

ダイレクト送信をキャンセルするには、もう一度［ダイレクト送信］を押してください。

4 必要に応じて、原稿の設定を調整します。

詳細については、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

5 相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。

タイマー送信または同報送信が選択されている場合は、メモリ送信が自動的に選択されます。

6 ［スタート］を押します。

読み込まれた各ページが、直ちに送信されます。

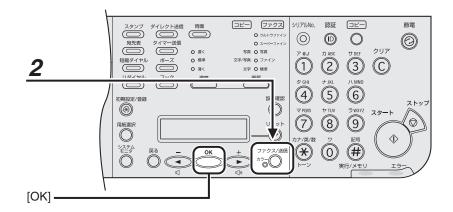
通信中に、＜通信中です＞と相手先のファクス番号または電話番号が交互にディスプレイに表示されます。

同報送信

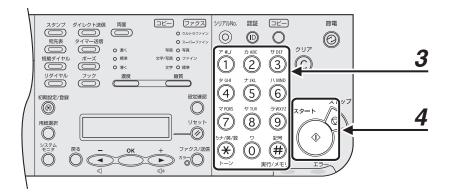
複数の宛先を指定する

1 回の操作で複数の宛先（最大 510 件）に同じ原稿を送信できます。

メモ

- 1 度に指定できる宛先数は最大 510 件です。グループダイヤルを使用する場合、宛先件数はグループ単位ではなく、グループに登録されている宛先数単位で計算されます。たとえば、1 つのグループに 10 件の宛先が登録されている場合、宛先件数は 1 件ではなく 10 件と計算されます。
- 複数の宛先に送信する機会が頻繁にある場合は、グループダイヤルとして宛先を登録しておくと便利です。
- ＜システム管理設定＞の＜送信機能の制限＞で＜同報送信の制限＞が＜同報送信不可＞に設定されている場合、同報送信できません。（→同報送信を制限する：P.9-24）
- カラー画像を送信する場合、1 度に複数の宛先を指定できません。1 件ずつ送信するか、画像を白黒設定にして送信してください。（→画像／原稿の設定を調節する（電子メール／I ファクス／ファイルサーバ送信）：P.4-6）

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を押して送信方法を選択し、［OK］を押します。

ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目からいずれかを選択し、［OK］を押してください。

3 テンキーまたはスピードダイヤルを使って複数の宛先（最大 510 件）を指定します。

テンキーを使う場合：テンキーを使って宛先を入力したあと、[OK] を押します。
ワンタッチダイヤルを使う場合：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 80）を押します。
短縮ダイヤルを使う場合：[短縮ダイヤル] を押したあと、3 桁の番号（000 ～ 419）を入力します。複数指定する場合は、1 つの宛先を指定するごとに［短縮ダイヤル］を押します。
必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

メモ

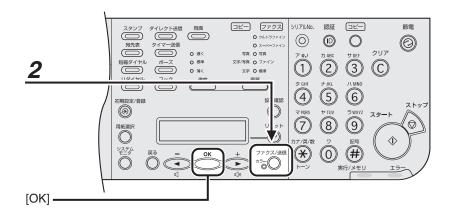
- テンキーで指定できる電子メール／I ファクス／ファイルサーバの宛先は最大 1 件、ファクスの宛先は最大 10 件です。（→テンキーで複数のファクス番号を指定する：P.4-48）
- ［◄ー］または［＋►］を押すと指定した宛先を確認できます。

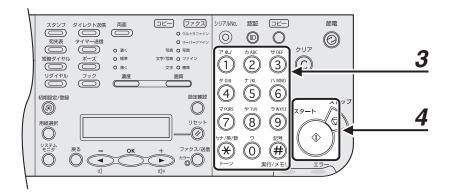
4 ［スタート］を押します。

メモ

＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、［スタート］を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

テンキーで複数のファクス番号を指定する

新規宛先にファクス送信する場合、1 回の操作で複数の宛先（最大 10 件）に同じ原稿を送信できます。

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス / 送信］を繰り返し押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。

3　テンキーを使って複数の宛先（最大 10 件）を指定します。

［◄−］を押すと番号が 1 字ずつ消去されます。
宛先を入力したあとに［OK］を押すと、次の宛先を入力できます。
宛先入力時に［戻る］、［クリア］を押すか、または宛先が 1 字も入力されていない状態で［◄−］を押すと、前の画面に戻ります。
複数の宛先を入力して［OK］を押した状態で、［◄−］または［+►］を押すと、すでに入力してある宛先を確認することができます。また、宛先確認時は以下の操作を行うことができます。
新規宛先の追加：
［OK］またはテンキーを押すと、新規宛先を追加することができます。
宛先の削除：
［戻る］または［クリア］を押すと、＜宛先を消去しますか？＞のメッセージが表示されます。削除する場合は［◄−］を押して＜はい＞選択します。削除を中止する場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。
必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」を参照してください。

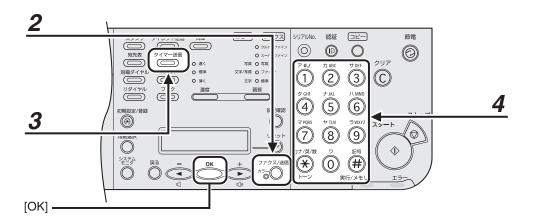
4　［スタート］を押します。

タイマー送信

タイマー送信を使って、指定した時刻に送信を開始できます。

メモ

カラー画像をタイマー送信する場合に < メモリがいっぱいです > と表示されたら、いったんジョブを取り消して（→送信中または送信待機中のジョブを確認／削除する：P.4-66）、タイマー送信を使わずに送信してください。

---

1 原稿をセットします。

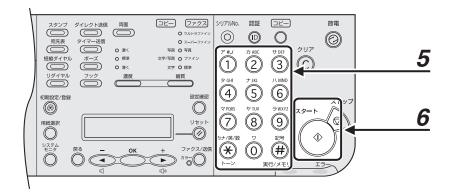
2 ［ファクス／送信］を繰り返し押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［タイマー送信］を押します。

4 テンキーを使って送信開始時刻を入力し、［OK］を押します。

- 時刻は 24 時間制で入力します。
- ゼロも含めたすべての番号を入力します。

例）

```
送信時刻設定
20:00
```

5 テンキー、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って相手先を入力します。

最大で 70 件まで入力できます。

6 ［スタート］を押します。

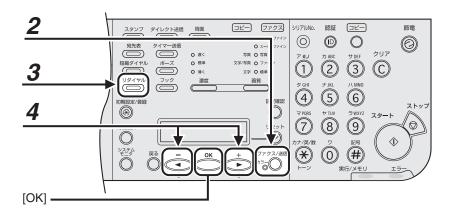
メモ

- ＜ファクス仕様設定＞の＜送信機能設定＞で＜ダイヤルタイムアウト＞が＜する＞に設定されている場合は、設定時間が過ぎると［スタート］を押さなくても自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使って相手先を入力した場合は、［スタート］を押すまでダイヤルされません。
- 一時的な停電中（1 時間以内）にタイマー送信の設定時刻になった場合、翌日の設定時刻にファクスが送信されます。

リダイヤル機能／コール機能

以前に指定した宛先を最大３件まで呼ぶ出すことができます。コール機能では、解像度などを設定していた場合、設定内容もあわせて呼び出されます。

メモ

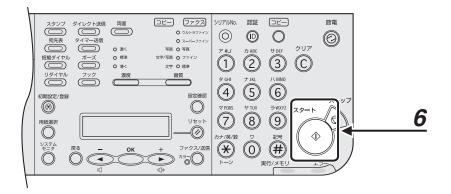
- オプションのセンドキットを装着している場合は、コール機能として使用します。
- ＜リダイヤル／コールの制限＞が＜ ON ＞に設定されている場合は、コール機能を使用できません。（→リダイヤル機能／コール機能を制限する：P.9-23）

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を押します。

3 ［リダイヤル］を押します。

4 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜１つ前＞、＜２つ前＞、または＜３つ前＞を選択し、［OK］を押します。

5 呼び出した宛先を確認します。

コール機能で解像度など原稿読み込み時の設定内容を変更する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

6　［スタート］を押します。

メモ

＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、［スタート］を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

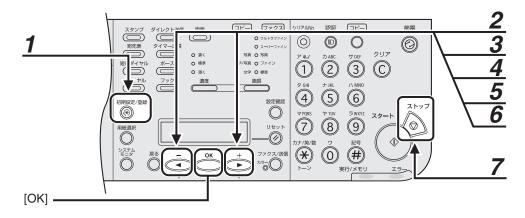
済みスタンプ機能を設定・使用する

**スキャンしたページの表面の中央下部にスタンプを押すように設定できます。
オプションのセンドキットを装着している場合、この設定はファクス、I ファクス、電子メール、ファイルサーバ送信の際に有効になります。**

済みスタンプを設定する

あらかじめ済みスタンプを押す／押さないの設定をしておくことができます。以下の手順に従い、済みスタンプの設定をします。

メモ

済みスタンプを押す設定にすると、宛先を指定したあとにスタンプランプが点灯します。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜ファクス設定＞を選択し、［OK］を押します。

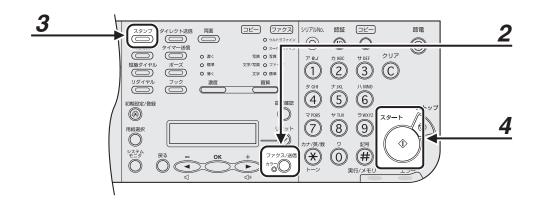
4 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜送信機能設定＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜済スタンプ＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜読込終了時＞または＜通信終了時＞を選択し、［OK］を押します。

7 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

済みスタンプ機能を設定する

[スタンプ] を押すと送信・スキャンした原稿に済みスタンプを押せます。原稿は設定したスタンプ条件に従ってスタンプされます。（→済みスタンプを設定する：P.4-54）

1 原稿をセットします。

2 [ファクス／送信] を押して送信方法を選択し、[OK] を押します。

3 テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはスピードダイヤルを使って宛先を指定します。

4 [スタンプ] を押します。

5 [スタート] を押します。

送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく（送信文書アーカイブ）

送信文書アーカイブは本体から送信した画像を保管用に別の宛先（ファクス番号、電子メール・I ファクスのアドレス、またはファイルサーバ）へ転送します。
この機能を使うとタイマー送信が正しく行われたかどうか、または自宅や出張先にいるときに本体から送信したファクスを通知することができます。
送信文書アーカイブの宛先は＜システム管理設定＞の＜条件なし転送設定＞で設定できます。

メモ

- オプションのセンドキットを装着している場合は、宛先としてファクス番号、電子メール・I ファクスのアドレス、またはファイルサーバを指定できます。
- 送信文書アーカイブの宛先に I-FAX が設定されているときは、元送信の解像度設定が 150 x 150 dpi の場合に、元送信の解像度は 200 x 200 dpi に変更されます。

送信文書アーカイブを使用する前に

送信文書アーカイブをご使用になる前に以下の点をご注意ください。

- 送信文書アーカイブの対象となる元送信は、ファクスと I ファクスです（元送信となる I-FAX 送信がファクス送信に対応していない解像度(150 x 150 dpi, 300 x 300 dpi, 600 x 600 dpi) のときは、送信文書アーカイブの宛先にファクスが設定されている場合に、元送信の解像度が 200 x 200 dpi に変更されます）。
- ＜システム管理設定＞の＜条件なし転送設定＞で設定した宛先の送信方法、送信速度、および ECM の設定は送信文書アーカイブを使用する際にも適用されます。
- 送信文書アーカイブはメモリ送信（同報送信を含む）、モノクロ送信のときに有効です。
- 元送信がダイレクト送信、転送送信の場合は送信文書アーカイブの対象とはなりません。
- 送信文書アーカイブを有効にすると、ダイレクト送信ランプは消灯し、ダイレクト送信を使用できません。ダイレクト送信をする場合は、文書を手動で送信する必要があります。
- 本体側で送信文書アーカイブ機能を＜ ON ＞に設定している場合は、コンピュータからのファクス送信はできません。

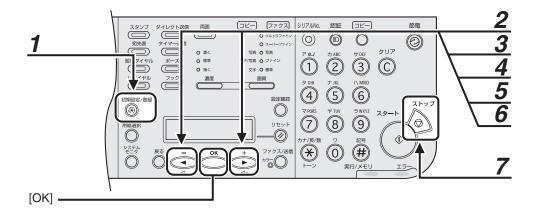
メモ

送信できなかったジョブは、40 通信ごとにプリントされる通信管理レポートに記録されます（送信文書アーカイブ を＜ ON ＞にすると、40 通信ごとに通信管理レポートが自動プリントされる設定になります）。

送信文書アーカイブを使用する

以下の手順に従って送信文書アーカイブを ON にします。

メモ

- 送信文書アーカイブを行うためには、以下の設定のほかに、< システム管理設定 > の < 条件なし転送設定 > でファクス／I ファクス受信時の転送を有効にしておく必要があります。（→転送条件に一致しない場合の転送先を登録する：P.5-13）
- 送信文書アーカイブは送信した文書ごとに一回行われます。リダイヤルについては本体の設定に従います。
- 同報送信を使用するとき、すべての送信（ダイヤルやリダイヤルを含む）が完了したあと、少なくても一つの宛先に送信が成功した場合に送信文書アーカイブは一回行われます。
- 通信管理レポートでは、Mode（取引モード）欄に「TRANSFER」を、NO.（取引番号）欄に原稿送信先の番号をプリントします。
- 送信文書アーカイブの送信者情報で、DATE に送信日を、TIME に送信時間をプリントします。

1 **[初期設定／登録] を押します。**

2 **[◄ −] または [+ ►] を押して < システム管理設定 > を選択し、[OK] を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、[OK] を押します。

3 **[◄ −] または [+ ►] を押して < 通信管理設定 > を選択し 、[OK] を押します。**

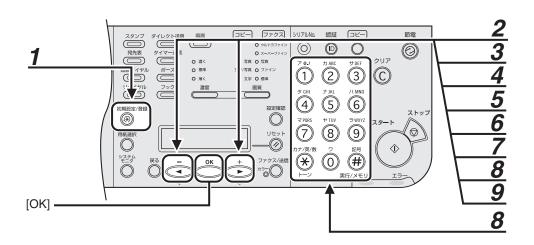
4 **[◄ −] または [+ ►] を押して < ファクス設定 > を選択し 、[OK] を押します。**

5 **[◄ −] または [+ ►] を押して < 送信文書アーカイブ > を選択し 、[OK] を押します。**

6 **[◄ −] または [+ ►] を押して <ON> を選択し 、[OK] を押します。**

7 **[ストップ] を押して待受画面に戻ります。**

自動リダイヤルを設定する（ファクス送信）

自動リダイヤルとは、ファクス送信時に相手先が話し中などで送信できない場合や送信エラーが発生したときに、自動的に再送信する機能です。
自動リダイヤルを設定した場合は、リダイヤルする回数や間隔などを設定できます。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄−］または［+►］を押して＜ファクス設定＞を選択し、［OK］を押します。

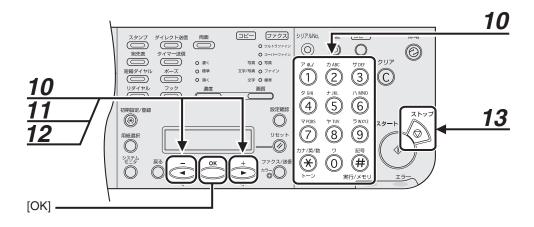
4 ［◄−］または［+►］を押して＜送信機能設定＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄−］または［+►］を押して＜自動リダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

7 ［◄−］または［+►］を押して＜リダイヤル回数＞を選択し、［OK］を押します。

8 ［◄−］、［+►］、またはテンキーを使ってリダイヤルする回数（1 ～ 10 回）を入力し、［OK］を押します。

9 ［◄−］または［+►］を押して＜リダイヤル間隔＞を選択し、［OK］を押します。

10 [◄ ―]、[+ ►]、またはテンキーを使ってリダイヤルする間隔（1 分間隔で 2 〜 99 分）を入力し、[OK] を押します。

11 [◄ ―] または [+ ►] を押して<送信エラー時リダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

12 [◄ ―] または [+ ►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。

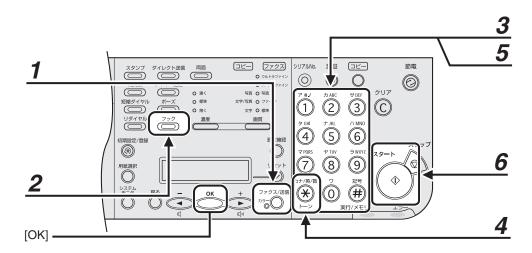
< ON >：送信エラー時に自動リダイヤルして送信文書の全ページが再送されます。
< OFF >：送信エラー時は自動リダイヤルしません。

13 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

一時的にトーン発信へ切り替える

銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、プッシュ回線での利用を前提とするものがあります。本製品がダイヤル回線に接続されている場合は、以下の手順で一時的にトーン信号を送出することができます。

メモ

通話するには、オプションのハンドセットを装着するか外付け電話機を本製品に接続する必要があります。

1 **［ファクス／送信］を繰り返し押して<ファクス>を選択し、［OK］を押します。**

2 **［フック］を押します。**

ファクス番号を入力する前に、発信音を確認します。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

3 **テンキーを使って、情報サービスにダイヤルします。**

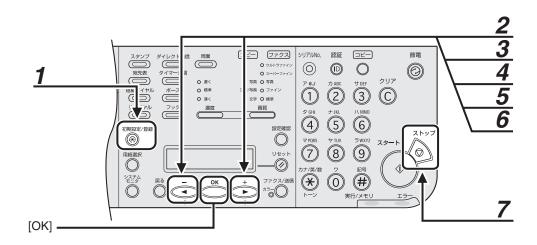
4 **情報サービスの録音メッセージが応答したら、［トーン］を押してトーン発信に切り替えます。**

5 **テンキーを使って、情報サービスに必要な番号を入力します。**

6 **ファクスを受信する場合は、［スタート］を押します。**

終了すると通信を自動的に切断し、回線は元の設定に戻ります。

ダイヤル時回線確認

この機能を使うと、ダイヤル時に回線がつながっているかどうか確認することができます。

1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄ –] または [+ ►] を押して<送信／受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ –] または [+ ►] を押して<ファクス設定>を選択し、[OK] を押します。

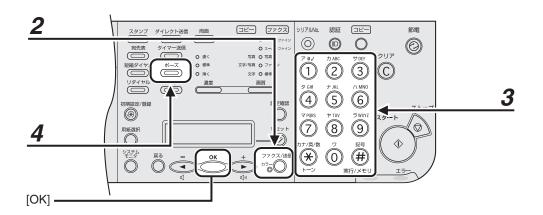
4 [◄ –] または [+ ►] を押して<送信機能設定>を選択し、[OK] を押します。

5 [◄ –] または [+ ►] を押して<ダイヤル時回線確認>を選択し、[OK] を押します。

6 [◄ –] または [+ ►] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。

7 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

海外へのファクス送信時、ファクス番号にポーズの挿入が必要な場合があります。

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス／送信］を繰り返し押して＜ファクス＞を選択し、［OK］を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

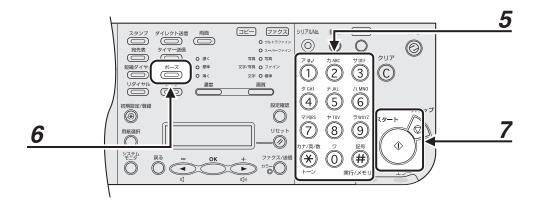
3 テンキーを使って国際アクセス番号を入力します。

国際アクセス番号の詳細については、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

4 必要に応じて［ポーズ］を押し、ポーズを入力します。

例）

```
ﾌｧｸｽ 番 号
TEL=123p12XXXX
```

- ポーズを意味する＜ p ＞が番号の途中に表示されます。
- ポーズを連続して入れる場合は、もう一度［ポーズ］を押してください。
- 番号の途中に入れるポーズ時間の長さは＜ポーズ時間セット＞メニューで調節できます。初期値は 2 秒になります。（→メニューの設定内容：P.12-4）

5 テンキーを使って相手先の国番号、エリア番号、ファクス／電話番号を入力します。

6 必要に応じてファクス／電話番号の末尾に、[ポーズ] を押してポーズを入力します。

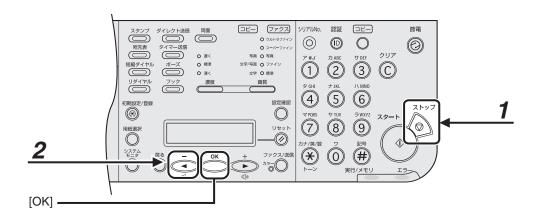
- ポーズを意味する＜ P ＞が番号の末尾に表示されます。
- 番号の末尾にポーズを入れた場合、ポーズ時間は 10 秒（固定）になります。

7 [スタート] を押します。

メモ

＜送信／受信仕様設定＞の＜ファクス設定＞で＜送信機能設定＞の＜ダイヤルタイムアウト＞が＜ ON ＞に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が開始されます。このため、[スタート] を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

送信ジョブを中止する

原稿の読み込み操作や送信操作を中止します。

1 ［ストップ］を押します。

2 ＜ストップが押されました＞と表示されたら、［OK］を押します。

```
ｽﾄｯﾌﾟ が 押 さ れ ま し た
ＯＫｷｰを 押 し て く だ さ い
```

＜ジョブを中止しますか？＞と表示されたら、［◄ ─］を押して＜はい＞を選択します。

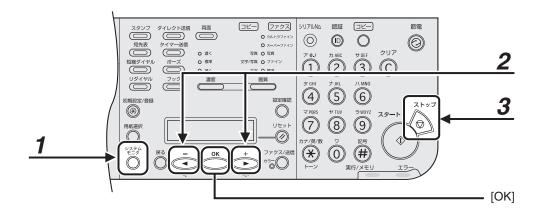
```
ｼﾞｮﾌﾞ を 中 止 し ま す か ?
 〈 は い          い い え 〉
```

メモ

ADF に原稿が残っている場合は、取り除いてください。

メモリ内の送信ジョブを確認／操作する

［システムモニタ］を押して、送信履歴を確認したり送信中または送信待機中のジョブを確認／削除できます。

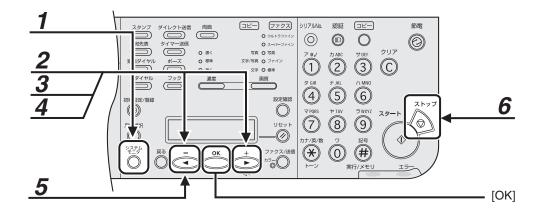
送信履歴を確認する

1 ［システムモニタ］を繰り返し押して＜通信履歴＞を選択し、［OK］を押します。

メモ

＜システム管理設定＞の＜ジョブ履歴表示＞が＜ OFF ＞に設定されている場合、＜通信履歴＞は表示されません。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して送信履歴を表示します。

3 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

送信中または送信待機中のジョブを確認／削除する

1 **［システムモニタ］を繰り返し押して＜通信状況＞を選択し、［OK］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押してメモリ内にある送信ジョブを確認します。**

ジョブを削除する場合は、手順 3 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

3 **［◄ −］または［+ ►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜キャンセル＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ −］を押して＜はい＞を選択します。**

削除操作を中止する場合は、［+ ►］を押して＜いいえ＞を選択します。

6 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

5 受信する

以下の手順に従って、ファクスの受信を設定します。
応用機能については、操作ガイド（総合編）＞ 送受信する を参照してください。

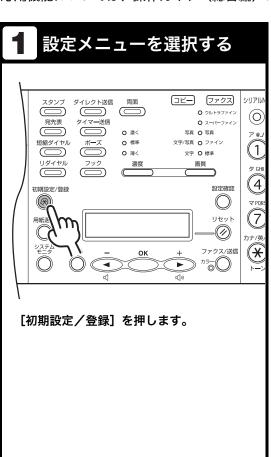
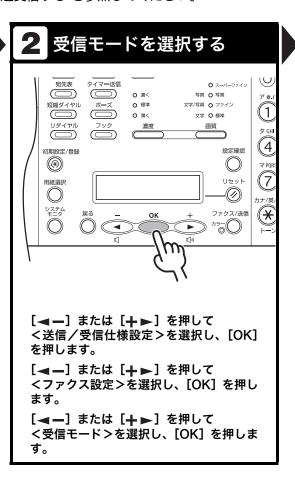
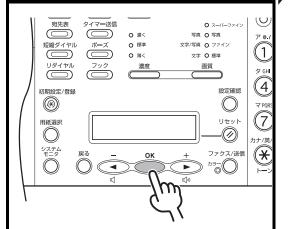
1 設定メニューを選択する

［初期設定／登録］を押します。

2 受信モードを選択する

［◄－］または［＋►］を押して＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

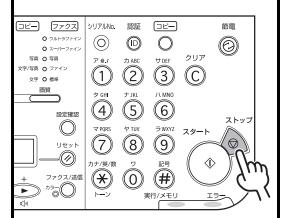
［◄－］または［＋►］を押して＜ファクス設定＞を選択し、［OK］を押します。

［◄－］または［＋►］を押して＜受信モード＞を選択し、［OK］を押します。

3 受信モードを設定する

[◄ー] または [+►] を押して受信モードを選択し、[OK] を押します。

<自動>：すべての着信をファクスとして受信します。
< FAX/TEL >：外付け電話が接続されている場合は、ファクスと電話を自動的に切り替えます。
<留守 TEL >：ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は留守番電話機が用件を録音します。
<手動>：着信に応答しません。手動でファクスを受信してください。
詳細については、操作ガイド（総合編）> 送受信する を参照してください。

メモ

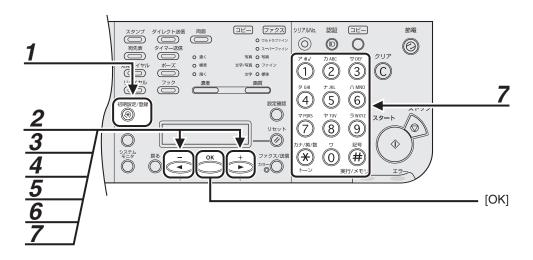
<留守 TEL >の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。

4 設定メニューを終了する

[ストップ] を押して待受画面に戻ります。

こんなときは ...

- **受信を中止するとき：**
  [ストップ] を押します。
  <ジョブを中止しますか？>と表示されたら、[◄ー] を押して<はい>を選択します。
- **<トナー少 (継続プリント可) ／トナー準備して下さい>と表示されたとき：**
  トナーが残り少なくなっています。トナーカートリッジを交換するか、<印字継続>を<継続する>に設定してください。
  詳細については、
  「ディスプレイの表示」（→ P.11-5）を参照してください。

ファクス／ TEL 詳細設定

着信してから呼び出し音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうかを検出する時間<呼出開始時間>、呼び出し音を鳴らす時間<呼出時間>、呼び出し終了後の本製品の動作<呼出後の動作>を設定します。

---

1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄ –] または [+ ►] を押して<送信／受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。

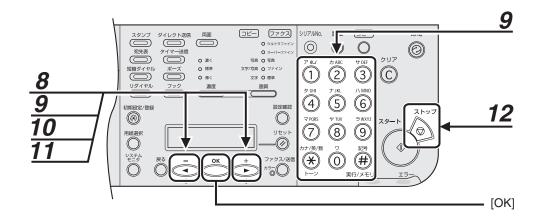
3 [◄ –] または [+ ►] を押して<ファクス設定>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ –] または [+ ►] を押して<受信機能設定>を選択し、[OK] を押します。

5 [◄ –] または [+ ►] を押して<ファクス／ TEL 詳細設定>を選択し、[OK] を押します。

6 [◄ –] または [+ ►] を押して<呼出開始時間>を選択し、[OK] を押します。

7 [◄ –]、[+ ►]、またはテンキーを使って着信してから呼び出し音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうかを検出する時間（0 秒～ 30 秒）を選択し、[OK] を押します。

本体はファクスを受信すると、着信音は鳴らず、自動的に受信モードに切り替えます。

8 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜呼出時間＞を選択し、［OK］を押します。

9 ［◄ −］、［+ ►］、またはテンキーを使って呼び出し音を鳴らす時間（15 秒～ 300 秒）を選択し、［OK］を押します。

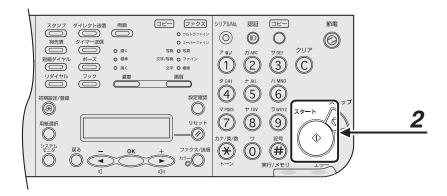
10 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜呼出後の動作＞を選択し、［OK］を押します。

11 ［◄ −］または［+ ►］を押して、呼び出し終了後の本製品の動作を選択し、［OK］を押します。

＜受信＞：ファクスを受信します。
＜終了＞：通信を切断します。

12 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

手動で受信する

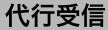
<受信モード>で<手動>を選択した場合は、以下の手順でファクスを受信します。

1 **着信音が鳴ったら、オプションのハンドセットまたは外付け電話機の受話器を取ります。**

2 **ビープ音が聞こえたら［スタート］を押します。**

メモ

手順 1 で外付け電話機の受話器を取った場合は、外付け電話機のテンキーで 2 桁のリモート受信 ID を入力し、ファクスを受信してください。(→リモート受信：P.5-19)

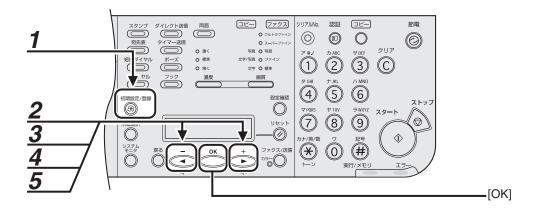
3 **受話器を置きます。**

代行受信

トナー切れや用紙切れなどでプリントができない場合、本製品は受信した文書をいったんメモリに蓄積します。問題が解決すると、メモリに蓄積された文書が自動的にプリントされます。

メモ

- 本体のメモリは、最大で 90 ジョブまたは約 1,500 ページ分 * のデータを蓄積できます。*
  * 相手側のファクスが Canofax L1000 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のページ数です。メモリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクスによって異なります。
- 蓄積されたページはプリントされるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

メモリ受信

受信した文書をプリントせずにメモリに保存するように設定しておくことができます。この機能をメモリ受信と呼びます。メモリに保存された文書は、相手先などを確認したあと、別の宛先に再送信することができます。(→メモリ受信した文書を別の宛先へ転送する：P.5-16)メモリ受信機能を解除すると、保存された文書はプリントされます。(→メモリ受信した文書をプリントする：P.5-11)

1　［初期設定／登録］を押します。

2　［◄－］または［＋►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。

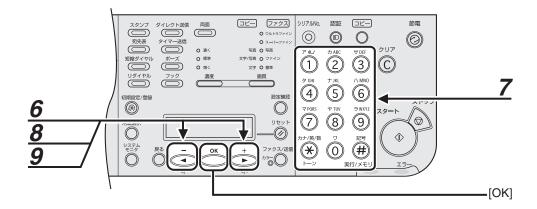
システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3　［◄－］または［＋►］を押して<通信管理設定>を選択し、［OK］を押します。

4　［◄－］または［＋►］を押して<メモリ受信設定>を選択し、［OK］を押します。

メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

5　［◄－］または［＋►］を押して< ON >を選択し、［OK］を押します。

メモリに保存されている文書がある場合、< OFF >を選択すると保存されている文書がプリントされます。

6 [◄ –] または [+ ►] を押して＜暗証番号＞を選択し、[OK] を押します。

7 テンキーを使ってメモリ受信の暗証番号（最大 7 桁）を入力し、[OK] を押します。

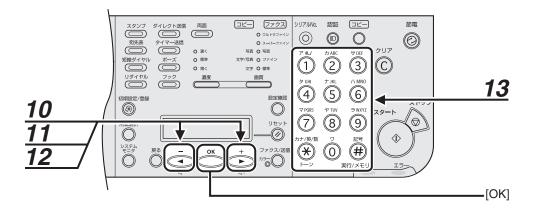
例）

暗 証 番 号
1 2 3 4 5 6 7 _

8 [◄ –] または [+ ►] を押して＜レポートプリント＞を選択し、[OK] を押します。

9 [◄ –] または [+ ►] を押して< OFF >または< ON >を選択し、[OK] を押します。

< OFF >：文書を受信したときに受信結果レポートをプリントしません。
< ON >：文書を受信したときに受信結果レポートをプリントします。

受信結果レポートをプリントする場合は、＜受信結果レポート＞も< ON >に設定してください。
詳細については、「受信結果レポート」（→ P.12-41）を参照してください。

10 **[◄ –] または [+ ►] を押して<メモリ受信時刻設定>を選択し、[OK] を押します。**

メモリ受信の開始時刻と終了時刻を指定できます。開始時刻になると自動的にメモリ受信に切り替わり、終了時刻になると解除されます。

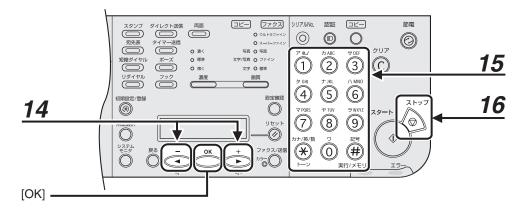
11 **[◄ –] または [+ ►] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。**

時刻を指定しない場合は、< OFF >を選択し手順 16 に進んでください。

12 **[◄ –] または [+ ►] を押して<メモリ受信開始時刻>を選択し、[OK] を押します。**

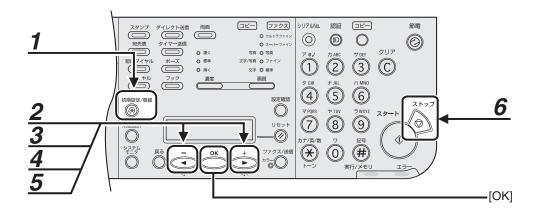
13 **テンキーを使って開始時刻（24 時間制）を入力し、[OK] を押します。**

例）

```
開 始 時 刻
              0 0 : 0 0
```

14 [◄ −] または [+ ►] を押して＜メモリ受信終了時刻＞を選択し、[OK] を押します。

15 テンキーを使って終了時刻（24 時間制）を入力し、[OK] を押します。

16 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

メモリ受信した文書をプリントする

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄－］または［＋►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 **［◄－］または［＋►］を押して<通信管理設定>を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄－］または［＋►］を押して<メモリ受信設定>を選択し、［OK］を押します。**

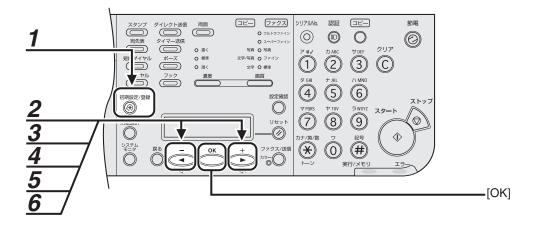
メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

5 **［◄－］または［＋►］を押して< OFF >を選択し、［OK］を押します。**

メモリに保存されている文書がプリントされます。

6 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

DM 制限

ユーザ電話番号の登録をしていないファクスからの受信を制限することができます。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ ‒］または［+ ►］を押して＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ ‒］または［+ ►］を押して＜ファクス設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ ‒］または［+ ►］を押して＜受信機能設定＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ ‒］または［+ ►］を押して＜ DM 制限＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ ‒］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

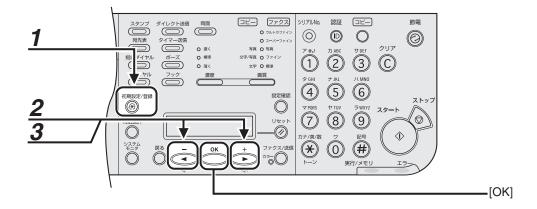
受信した文書を転送する

転送とは、受信した文書を他の機器やファイルサーバに送信する（中継）機能です。本製品では設定した条件を満たした受信文書を指定した宛先に転送することができます。転送設定はリモート UI 機能を使って行います。（→操作ガイド（総合編）＞ パソコンからの設定／管理）

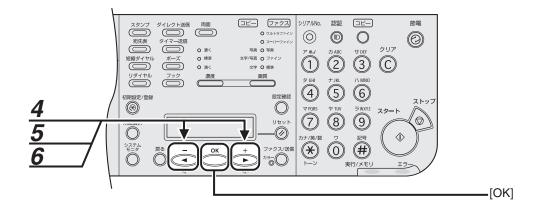
転送条件に一致しない場合の転送先を登録する

転送先が登録されていない場合、または設定したすべての転送条件に一致しなかった場合の転送先を、操作パネルで指定することができます。

メモ

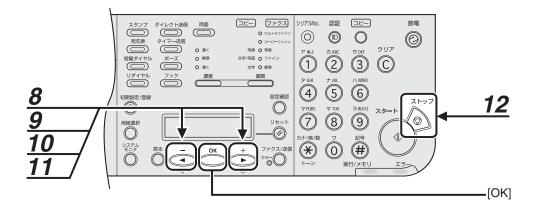
「送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく（送信文書アーカイブ）」（→ P.4-56）は、ここで登録した転送先に送信されます。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜条件なし転送設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ー］または［＋►］を押して＜ファクス＞または＜ IFAX ＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ー］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ー］または［＋►］を押して＜転送＞を選択し、［OK］を押します。

7 スピードダイヤルを使って転送先を指定し、［OK］を押します。

8 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ファイル形式＞を選択し、［OK］を押します。

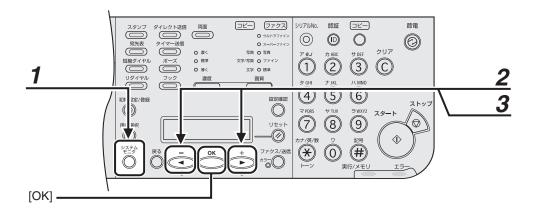
9 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ TIFF ＞または＜ PDF ＞を選択し、［OK］を押します。

10 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ページごとに分割＞を選択し、［OK］を押します。

11 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜しない＞または＜する＞を選択し、［OK］を押します。

＜しない＞：複数の画像をページごとに分割しないで、1 つのファイルとして送信します。
＜する＞：複数の画像をページごとに分割して、別べつのファイルとして送信します。

12 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

メモリ受信した文書を別の宛先へ転送する

1 **［システムモニタ］を繰り返し押して＜通信状況＞を選択し、［OK］を押します。**

2 **［◄－］または［＋►］を押して転送するジョブを選択し、［OK］を押します。**

メモ

＜待機中＞と表示されているジョブを転送できます。

3 **［◄－］または［＋►］を押して＜転送＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **スピードダイヤルを使って転送先を指定し、［OK］を押します。**

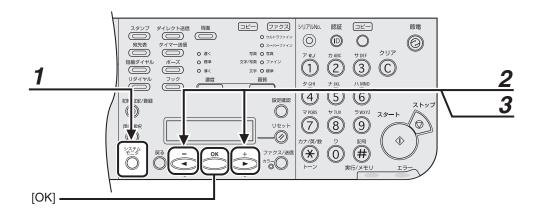
送信操作が開始されます。

メモ

テンキーを使って転送先を指定することはできません。

転送に失敗した文書を再送信する

メモ

この機能を使用するには、＜システム管理設定＞の＜転送時 保存 / プリント＞で＜エラー時に画像を保存＞を＜ ON ＞に設定しておく必要があります。

1 ［システムモニタ］を繰り返し押して＜転送エラー　ジョブ状況＞を選択し、［OK］を押します。

2 ［◄ー］または［＋►］を押して再送信するジョブを選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ー］または［＋►］を押して＜転送＞を選択し、［OK］を押します。

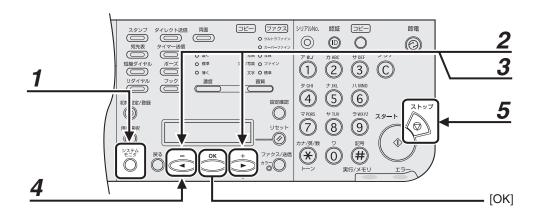
4 スピードダイヤルを使って再送信先を指定し、［OK］を押します。

送信操作が開始されます。

メモ

- テンキーを使って転送先を指定することはできません。
- 再送信するとメモリに保存されていた文書は消去されます。

転送に失敗した文書をプリント／削除する

---

1 **［システムモニタ］を繰り返し押して＜転送エラー　ジョブ状況＞を選択し、［OK］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押してプリントまたは削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜プリント＞または＜キャンセル＞を選択し、［OK］を押します。**

メモ

＜システム管理設定＞の＜通信管理設定＞にある＜メモリ受信設定＞が＜ ON ＞に設定されている場合、文書はプリントされません。

4 **［◄ −］を押して＜はい＞を選択します。**

5 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

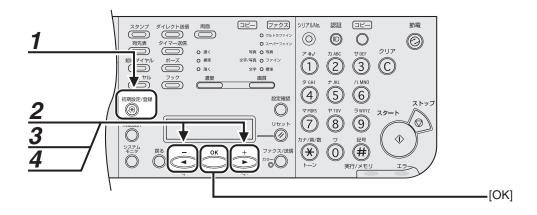
リモート受信

リモート受信機能を使うと、本製品に接続された外付け電話機からファクスを手動で受信することができます。本製品が離れた場所にある場合、または本製品が使用中の場合に便利です。

メモ

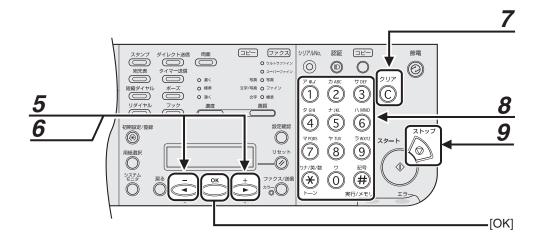
この機能は、＜共通仕様設定＞の＜スリープ時の消費電力＞が＜低＞に設定されている場合は、使用できません。

リモート受信 ID を登録する

初期設定リモート受信 ID（初期値：25）を変更する場合は、以下の手順を実行します。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ファクス設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜受信機能設定＞を選択し、［OK］を押します。

5 [◄ –] または [+ ►] を押して＜リモート受信＞を選択し、[OK] を押します。

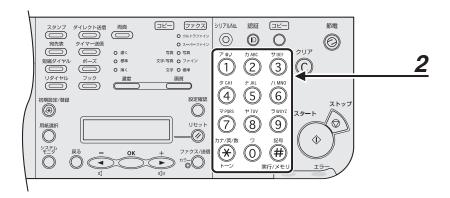
6 [◄ –] または [+ ►] を押して＜ ON ＞を選択し、[OK] を押します。

7 [クリア] を 2 回押して初期値のリモート受信 ID（25）を消去します。

8 テンキーを使って新しいリモート受信 ID（00 ～ 99）を入力し、[OK] を押します。

9 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

ファクスをリモート受信する

外付け電話の回線設定がダイヤル回線になっている場合は、プッシュ回線に切り替えてください。

1 着信があったら、外付け電話機の受話器を取ります。

2 テンキーを使って、2 桁のリモート受信 ID を入力し、受信を開始します。

3 受信が完了したら、受話器を置きます。

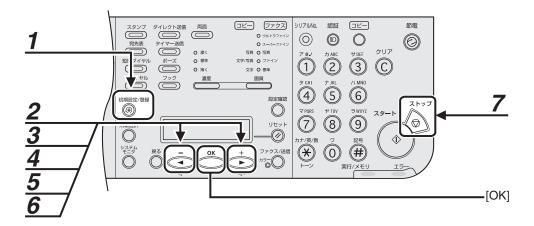
特殊なファクス出力

受信画像縮小、両面印刷機能があります。

両面印刷

受信した画像を用紙の両面にプリントできます。

メモ

両面印刷の対応用紙サイズは＜ A4 ＞、＜ LGL ＞、＜ LTR ＞です。＜ A4 ＞、＜ LGL ＞、＜ LTR ＞以外の用紙サイズが設定されている場合、両面ではなく片面印刷となります。両面印刷をお使いになる場合は、＜用紙サイズ＞を＜ A4 ＞、＜ LGL ＞、＜ LTR ＞のいずれかに設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-11）

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜共通設定＞を選択し、［OK］を押します。

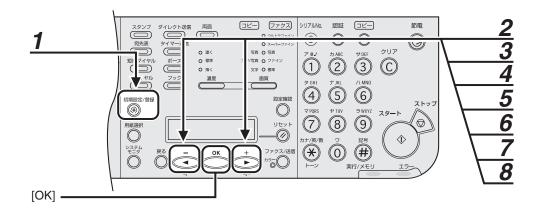
4 ［◄－］または［＋►］を押して＜受信機能設定＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄－］または［＋►］を押して＜両面記録＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

7 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

受信画像の縮小

受信したファクスを縮小してプリントできます。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜共通設定＞を選択し、［OK］を押します。

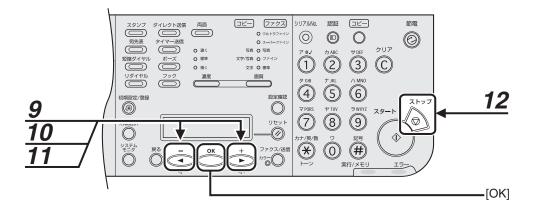
4 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜受信機能設定＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜画像縮小＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

7 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜縮小モード＞を選択し、［OK］を押します。

8 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜自動＞または＜固定＞を選択し、［OK］を押します。

＜自動＞：縮小率が自動的に調整されます。＜自動＞を選択した場合は、手順 10 に進んでください。
＜固定＞：4 つの固定値（90%、95%、97%、75%）から縮小率を選択します。

9 **[◄－] または [＋►] を押して縮小率（90%、95%、97%、75%）を選択し、[OK] を押します。**

10 **[◄－] または [＋►] を押して＜縮小方向＞を選択し、[OK] を押します。**

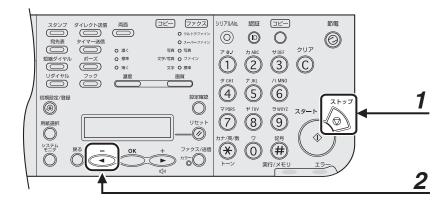
11 **[◄－] または [＋►] を押して＜縦のみ＞または＜縦横＞を選択し、[OK] を押します。**

＜縦のみ＞：縦方向にのみ縮小します。
＜縦横＞：縦横方向に縮小します。

12 **[ストップ] を押して待受画面に戻ります。**

受信ジョブを中止する

原稿の受信操作を中止します。

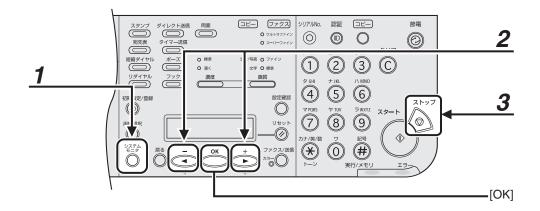
---

1 **［ストップ］を押します。**

2 **＜ジョブを中止しますか？＞と表示されたら、［◄ −］を押して＜はい＞を選択します。**

```
ｼﾞｮﾌﾞ を 中 止 し ま す か ？
 〈 は い          い い え 〉
```

メモリ内の受信ジョブを確認／操作する

［システムモニタ］を押して、受信履歴を確認したり受信のジョブを確認／削除できます。

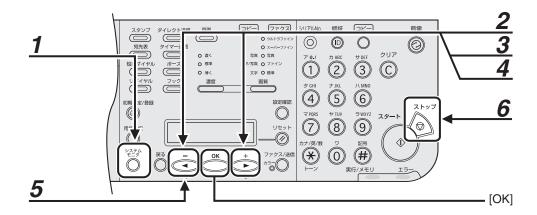
受信履歴を確認する

1　［システムモニタ］を繰り返し押して＜通信履歴＞を選択し、［OK］を押します。

メモ

＜システム管理設定＞の＜ジョブ履歴表示＞が＜ OFF ＞に設定されている場合、＜通信履歴＞は表示されません。

2　［◄ −］または［+ ►］を押して受信履歴を表示します。

3　［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

受信中のジョブを確認／削除する

1 **［システムモニタ］を繰り返し押して＜通信状況＞を選択し、［OK］を押します。**

2 **［◄−］または［+►］を押してメモリ内にある受信中のジョブを確認します。**

ジョブを削除する場合は、手順 3 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

3 **［◄−］または［+►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄−］または［+►］を押して＜キャンセル＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄−］を押して＜はい＞を選択します。**

削除操作を中止する場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。

6 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

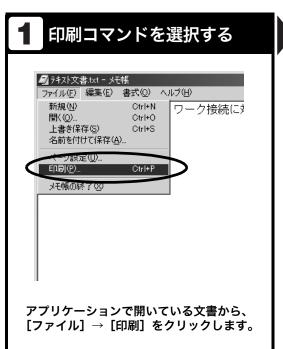
6 コンピュータからプリントする

以下の手順で、コンピュータからプリントします。
プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」「インストールの確認をする」、操作ガイド（総合編）> 困ったときには > ソフトウェアのアンインストール を参照してください。プリンタドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

- OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。
- 本機能を使用するには、オプションのネットワークプリンタキットを装着する必要があります。

1 印刷コマンドを選択する

アプリケーションで開いている文書から、［ファイル］→［印刷］をクリックします。

2 使用するプリンタを選択する

本製品用のプリンタアイコン（Canon L1000 CARPS2) を選択したあと、［ページ設定］または［プロパティ］をクリックして、画面を開きます。

3 詳細を設定する

設定が終了したら、［OK］をクリックします。

4 プリントを開始する

［印刷］または［OK］をクリックします。

 メモ

本製品が電子メールを送信中の場合は、プリントが遅くなることがあります。

こんなときは ...

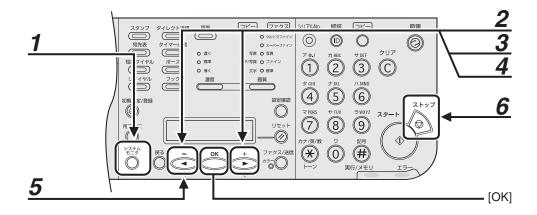
- **プリントを中止するとき：**
  「プリント状況を確認／削除する」(→ P.6-3) を参照してください。

ジョブの確認と削除

［システムモニタ］を押して、処理中のプリントジョブの状態を確認できます。

メモ

実行／メモリランプが点灯していることを確認してください。実行／メモリランプが消灯している場合は、メモリに保存されているプリントジョブは全て消えています。

プリント状況を確認／削除する

1　**［システムモニタ］を繰り返し押して＜プリント状況＞を選択し、［OK］を押します。**

2　**［◄－］または［＋►］を押してメモリ内にあるプリント中のジョブを確認します。**

ジョブを削除する場合は、手順 3 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

3　**［◄－］または［＋►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

4　**［◄－］または［＋►］を押して＜キャンセル＞を選択し、［OK］を押します。**

5　**［◄－］を押して＜はい＞を選択します。**

削除操作を中止する場合は、［＋►］を押して＜いいえ＞を選択します。

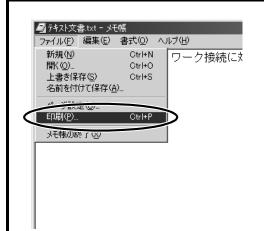
6　**［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

7 コンピュータからファクス送信する

以下の手順で、コンピュータからファクスを送信します。
ファクスドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」「インストールの確認をする」、操作ガイド（総合編）> 困ったときには > ソフトウェアのアンインストール を参照してください。
ファクスドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

- OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。
- 本機能を使用するには、オプションのネットワークプリンタキットを装着する必要があります。
- 本体側で送信文書アーカイブ機能を< ON >に設定している場合は、コンピュータからのファクス送信はできません。
- 送信できなかったジョブは、40 通信ごとにプリントされる通信管理レポートに記録されます（送信文書アーカイブを < ON >にすると、40 通信ごとに通信管理レポートが自動プリントされる設定になります）。

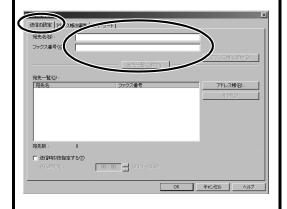
1 印刷コマンドを選択する

アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。

2 使用するファクスを選択する

ファクスアイコン（Canon L1000（FAX））を選択し、[印刷] または [OK] をクリックします。

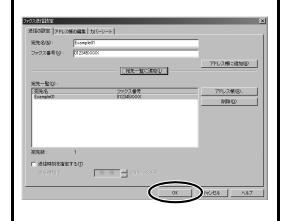
こんなときは ...

- **ファクスのプロパティを変更するとき：**
[プロパティ] をクリックして、設定を変更します。

3 相手先を選択する

[送信の設定] タブで相手先名とファクス番号を指定し、[宛先一覧に追加] をクリックします。

こんなときは ...

- **表紙を付けてファクスを送信するとき：**
  [カバーシート] タブをクリックし、添付表紙の形式を設定します。

4 送信を開始する

[OK] をクリックします。

こんなときは ...

- **ファクス送信を中止するとき：**
  操作ガイド（総合編）> 送受信する を参照してください。

8 リモート UI

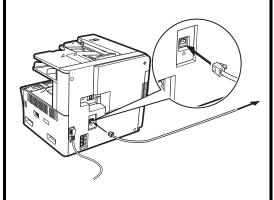
以下の手順で、リモート UI を使って本製品を管理します。
リモート UI ソフトウェアを使って、ウェブブラウザからネットワークに接続された本製品へのアクセスと管理ができます。

・ ネットワーク上のパソコンから本製品の状況を確認できます
・ パソコンから本製品の設定や操作ができます

詳細については、操作ガイド（総合編）> パソコンからの設定／管理 > リモート UI を使うには を参照してください。

メモ

本機能を使用するには、オプションのネットワークプリンタキットを装着する必要があります。

1 ネットワークを準備する

TCP/IP ネットワークで使用できるよう本製品を設定し、ネットワークルータまたはハブに本製品とコンピュータを接続します。

詳細については、スタートアップガイド「ネットワーク設定」を参照してください。

2 ウェブブラウザを起動する

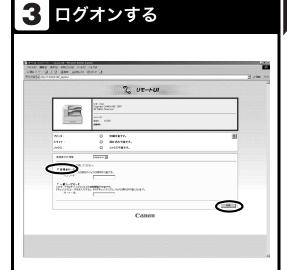
ウェブブラウザを起動し、本製品の IP アドレスを入力してから、キーボードの［Enter］キーを押します。

3 ログオンする

ユーザモードを選択し、［OK］をクリックします。

4 本製品を管理／操作する

ウェブブラウザから本製品を管理／操作できます。

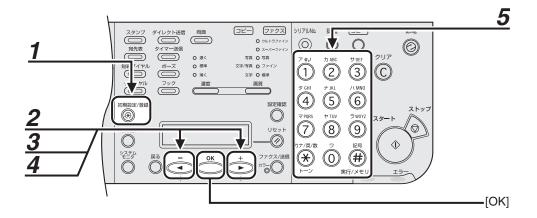
詳細については、操作ガイド（総合編）＞ パソコンからの設定／管理 ＞ リモート UI を使うには を参照してください。

システム管理設定

システム管理者情報を設定する

本製品のシステム管理者情報を設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

- **システム管理部門 ID（必須）**
- **システム管理暗証番号（必須）**
- **システム管理者名（任意）**
- **システム管理部門 ID や暗証番号を設定すると、ID と番号を入力した場合のみ＜システム管理設定＞メニューを操作することができます。**

メモ

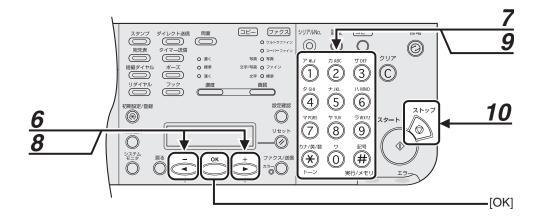
- 部門別 ID 管理を使用する場合は、操作パネルの＜システム管理設定＞の操作またはリモート UI の操作を制限するため、システム管理部門 ID と暗証番号の両方を設定する必要があります。設定をしないと、すべてのユーザが管理者ユーザとみなされ、どのユーザも操作パネルの＜システム管理設定＞とリモート UI を制限なしに使用できます。
- システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下のようになります。
  例：＜ 321 ＞と入力→＜ 0000321 ＞と設定されます。
- ＜ 0 ＞で始まる数字を登録した場合は以下のようになります。
  例：＜ 02 ＞や＜ 002 ＞など入力→＜ 0000002 ＞と設定されます。
- システム管理者名は最大 32 文字まで入力できます。
- 入力内容を消去する場合は、［クリア］を長押してください。入力内容をすべて消去できます。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理者設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理部門 ID ＞を選択し、［OK］を押します。

5 テンキーを使ってシステム管理部門 ID を入力し、［OK］を押します。

6 [◄ –] または [+ ►] を押して＜システム管理暗証番号＞を選択し、[OK] を押します。

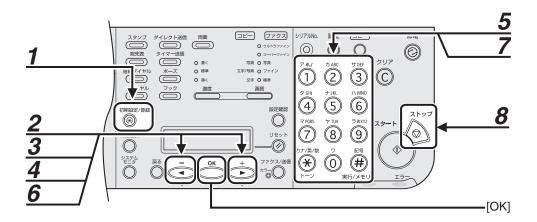
7 テンキーを使ってシステム管理暗証番号を入力し、[OK] を押します。

8 [◄ –] または [+ ►] を押して＜システム管理者名＞を選択し、[OK] を押します。

9 テンキーを使ってシステム管理者名を入力し、[OK] を押します。

10 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

本製品の名前と設置場所を登録する

本製品の名前と設置場所を登録します。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ ─］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄ ─］または［+ ►］を押して＜デバイス情報設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ ─］または［+ ►］を押して＜デバイス名＞を選択し、［OK］を押します。

5 テンキーを使って本製品の名前（最大 32 文字）を入力したあと、［OK］を押します。

6 ［◄ ─］または［+ ►］を押して＜設置場所＞を選択し、［OK］を押します。

7 テンキーを使って本製品の設置場所（最大 32 文字）を入力したあと、［OK］を押します。

8 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

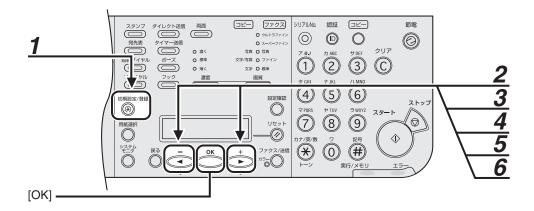
部門別 ID 管理を設定する

部門ごとに部門 ID と暗証番号を登録することにより、ID と番号を入力した場合のみ本製品が使えるように設定できます。この機能を部門別 ID 管理と呼びます。各部門内ではコピー／スキャン／プリントのジョブごとに処理できる枚数の上限値（制限面数）を設定できます。また、部門内で処理された各ジョブの枚数情報（カウント情報）を確認することもできます。
部門別 ID 管理で設定できる項目は以下のとおりです。

- **部門別 ID 管理を使う／使わない**
- **部門 ID と暗証番号（暗証番号の設定は任意）**
- **コピー／スキャン／プリントの制限面数**
- **ID 不定のプリントジョブを許可する／許可しない**

メモ

- 部門別 ID 管理を使用する場合は、操作パネルの＜システム管理設定＞の操作またはリモート UI の操作を制限するため、システム管理部門 ID と暗証番号の両方を設定する必要があります。設定をしないと、すべてのユーザが管理者ユーザとみなされ、どのユーザも操作パネルの＜システム管理設定＞とリモート UI を制限なしに使用できます。（→システム管理者情報を設定する：P.9-1）
- 登録できる部門数は最大 100 です（オプションのセンドキットを装着している場合は最大 1000）。
- 部門 ID や暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下のようになります。
  例：＜ 321 ＞と入力→＜ 0000321 ＞と設定されます。
- ＜ 0 ＞で始まる数字を登録した場合は以下のようになります。
  例：＜ 02 ＞や＜ 002 ＞など入力→＜ 0000002 ＞と設定されます。
- 入力内容を消去する場合は、［クリア］を押してください。入力内容をすべて消去できます。
- 制限面数とは、プリント面に対しての数です。たとえば、1 枚の用紙に両面プリントした場合、面数は 2 になります。
- 制限面数の入力範囲は 0 ～ 999999 です。設定した数値を超えるとコピー／スキャン／プリントはできなくなります。
- 受信したファクス／I ファクス文書の出力や自動的に出力されるレポートは、プリントの制限面数に算入されません。

部門 ID ／暗証番号／制限面数を登録する

1 ［初期設定／登録］を押します。

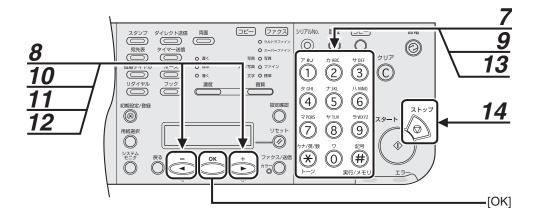
2 ［◄ –］または［+ ►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して<部門別 ID 管理>を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ –］または［+ ►］を押して< ON >を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ –］または［+ ►］を押して<部門 ID 登録>を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ –］または［+ ►］を押して部門 ID の登録先番号を選択し、［OK］を押します。

7 テンキーを使って部門 ID を入力し、[OK］を押します。

暗証番号を設定しない場合は、部門 ID を入力するだけで本製品を使用することができます。

8 [◄ —］または［+ ►］を押して＜暗証番号＞を選択し、[OK］を押します。

9 テンキーを使って暗証番号を入力し、[OK］を押します。

10 [◄ —］または［+ ►］を押して＜制限の設定＞を選択し、[OK］を押します。

11 [◄ —］または［+ ►］を押して制限する項目を選択し、[OK］を押します。

項目は以下のとおりです。
＜トータルプリント制限＞、＜コピー制限＞、＜白黒スキャン制限＞、＜カラースキャン制限＞、＜プリント制限＞
＜トータルプリント制限＞は＜コピー制限＞と＜プリント制限＞の制限面数の合計です。

メモ

＜カラースキャン制限＞はオプションのセンドキットを装着した場合に表示されます。

12 [◄ —] または [+ ►] を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、[OK] を押します。

＜ ON ＞：制限面数を設定します。
＜ OFF ＞：制限面数を設定しません。手順 14 に進んでください。

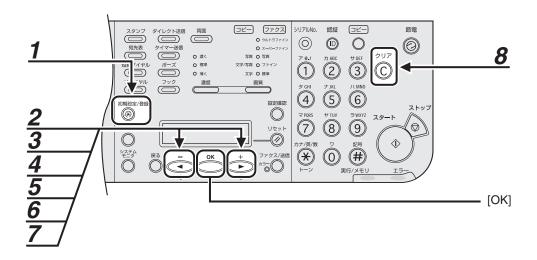
13 テンキーを使って制限面数を入力し、[OK］を押します。

メモ

- ページ数制限は 0 ～ 999,999 枚まで指定できます。ページ制限に達すると、コピー、スキャン、およびプリントはできなくなります。
- ページ数制限の枚数は印刷面を数えます。したがって、両面プリントの場合は 2 枚として数えます。

14 [ストップ］を押して待受画面に戻ります。

暗証番号と制限面数を変更する

部門に登録済みの暗証番号と制限面数を変更します。

メモ

部門 ID の変更はできません。

1　**［初期設定／登録］を押します。**

2　**［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

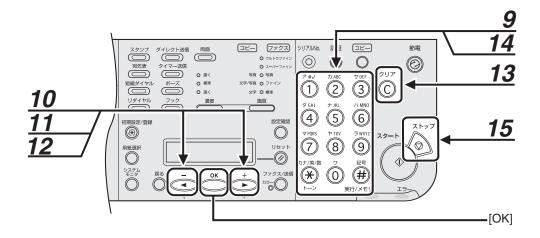
3　**［◄ –］または［+ ►］を押して＜部門別 ID 管理＞を選択し、［OK］を押します。**

4　**［◄ –］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。**

5　**［◄ –］または［+ ►］を押して＜部門 ID 登録＞を選択し、［OK］を押します。**

6　**［◄ –］または［+ ►］を押して変更先の部門 ID を選択し、［OK］を 2 回押します。**

7　**［◄ –］または［+ ►］を押して＜暗証番号＞を選択し、［OK］を押します。**

8　**［クリア］を押して登録済みの暗証番号を消去します。**

9 テンキーを使って新しい暗証番号を入力し、[OK] を押します。

10 [◄ −] または [+ ►] を押して＜制限の設定＞を選択し、[OK] を押します。

11 [◄ −] または [+ ►] を押して変更先の項目を選択し、[OK] を押します。

項目は以下のとおりです。
＜トータルプリント制限＞、＜コピー制限＞、＜白黒スキャン制限＞、＜カラースキャン制限＞、＜プリント制限＞
＜トータルプリント制限＞は＜コピー制限＞と＜プリント制限＞の制限面数の合計です。

メモ

＜カラースキャン制限＞はオプションのセンドキットを装着した場合に表示されます。

12 [◄ −] または [+ ►] を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、[OK] を押します。

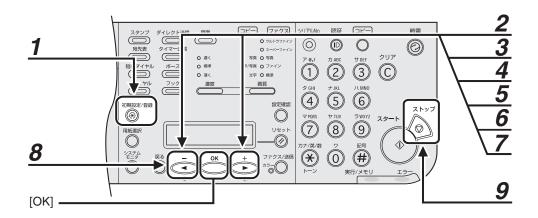
＜ ON ＞：制限面数を設定します。
＜ OFF ＞：制限面数を設定しません。手順 15 に進んでください。

13 [クリア] を押して登録済みの制限面数を消去します。

14 テンキーを使って新しい制限面数を入力し、[OK] を押します。

15 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

部門を消去する

登録されている部門を消去します。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜部門別 ID 管理＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜部門 ID 登録＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［◄ −］または［＋ ►］を押して削除する部門 ID を選択し、［OK］を 2 回押します。

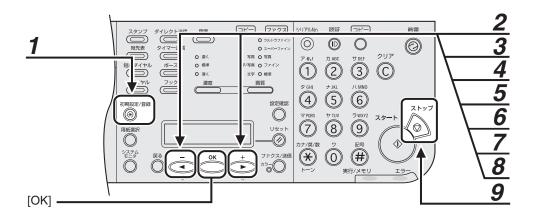
7 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜消去＞を選択し、［OK］を押します。

8 ［◄ −］を押して＜はい＞を選択します。

部門を消去しない場合は、［＋ ►］を押して＜いいえ＞を選択します。

9 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

カウント情報を確認する

部門ごとのカウント情報を確認します。

1　［初期設定／登録］を押します。

2　［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3　［◄ –］または［+ ►］を押して＜部門別 ID 管理＞を選択し、［OK］を押します。

4　［◄ –］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

5　［◄ –］または［+ ►］を押して＜カウント管理＞を選択し、［OK］を押します。

6　［◄ –］または［+ ►］を押して＜カウント表示＞を選択し、［OK］を押します。

＜オールクリア＞を選択すると、カウント情報は消去されます。

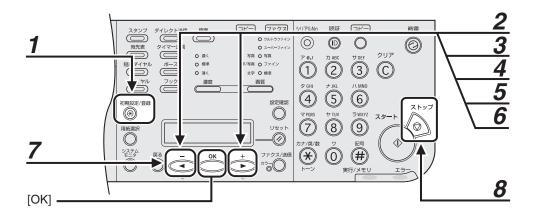
7　［◄ –］または［+ ►］を押して枚数確認するジョブを選択し、［OK］を押します。

項目は以下のとおりです。
＜トータルプリント＞、＜コピー＞、＜白黒スキャン＞、＜カラースキャン＞、＜プリント＞
＜トータルプリント＞は＜コピー＞と＜プリント＞の制限面数の合計です。

8　［◄ –］または［+ ►］を押して枚数確認する部門 ID を選択します。

9　［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

カウント情報を消去する

部門ごとのカウント情報をすべて消去します。

---

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜部門別 ID 管理＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜カウント管理＞を選択し、［OK］を押します。**

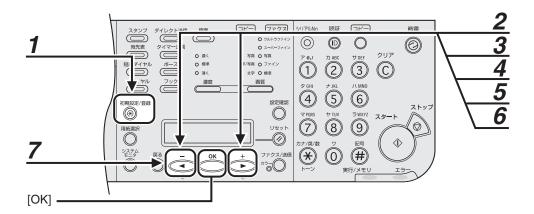
6 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜オールクリア＞を選択し、［OK］を押します。**

7 **［◄ −］を押して＜はい＞を選択します。**

カウント情報を消去しない場合は、［+ ►］を押して＜いいえ＞を選択します。

8 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

カウント情報をプリントする（部門別管理リスト）

部門ごとのカウント情報一覧をプリントします。

1　［初期設定／登録］を押します。

2　［◄ー］または［＋►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3　［◄ー］または［＋►］を押して＜部門別 ID 管理＞を選択し、［OK］を押します。

4　［◄ー］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

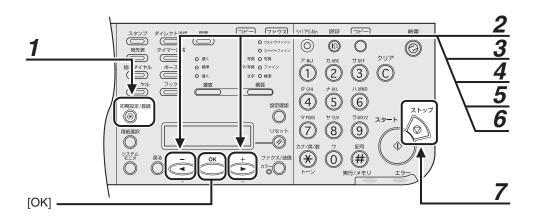
5　［◄ー］または［＋►］を押して＜カウント管理＞を選択し、［OK］を押します。

6　［◄ー］または［＋►］を押して＜カウントプリント＞を選択し、［OK］を押します。

7　［◄ー］を押して＜はい＞を選択します。

プリントが開始され、画面は待受画面に戻ります。
カウント情報をプリントしない場合は、［＋►］を押して＜いいえ＞を選択します。

ID 不定のプリントジョブを受け付けるかどうか設定する

部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントを許可するかどうか設定します。

---

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜部門別 ID 管理＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜ ID 不定ジョブプリント＞を選択し、［OK］を押します。**

6 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、［OK］を押します。**

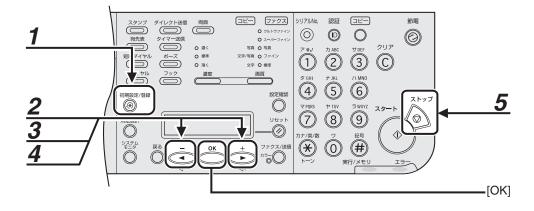
＜ ON ＞：部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントを行います。
＜ OFF ＞：部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントは行いません。

7 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

ユーザ ID 管理を設定する

ユーザごとにユーザ ID と暗証番号を登録することにより、ID と番号を入力した場合のみ本製品が使えるように設定できます。この機能をユーザ ID 管理機能と呼びます。
ここでは、ユーザ ID 管理機能を有効にする設定手順を説明します。

メモ

- ユーザ管理を使用する場合は、操作パネルの＜システム管理設定＞の操作またはリモート UI の操作を制限するため、管理者ユーザの権限を与えたユーザを登録する必要があります。登録をしないと、すべてのユーザが管理者ユーザとみなされ、どのユーザも操作パネルの＜システム管理設定＞とリモート UI を制限なしに使用できます。（→操作ガイド（総合編）＞ パソコンからの設定／管理 ＞ 部門別／ユーザ ID を管理する）
- 登録できるユーザ数は最大 1000 です。
- ユーザ ID 管理機能を使用する場合は、必ずユーザ ID や暗証番号などのユーザ情報を入力してから管理機能を有効にしてください。
- ユーザ情報はリモート UI 機能を使って設定します。本製品からは設定できません。詳細については、操作ガイド（総合編）＞パソコンからの設定／管理＞部門別／ユーザ ID を管理する を参照してください。

---

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜ユーザ ID 管理＞を選択し、［OK］を押します。**

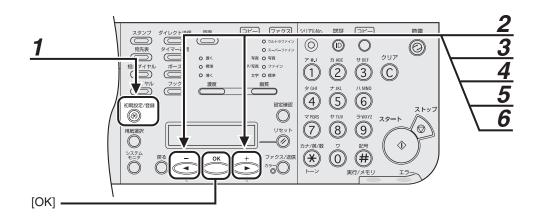
4 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

転送時の文書の取り扱いを設定する

転送した文書の処理方法を設定します。

メモ

＜受信画像をプリント＞、＜エラー時に画像プリント＞、＜エラー時に画像を保存＞のすべてを＜ OFF ＞に設定すると、転送に失敗した文書はプリントされず、メモリにも残らず消去されます。

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。**

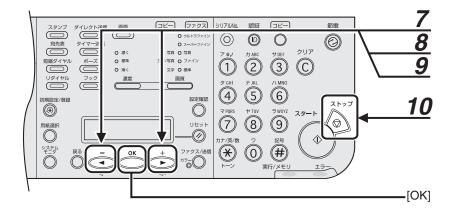
システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 **［◄ –］または［+ ►］を押して＜転送時 保存 / プリント＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ –］または［+ ►］を押して＜受信画像をプリント＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ –］または［+ ►］を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、［OK］を押します。**

＜ ON ＞：転送する文書を、転送結果にかかわらず必ずプリントします。
＜ OFF ＞：転送する文書をプリントしません。

6 **［◄ –］または［+ ►］を押して＜エラー時に画像プリント＞を選択し、［OK］を押します。**

7 [◄ −] または [+ ►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。

< ON >：転送エラー時にエラー文書をプリントします。
< OFF >：転送エラー時にエラー文書をプリントしません。

8 [◄ −] または [+ ►] を押して<エラー時に画像を保存>を選択し、[OK] を押します。

9 [◄ −] または [+ ►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。

< ON >：転送エラー時にエラー文書をメモリに保存します。
< OFF >：転送エラー時にエラー文書をメモリに保存しません。

10 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

宛先操作／送信機能を制限する

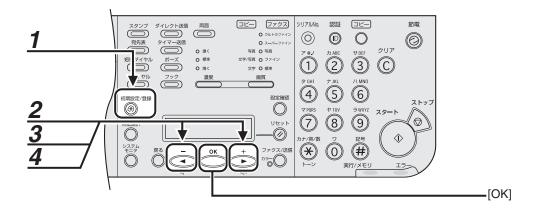
宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。設定できる内容は以下のとおりです。

- **宛先表に暗証番号を設定する**
- **指定できる宛先を制限する**
- **コンピュータからのファクス送信を制限する**
- **送信前にファクス番号を再度確認する**
- **リダイヤル機能／コール機能を制限する**
- **同報送信を制限する**

宛先表に暗証番号を設定する

宛先表に暗証番号を設定します。暗証番号を設定すると、宛先を登録／編集／消去する際に設定した暗証番号を入力する必要があります。

メモ

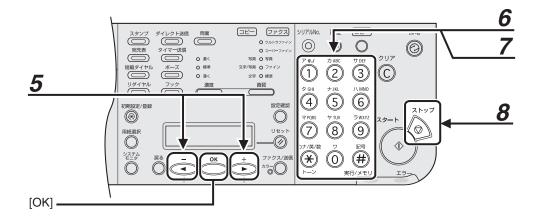
パスワード保護を解除する場合は手順 5 で＜ OFF ＞を選択します。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜送信機能の制限＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜宛先表の暗証番号＞を選択し、［OK］を押します。

5 **[◄ –] または [+ ►] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。**

6 **テンキーを使って暗証番号（最大 7 桁）を入力し、[OK] を押します。**

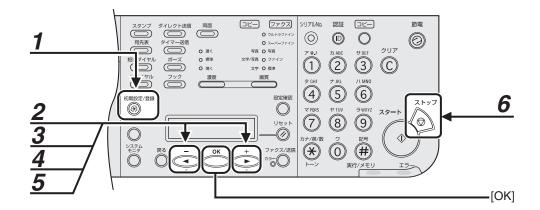
7 **確認のため暗証番号を再度入力し、[OK] を押します。**

間違って入力した場合は、手順 6 から操作をやりなおしてください。

8 **[ストップ] を押して待受画面に戻ります。**

指定できる宛先を制限する

指定できる宛先を登録済みのスピードダイヤルに限定します。制限機能を有効にすると以下の操作はできなくなります。

- テンキーを使って宛先を指定
- ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルに登録済みの宛先を変更
- ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルに新しい宛先を登録

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

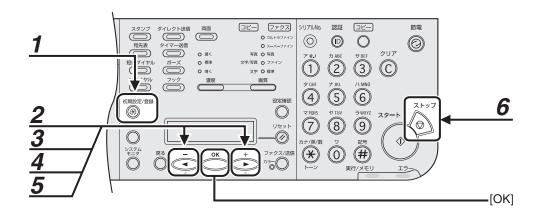
3 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜送信機能の制限＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜新規宛先の制限＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

コンピュータからのファクス送信を制限する

ファクスドライバを使ったコンピュータからのファクス送信を許可するかどうかの設定をします。

1 **[初期設定／登録］を押します。**

2 **[◄ −］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、[OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、[OK］を押します。

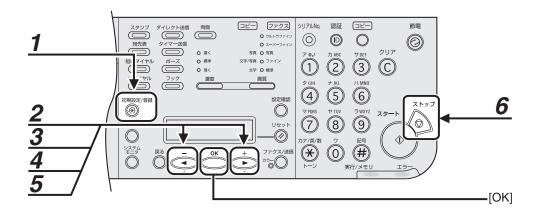
3 **[◄ −］または［+ ►］を押して＜送信機能の制限＞を選択し、[OK］を押します。**

4 **[◄ −]または[+ ►]を押して＜ FAX ドライバ送信許可＞を選択し、[OK]を押します。**

5 **[◄ −] または [+ ►] を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、[OK] を押します。**

6 **[ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

送信前にファクス番号を再度確認する

ファクス送信の宛先指定時に、ファクス番号の再入力画面を表示させるかどうかの設定をします。ファクス番号を 2 度入力することで、指定した宛先に誤りがないことを再度確認してから原稿を送信することができます。ファクス番号の再入力画面はテンキーを使って宛先を指定した場合に表示されます。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄ –］または［+ ►］を押して＜送信機能の制限＞を選択し、［OK］を押します。

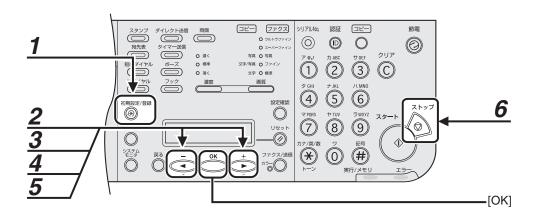
4 [◄ –] または [+ ►] を押して＜ファクス番号確認入力＞を選択し、[OK] を押します。

5 [◄ –] または [+ ►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。

< ON >：ファクス番号の再入力画面が表示されます。
< OFF >：ファクス番号の再入力画面は表示されません。

6 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

リダイヤル機能／コール機能を制限する

リダイヤル機能／コール機能の使用を許可するかどうかの設定をします。制限機能を有効にすると、以前に指定した宛先を［リダイヤル］を押して呼ぶ出すことができなくなります。
［リダイヤル］は、オプションのセンドキットを装着している場合は、コール機能（→リダイヤル機能／コール機能：P.4-52）として使用します。

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜送信機能の制限＞を選択し、［OK］を押します。

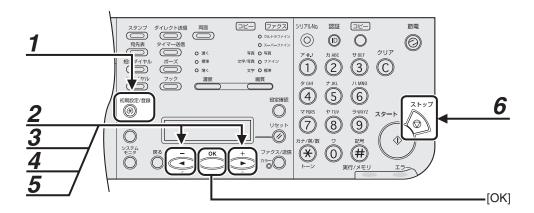
4 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜リダイヤルの制限＞を選択し、［OK］を押します。

オプションのセンドキットを装着している場合は、＜リダイヤル／コールの制限＞が表示されます。

5 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

同報送信を制限する

同報送信を許可するかどうかの設定をします。ファクスを含む複数の宛先に送信する場合の制限を設定します。

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜送信機能の制限＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜同報送信の制限＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜ OFF ＞、＜同報送信の確認＞、または＜同報送信不可＞を選択し、［OK］を押します。**

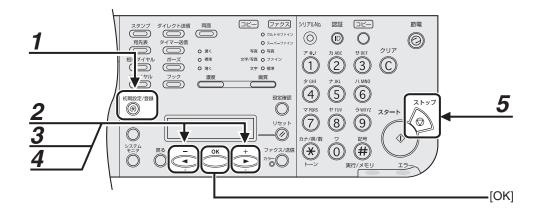
＜ OFF ＞：同報送信を許可します。
＜同報送信の確認＞：宛先が複数指定されていることを送信時に確認メッセージで通知します。
＜同報送信不可＞：同報送信できません。2 件目の宛先を指定すると＜ 1 件のみ送信できます＞と表示されます。

6 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

送受信履歴の表示設定をする

ファクスなどの送受信履歴情報を表示するかどうかの設定をします。履歴情報を参照することで処理されたジョブ内容などを確認できます。

メモ

＜ジョブ履歴表示＞を＜ OFF ＞に設定すると、通信管理レポートは自動的にはプリントされません。

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。**

システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜ジョブ履歴表示＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ −］または［+ ►］を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

10 日常のメンテナンス

日常のお手入れ

本製品のお手入れをする前に、以下を確認してください。

- メモリにジョブが蓄積されていないことを確認してから、主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になったりすることがあります。

注意

シンナーやベンジン、アセトンなどの溶剤、およびその他の化学クリーナーは絶対に使わないでください。本体内部の部品を損傷する恐れがあります。

メモ

メモリに蓄積されたジョブは、電源を切ったあと内蔵バッテリにより約３時間保存されます。
メモリ内にあるジョブを確認するには、以下を参照してください。

- コピー状況を確認／削除する：P.3-16
- 送信中または送信待機中のジョブを確認／削除する：P.4-66
- 受信中のジョブを確認／削除する：P.5-27
- プリント状況を確認／削除する：P.6-3

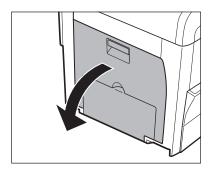
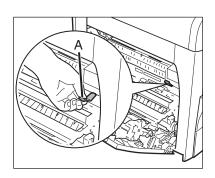
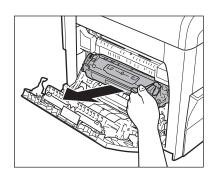
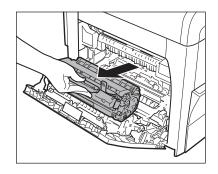
本体のお手入れ

1. 主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。
2. 水または薄めた中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、本体の表面を拭きます。
3. 乾いてから電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

内部のお手入れ

プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

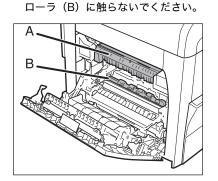
1 **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

2 **左カバーを開きます。**

3 **トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。**

4 **トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。**

5 **トナーカートリッジを取り出します。**

注意

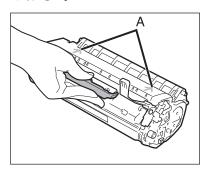
- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりすると、印字の質が低下することがあります。

6 清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除きます。

注意

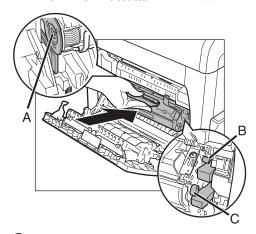
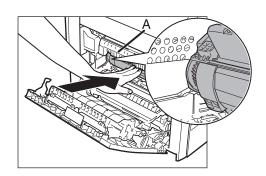
・ 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
・ 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

・ 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うとトナーが定着し、落ちなくなります。

7 トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

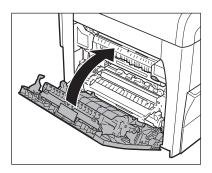
矢印（A）を本体に向け、青色のタブを引き上げてください。

8 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで押し込みます。

トナーカートリッジの左側（A）と右側の突起（B と C）を本体内部のガイドに合わせます。

9 トナーカートリッジを押して、正しく取り付けられていることを確認します。

注意

定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

10 左カバーを閉じます。

注意

- 指がはさまれないよう注意してください。
- 左カバーが途中で止まって閉まらないときは、カバーを再度開け、カートリッジが奥まで入っているか確認してください。

11 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

定着器のお手入れ

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。トナーカートリッジを交換したときにもクリーニングしてください。A4 の白紙を手差しトレイにセットし、クリーニングを開始します。

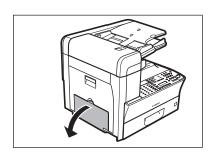
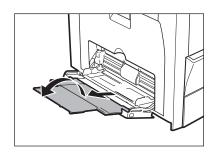
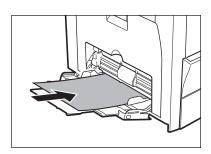
メモ

- クリーニングには約 130 秒かかります。
- ジョブがメモリに保存されている場合、この機能は使用できません。

1 [初期設定／登録] を押します。

2 [◄−] または [+►] を押して<調整／クリーニング>を選択し、[OK] を押します。

3 手差しトレイを開きます。

日常のメンテナンス

4 **補助トレイを最後まで引き出してから、開きます。**

5 **A4 の白紙を 1 枚セットします。**

6 **[◄ −] または [+ ►] を押して<定着器のクリーニング>を選択し、[OK] を押します。**

7 **[◄ −] を押して<はい>を選択します。**

クリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。
クリーニングをしない場合は、[+ ►] を押して<いいえ>を選択します。

 メモ

- クリーニング用の用紙は普通紙を使用してください。
- クリーニングに使用した用紙は、クリーニング終了後、廃棄してください。

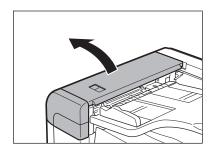
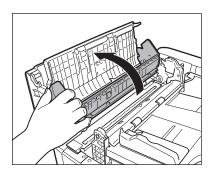
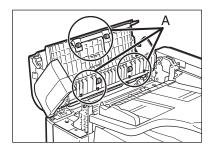
読み取りエリアのお手入れ

コピーや送信ファクスの品質を保つため、読み取りエリアを清掃してください。

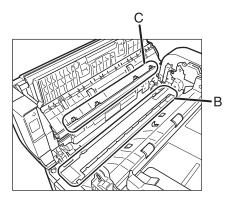
● ADF

ADF を使ってコピーすると、黒いスジが出る場合があります。これは、ADF の読み取り部分に付着したのり、インク、修正液などが原因です。柔らかく清潔な布で、読み取り部分を拭いてください。

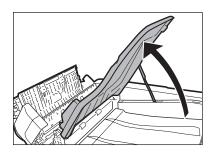
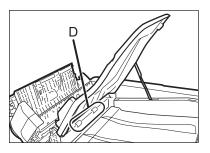
1 **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

2 **レバーを上げ、ADF を開きます。**

3 **フィーダ前カバーを開きます。**

4 水を含ませた布で、ADF 内部のローラ（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。

メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

5 水を含ませた布で細長いガラス面（B）と対向した白色板（C）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。

メモ

・ 白色板は柔らかいので強く押しすぎないでください。
・ 水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

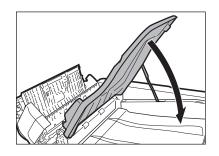
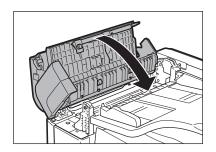
6 原稿給紙トレイを持ち上げます。

7 水を含ませた布で、原稿給紙トレイの下にあるローラ（D）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。

8 原稿給紙トレイを戻します。

注意

指がはさまれないよう注意してください。

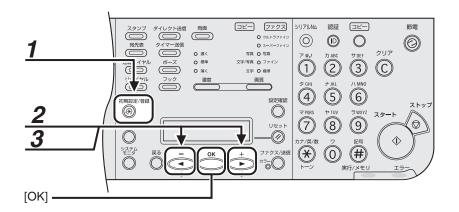
日常のメンテナンス

9 ADF を閉じます。

注意

指がはさまれないよう注意してください。

10 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

ADF を自動的にクリーニングする

ADF を使って読み込んだ原稿に黒いスジが入っていたり汚く見えたりする場合は、白紙を読み込ませて ADF のローラを清掃してください。

1　**［初期設定／登録］を押します。**

2　**［◄ −］または［+ ►］を押して＜調整／クリーニング＞を選択し、［OK］を押します。**

3　**［◄ −］または［+ ►］を押して＜フィーダのクリーニング＞を選択し、［OK］を押します。**

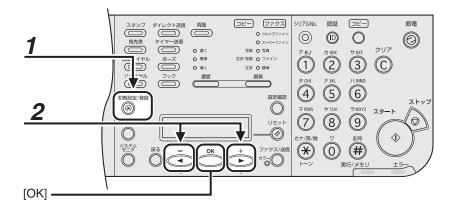
4　**ADF に白紙を 5 枚セットし、［OK］を押します。**

ADF のクリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。

 メモ

A4 サイズの用紙を使ってください。

転写ローラ

プリントされた用紙の裏側が汚れている場合は、転写ローラが汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で転写ローラをクリーニングしてください。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜調整／クリーニング＞を選択し、［OK］を押します。

3 ＜転写ローラのクリーニング＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

クリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。

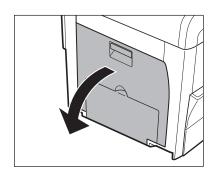
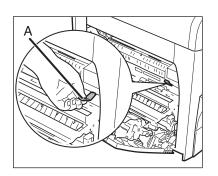
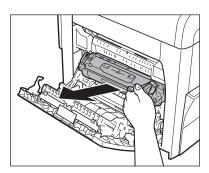
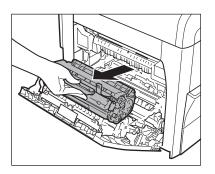
トナーカートリッジの交換

ディスプレイに＜トナー少（継続プリント可）／トナー準備して下さい＞と表示された場合、データを受信してもメモリに一時的に保存し、プリントを行いません。この場合、トナーカートリッジ内のトナーを均一にならしてください。メッセージが引き続き表示される場合は、トナーカートリッジを交換してください。
トナーカートリッジの交換をしないで受信したデータをプリントしたい場合は、＜送信／受信仕様設定＞の＜共通設定＞の中にある＜受信機能設定＞で＜印字継続＞を＜継続する＞に設定してください。**（→メニューの設定内容：P.12-4）**

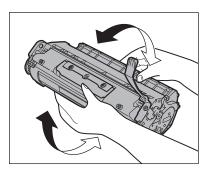
注意

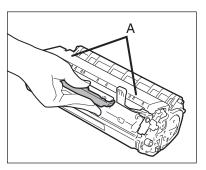
- ＜印字継続＞を＜継続する＞に設定した場合、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかしメモリ内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度、プリントすることができません。
- 「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

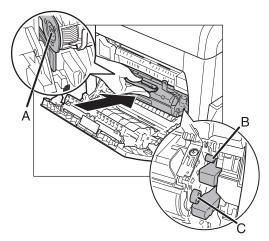
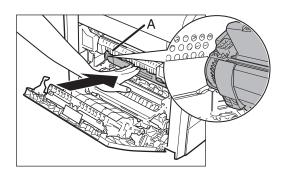
トナーを均一にならす

1 左カバーを開きます。

2 トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。

3 トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。

4 トナーカートリッジを取り出します。

注意

・トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
・トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

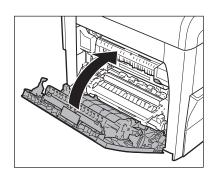
5 トナーカートリッジをゆっくりと 5、6 回振り、トナーを均一にならします。

6 トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

矢印（A）を本体に向け、青色のタブを引き上げてください。

7 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで押し込みます。

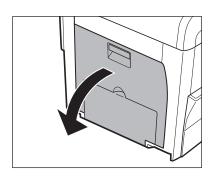
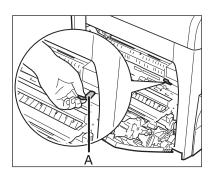
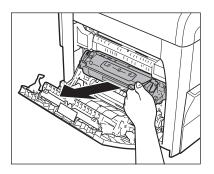
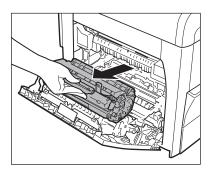
トナーカートリッジの左端（A）と右側の突起（B と C）を本体内部のガイドに合わせます。

8 トナーカートリッジを押して、正しく取り付けられていることを確認します

注意

定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

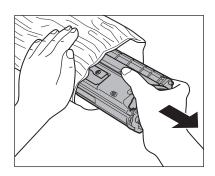
9 左カバーを閉じます。

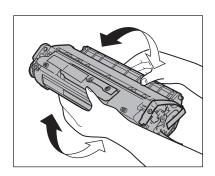
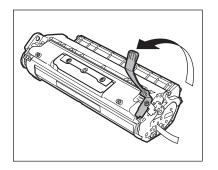
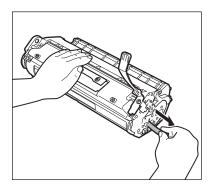
注意

- 指がはさまれないよう注意してください。
- 左カバーが途中で止まって閉まらないときは、カバーを再度開け、カートリッジが奥まで入っているか確認してください。

トナーカートリッジを交換する

1 左カバーを開きます。

2 トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。

3 トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。

4 カートリッジを取り出します。

注意

- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

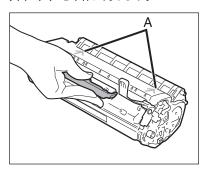
5 保護袋から新しいトナーカートリッジを取り出します。

6 トナーカートリッジをゆっくりと 5、6 回振り、トナーを均一にならします。

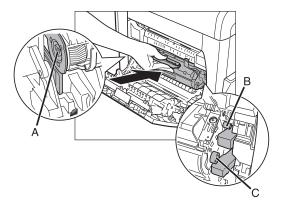
7 テープ（2 か所）をはがします。

8 青色のタブを引き上げます。

9 シーリングテープを完全に引き抜きます。

メモ

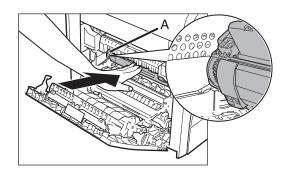
シーリングテープはまっすぐに引き抜いてください。

日常のメンテナンス

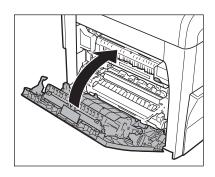
10 トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

矢印（A）を本体に向けます。

11 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで押し込みます。

トナーカートリッジの左端（A）と右側の突起（B と C）を本体内部のガイドに合わせます。

12 トナーカートリッジを押して、正しく取り付けられていることを確認します。

注意

定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

13 左カバーを閉じます。

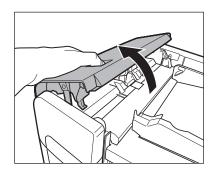
注意

- 指がはさまれないよう注意してください。
- 左カバーが途中で止まって閉まらないときは、カバーを再度開け、カートリッジが奥まで入っているか確認してください。

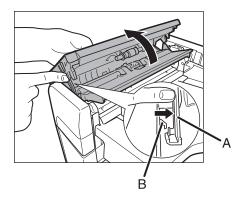
スタンプカートリッジを交換する

フィーダは、送信原稿に済スタンプ（マーク）をつけることができます。済スタンプがカスレてきたり、つかなくなったりしたときは、スタンプカートリッジを交換してください。

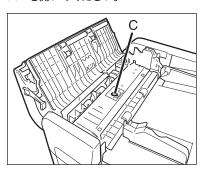
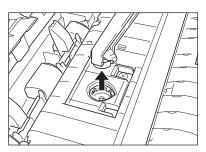
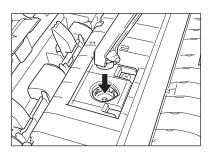
注意

スタンプカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

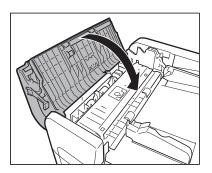
1 **フィーダカバーを途中まで開きます。**

2 **フィーダカバーを途中まで開いたままリンクアームを押し、フィーダカバーを完全に開きます。**

注意

リンクアーム (A) がフック (B) に掛かる前にリンクアームを押してください。

メモ

フィーダは以下のように開き、スタンプ（C) の交換が可能になります。正しく開いていないときは、フィーダカバーを閉じる方向に戻して、もう一度リンクアームを押しながらフィーダカバーを開いてください。

3 ピンセットを使って古いスタンプカートリッジを取り外します。

4 ピンセットを使って新しいスタンプカートリッジをカチッと音がするまで取り付けます。

注意

・ スタンプカートリッジのスタンプ面が突き出ないようにセットしてください。
・ スタンプカートリッジを正規の位置にセットしていないと紙づまりの原因になる可能性があります。

5 フィーダカバーを閉じます。

注意

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

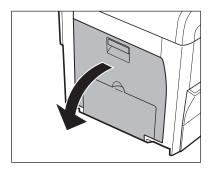
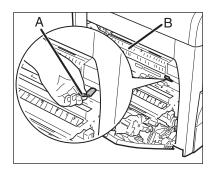
本製品を移動するとき

本製品を長距離移動する場合などは、振動による損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。

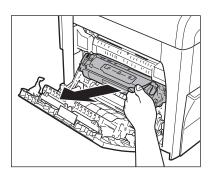
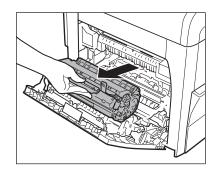
注意

必ず 2 人以上で運んでください。

1 **電源コード、およびすべてのケーブルを本製品の背面から外します。**

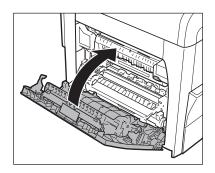
2 **左カバーを開きます。**

3 **トナーカートリッジの青色のタブ（A）を持ちます。**

注意

定着器（B）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。

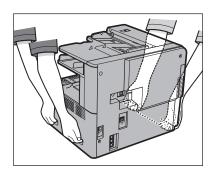
4 **トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、青色のタブを引き出します。**

5 **カートリッジを取り出します。**

注意

- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

6　左カバーを閉じます。

注意

指がはさまれないよう注意してください。

7　手差しトレイと排紙ストッパーが元の位置に戻っていることを確認します。

8　左右にある取っ手を使って、本製品を持ち上げます。

注意

- 必ず 2 人以上で運んでください。
- 付属品を持って本製品を持ち上げないでください。本製品を落とすと、けがをする恐れがあります。
- 腰が悪い方は、持ち上げる前に本製品の重さを確認してください。（→付録：P.13-1）

11 困ったときには

用紙がつまったときには

ここでは、紙づまりが起きた場合の対処について説明します。エラーメッセージが表示された場合については、「ディスプレイの表示」（→ P.11-5）を参照してください。それ以外のトラブルについては、操作ガイド（総合編）＞ 困ったときには を参照してください。
ディスプレイに＜原稿を点検して下さい＞、＜原稿がつまりました／フィーダを点検＞または＜原稿が長すぎます＞と表示された場合は、ADF か本体内部で紙づまりが起きています。つまった原稿や用紙を取り除いてください。用紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除いてください。
紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確認してください。

・ 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
・ お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。
（→使用可能な用紙：P.2-5）
・ つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

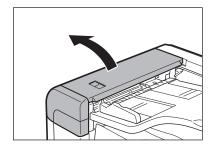
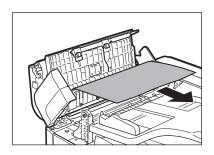
注意

・ つまった原稿や用紙を取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。
・ つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。
・ 用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
・ 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。

つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください。問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

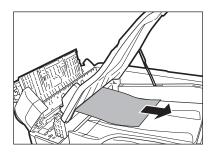
ADF につまった原稿を取り除く

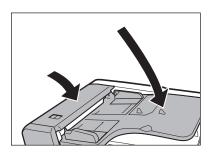
ディスプレイに＜原稿を点検して下さい＞または＜原稿が長すぎます＞と表示された場合は、ADF か原稿給紙口からつまった原稿を取り除いてください。

1 **レバーを上げ、ADF を開きます。**

2 つまった原稿を取り除きます。

メモ

原稿を強く引っ張らないでください。原稿が破れることがあります。

3 原稿排紙トレイを持ち上げます。

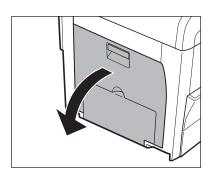
4 つまった原稿を取り除きます。

5 原稿給紙トレイを戻し、ADF を閉じます。

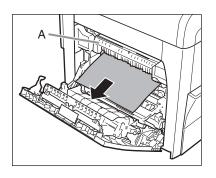
注意

指がはさまれないよう注意してください。

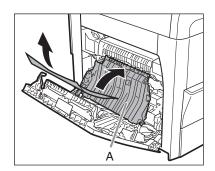
本体内部につまった用紙を取り除く

ディスプレイに<用紙がつまりました>と表示された場合は、本体内部からつまった用紙を取り除いてください。用紙カセットにも用紙がつまっていたら、それも取り除きます。
紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確認してください。

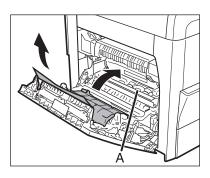
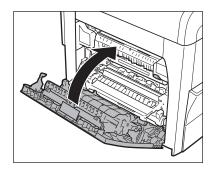
- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-5)
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

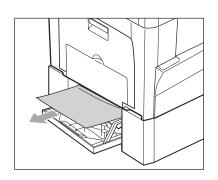
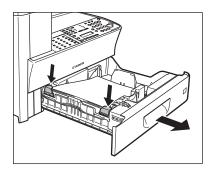
1 **左カバーを開きます。**

2 **くぼみにあるつまみ（A）を持って、ト本体から、つまった用紙をゆっくりと引き出します。**

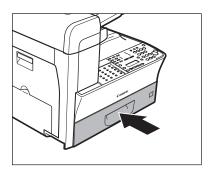
注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。

3 **両面搬送外ガイド（A）を本体側に倒し、つまった用紙を取り除きます（両面コピー使用時のみ）。**

4 転写フレーム（A）を持ち上げて支え、つまった用紙を取り除きます（両面コピー使用時のみ）。

5 左カバーを閉じます。

注意

指がはさまれないよう注意してください。

6 オプションのカセットをお使いの場合は、カセットの左側のカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。用紙を取り除いたら、カバーを閉じます。

7 カセットを引き出し、用紙の角をツメの下に押し込みます。

8 カチッというまで、カセットをゆっくりと本体に戻します。

注意

指がはさまれないよう注意してください。

ディスプレイの表示

ディスプレイに表示されるエラーメッセージについては、以下の表を参照してください。

メッセージ	原因	処置
相手先記録紙なし	相手先のファクス機に用紙がない。	相手先に用紙を補給してもらってください。
ウォーミング　アップ中 お待ち下さい	主電源スイッチを入れたとき、またはプリント操作の準備ができていない場合に表示される。	メッセージが消えるまでお待ちください。
原稿がつまりました フィーダを点検	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿をADFから取り除いてください。(→用紙がつまったときには：P.11-1)
原稿が長すぎます	・ ADF　を使って読み込まれた原稿の長さが630mmを超えている、または原稿が正しくセットされていない。 ・ E メール、I ファクス、ファイルサーバ送信の際、原稿の長さが 432 ㎜を超えている。	・ 原稿の長さを 630 mm 以下にして、もう一度操作をやりなおしてみてください。 ・ 原稿の長さを 432 ㎜以下にして、もう一度操作をやりなおしてみてください。
原稿を点検して下さい	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿をADFから取り除いてください。 (→用紙がつまったときには：P.11-1)
受信データプリント不可 エラー解除後プリント	何らかのエラーが発生したため、受信データをメモリに一時的に保存した。 このエラーメッセージは以下のエラーメッセージと交互に表示される。 ・ <正しい用紙をセット> ・ <手差しトレイに用紙があります／用紙を取り除いて下さい> ・ <登録サイズを変更／->用紙設定> ・ <トナー少(継続プリント可)／トナー準備して下さい> ・ <トナーがありません／トナーをセットして下さい> ・ <用紙がつまりました> ・ <用紙を補給して下さい>	このエラーメッセージは他のエラーメッセージと交互に表示されます。エラーが解消された後、受信データはプリントされます。対処方法については、一緒に表示されるメッセージの対処方法を参照してください。

メッセージ	原因	処置
受話器が上がっています 受話器を置いて下さい	通話終了後も、ハンドセットまたは外付け電話の受話器が外れている。	受話器を置いてください。
使用できません	・ 受話器を取り上げた状態または［オンフック］を押した状態で、グループダイヤルを指定した。 ・ 受話器を取り上げた状態または［オンフック］を押した状態で、ファクス番号以外が登録された短縮ダイヤルを指定した。 ・ 指定した短縮ダイヤルに登録されているグループダイヤルの階層数が上限を超えている。	・ グループダイヤル以外で宛先を指定してください。 ・ ファクス番号が登録された短縮ダイヤルを指定してください。 ・ 1つのグループダイヤルに登録できるグループダイヤルの階層は2階層です。 たとえば、ある1つのグループダイヤル：「A」には別のグループダイヤル：「B」を登録し、この「A」を更に別のグループダイヤル：「C」の宛先として登録できます。この場合、「C」には「A」を第1階層、「B」を第2階層とする2つのグループダイヤルが登録されていることになります。 この「C」を更に別のグループダイヤル：「D」に登録するなど、階層が3階層以上になると、短縮ダイヤル指定時にエラーメッセージが表示されます。グループダイヤルの階層を2階層以下に登録しなおしてください。

メッセージ	原因	処置
使用できません	・ 受話器を取り上げた状態または［オンフック］を押した状態で、ファクス番号以外が登録されたワンタッチダイヤルを指定した。 ・ 指定したワンタッチダイヤルに登録されているグループダイヤルの階層数が上限を超えている。 ・ グループダイヤル登録中に、すでに登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しようとした。 ・ ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル登録中に、すでに登録済みのグループダイヤルに登録しようとした。 ・ 電話回線がオフフックの状態でグループダイヤルを指定した。	・ ファクス番号が登録されたワンタッチダイヤルを指定してください。 ・ 1 つのグループダイヤルに登録できるグループダイヤルの階層は 2 階層です。 たとえば、ある 1 つのグループダイヤル：「 A 」には別のグループダイヤル：「 B 」を登録し、この「 A 」を更に別のグループダイヤル：「 C 」の宛先として登録できます。この場合、「C」には「A」を第1階層、「B」を第2階層とする2つのグループダイヤルが登録されていることになります。 この「C」を更に別のグループダイヤル：「 D 」に登録するなど、階層が 3 階層以上になると、ワンタッチダイヤル指定時にエラーメッセージが表示されます。グループダイヤルの階層を2階層以下に登録しなおしてください。 ・ 未使用のキーや番号に登録してください。 ・ グループダイヤル以外の相手先を指定してください。
上限に達しました	部門別ID管理機能で設定したコピー、スキャン、プリント枚数のいずれかが制限面数の上限値に達した。	システム管理者に連絡して下さい。
調整中 **スキャナの準備中です**	読み込み操作の準備ができていない。	メッセージが消えるまでお待ちください。
ストップキーが押されました **OK キーを押して下さい**	ADFから原稿を読み込ませているときに［ストップ］が押された。	［OK］を押し、原稿をセットしなおしてください。

メッセージ	原因	処置
正しい用紙をセット	用紙カセットまたは手差しトレイにある用紙のサイズが＜用紙設定＞メニューで指定した用紙と違う。	用紙をセットしなおすか＜用紙設定＞メニューで指定した用紙サイズを変更してください。（→＜正しい用紙をセット＞と表示された場合：P.11-16）
データがこわれました スタートキーを押して下さい	本体の電源を入れたときに、メモリに蓄積されていたデータが失われた。	［スタート］を押すと、エラーは解除されます。
登録サイズを変更 -> 用紙設定	・ レポートまたはリストのプリントに適切な用紙サイズが設定されていない。 ・ 受信文書やレポート／リストのプリント中に用紙がなくなった。	・ 用紙サイズを＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL － OFICIO ＞、＜ MEXICO － OFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜ FLSP ＞、＜ LTR ＞または＜ LGL ＞に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-11） ・ 用紙カセットに用紙を補給してください。
トナーがありません トナーをセットして下さい	トナーカートリッジが取り付けられていないか、正しく取り付けられていない。	トナーカートリッジを正しく装着してください。 （→トナーカートリッジの交換：P.10-10）
トナー少（継続プリント可） トナー準備して下さい	トナーが残り少なくなっている。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
トレイがいっぱいです	排紙トレイに出力紙がたまっている。	排紙トレイから出力紙を取り除いてください。
左カバーが開いています カバーを閉めてください	左カバーが開いているか完全に閉じていない。	左カバーが完全に閉じているか確認してください。
フィーダ内部のガラス汚れ 清掃して下さい	ADF読み取りエリアが汚れている。	読み取りエリアを清掃し、［OK］を押してください。
プリンタ　エラー	本体に何らかのエラーが発生している。	主電源スイッチを切り、10 秒ほど待ち、再度主電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

メッセージ	原因	処置
未登録です	・宛先指定時に未登録のスピードダイヤルを指定した。 ・[電話帳] を押して宛先を検索しようとしたが、宛先が未登録だった。	スピードダイヤルに、宛先を登録してください。詳細については、「ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する」(→P.4-10) を参照してください。
メモリがいっぱいです	・ジョブがいっぱいになった。	・メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。 ・原稿または画像データを分割して送信してみてください。 ・解像度を下げて送信してください。 ・ADF を使用している際にこのエラーメッセージが表示された場合は、原稿の読み込み操作は途中で停止します。この場合は、[OK] を押して ADF に残った原稿を排出してください。
	・メモリに保存できる送受信ジョブ数が最大件数に達した。	・本製品のメモリに保存できる各ジョブ数は、送信ジョブ：70、受信ジョブ：90、送受信ジョブ合計：95、電子メール／I ファクスの受信ジョブ合計：75 です。 (相手側のファクスが Canofax L1000 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のジョブ数) メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。または、メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
メモリ残量 **XX%**	利用できるメモリ残量のメッセージで、送信時に原稿を ADF にセットすると表示される。	メモリ容量が不足する場合は、メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
やり直して下さい	通信状況が悪いため通信エラーが発生した。	通信状況を確認してもう一度操作をやりなおしてみてください。

メッセージ	原因	処置
用紙がつまりました 左カバーを開けて下さい	本体内で紙づまりが起きた。	左カバーを開いてつまった用紙を取り除いてください。（→用紙がつまったときには：P.11-1）そのあと、カバーを開閉して現在のジョブを再開してください。
用紙を補給して下さい	・ カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていないか、正しく給紙されていない。 ・ プリントに必要なサイズの用紙がセットされていない。このエラーメッセージは＜登録サイズを変更－＞用紙設定＞または＜受信データプリント不可／エラー解除後プリント＞のエラーメッセージと交互に表示される。 ・ プリントに必要な種類の用紙がセットされてない。	・ 用紙を正しく補給し、カセットを一番奥まで差し込んでください。 ・ プリントに必要なサイズの用紙をセットし、＜用紙設定＞で指定した用紙サイズを変更してください。レポートやリストのプリントの場合は、用紙サイズを　<LTR>、<LGL>、<A4>、<OFICIO>、<BRAZIL-OFICIO>、<MEXICO-OFICIO>、<FOLIO>、<GOVERNMENT-LETTER>、<GOVERNMENT-LEGAL>、または <FLSP> に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。 ・ プリントに必要な種類の用紙をセットし、< 用紙設定 > メニューで指定した用紙種類を変更してください。
両面不可のサイズです	両面コピーする場合に適切な用紙サイズが設定されていない。	両面コピーする場合は、＜用紙設定＞メニューの＜カセット＞または＜手差しトレイ＞を＜A4＞または＜LTR＞に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-11）

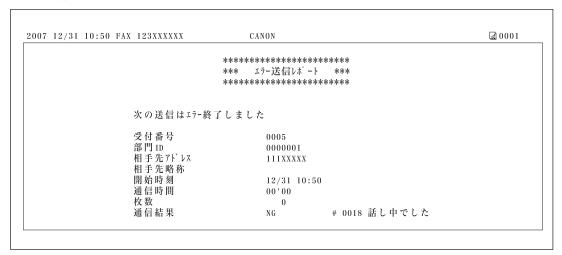
エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラー送信レポートまたはエラー受信レポートに記録される 4 桁のコードです。

2007 12/31 10:50 FAX 123XXXXXX CANON 0001

****
*** ｴﾗｰ送信ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

次の送信はｴﾗｰ終了しました

受付番号	0005	
部門ID	0000001	
相手先ｱﾄﾞﾚｽ	111XXXXX	
相手先略称		
開始時刻	12/31 10:50	
通信時間	00'00	
枚数	0	
通信結果	NG	# 0018 話し中でした

詳細については、「レポートを自動でプリントする」（→ P.12-38）を参照してください。

エラーコードについては、以下の表を参照してください。

エラーコード	原因	処置
#0001	原稿がつまっている可能性があります。	つまっている原稿を取り除いてください。
#0003	・ 長さが630mm以上の原稿をADFから送ろうとした。 ・ データ量が大きすぎるため、原稿を送信するのに時間がかかっている。 ・ 原稿を受信するのに時間がかかっている。	・ 読み取り時の解像度を下げて送信してください。 ・ 読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分割して送信するよう、相手先に連絡してください。

エラーコード	原因	処置
#0005	・相手先が35秒以内に応答しませんでした。 ・相手先のファクスがG3ファクスでない可能性があります。	・もう一度はじめからやりなおしてください。また、相手先にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、ファクス番号にポーズを入れてください。 ・相手先に確認し、G3ファクスに送信してください。相手先がG3ファクスを持っていない場合は、相手先のファクスが対応している通信モードを使って送信しなおしてください。
#0009	用紙がないか、用紙カセットが正しくセットされていません。	用紙を補給するか、用紙カセットを正しくセットしなおしてください。
#0012	相手機の記録紙がなくなったため送信できませんでした。	相手先に用紙を補給してもらうよう連絡してください。
#0018	リダイヤルしても応答がありませんでした。相手先が通話中などで応答がなかったため送信できませんでした。	しばらく待ってからもう一度やりなおしてみてください。それでも送信できない場合は、相手先のファクスの電源が入っているかどうか確認してもらってください。相手先が通話中の場合は、時間をおいてから送信しなおしてみてください。
#0037	メモリがいっぱいです。	メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
#0703	メモリの画像領域がいっぱいになり、書き込みできません。	・他の送信ジョブが終了するまでしばらく待ち、もう一度送信してみてください。 ・メモリに保存されている文書を削除してください。それでも正常に動作しない場合は、本製品の主電源を入れなおしてください。
#0705	＜システム管理設定＞の＜通信管理設定＞にある＜電子メール／Iファクス＞の＜データサイズ上限値＞で設定した画像データサイズが送信データサイズ上限値よりも大きいため、送信処理を中断しました。	・送信データサイズ上限値を設定しなおしてください。 ・低解像度を選択してください。 ・読み取り時に＜ページごとに分割＞を＜する＞に設定してください。
#0751	サーバは正常に動作していません。ネットワークはダウンしています（サーバはネットワークに接続できないか、接続が切断されました。）	・宛先のアドレスを確認してください。 ・ネットワークが正常に動作しているか確認してください。

エラーコード	原因	処置
#0752	・電子メール／Iファクスの SMTP サーバ名の設定が間違っているか、サーバが立ち上がっていません。 ・ドメイン名、電子メールアドレスの設定がされていません。 ・ネットワークが切れています。 ・原稿をカラーで電子メール送信するときに、何らかのエラーが発生した。	・<システム管理設定>の<ネットワーク設定>にある<電子メール／Iファクス>で SMTP サーバ名、ドメイン名、電子メールアドレスの設定を確認してください。 ・SMTP サーバが正常に動作しているか確認してください。 ・ネットワークの状態を確認してください。 ・ネットワークの状態や設定を確認する前に、何度か送信をやりなおしてください。
#0753	電子メールの送信時に TCP/IP でのエラーが発生しました。（Socket、Select エラー等）	ネットワークケーブルとコネクタの状態を確認してください。それでも正常に動作しない場合は、本製品の主電源を入れなおしてください。
#0755	・TCP/IP が正しく動作していないため送信できません。 ・IP アドレスが設定されていません。 ・本製品立ち上げ時、DHCP、RARP、BOOTP のいずれかで IP アドレス割り当てが行われていません。	・<システム管理設定>の<ネットワーク設定>にある<TCP/IP 設定>を確認してください。 ・<システム管理設定>の<ネットワーク設定>にある<TCP/IP 設定>を確認してください。 ・<システム管理設定>の<ネットワーク設定>にある<TCP/IP 設定>を確認してください。または、しばらく待ってからもう一度送信してみてください。
#0801	・電子メールの送信のため SMTP サーバとの通信をしている際に、メールサーバ側の要因でタイムアウトエラーが発生しました。 ・SMTP 接続中に SMTP サーバからエラーが返ってきました。宛先の設定が正しくありません。ファイルサーバへ送信しているときに、サーバ側の要因でエラーが発生しました。	・SMTP が正常に動作しているか確認してください。ネットワークの状態を確認してください。 ・SMTP が正常に動作しているか確認してください。ネットワークの状態を確認してください。宛先の設定を確認してください。ファイルサーバの状態や設定内容を確認してください。
#0802	・<システム管理設定>の<ネットワーク設定>にある<電子メール／Iファクス>で SMTP サーバ名の設定が間違っています。 ・<システム管理設定>の<ネットワーク設定>にある<TCP/IP 設定>の< DNS 設定>で DNS サーバ名の設定が間違っています。 ・DNS サーバとの接続ができませんでした。	・SMTP サーバ名の設定を確認してください。 ・DNS サーバ名の設定を確認してください。 ・DNS サーバが正常に動作しているか確認してください。

エラーコード	原因	処置
#0804	フォルダへのアクセス権がありません。	サーバ側でフォルダへのアクセスを許可するように設定してください。
#0806	・ ファイルサーバ送信時に指定されたユーザ名あるいはパスワードが間違っています。 ・ 電子メール送信時に指定した宛先が間違っています。	・ 宛先のユーザ名あるいはパスワードを変更してください。 ・ 電子メールの宛先を確認してください。
#0808	・ 本製品が FTP サーバと通信しているときにタイムアウトエラーが発生しました。 ・ 接続時に FTP サーバからエラーが発生しました。宛先が正しくありません。通信しているときにサーバ側でエラーが発生しました。	・ FTP サーバが正常に動作しているか確認してください。ネットワーク状態を確認してください。 ・ FTP サーバが正常に動作しているか確認してください。ネットワーク状態を確認してください。宛先の設定を確認してください。ファイルサーバの状態や設定を確認してください。
#0810	・ POPサーバとの接続中にPOPサーバからエラーが返ってきました。 ・ POP サーバとの接続中にサーバ側の要因でタイムアウトエラーが発生しました。	＜システム管理設定＞の＜ネットワーク設定＞にある＜電子メール／I ファクス＞で POP サーバ名の設定を確認してください。POP サーバの動作確認をしてください。ネットワークの状態を確認してください。
#0812	POP パスワードの設定が間違っています。	＜システム管理設定＞の＜ネットワーク設定＞にある＜電子メール／I ファクス＞で POP パスワードの設定を確認してください。
#0813	POP サーバ名の設定が間違っています。	＜システム管理設定＞の＜ネットワーク設定＞にある＜電子メール／I ファクス＞で POP サーバ名の設定を確認してください。
#0819	扱えないデータを受信しました。（MIME情報が不正です。）	設定を確認して、送信しなおしてもらってください。
#0820	扱えないデータを受信しました。（BASE64 または uuencode が不正です。）	設定を確認して、送信しなおしてもらってください。
#0821	扱えないデータを受信しました。（TIFF解析エラーが発生しました。）	設定を確認して、送信しなおしてもらってください。
#0827	扱えないデータを受信しました。（サポート外の MIME 情報があります。）	設定を確認して、送信しなおしてもらってください。
#0828	HTML のデータを受信しました。	HTML 以外の形式で送信しなおしてもらってください。

エラーコード	原因	処置
#0829	メモリの許容量を超えるデータを受信しました。	メモリに受信した原稿をプリントし、もう一度未受信のデータを送信しなおしてもらうよう相手先に連絡してください。
#0839	SMTP 認証で使用するユーザ名とパスワード設定が間違っています。	< SMTP 認証>で設定されているユーザ名とパスワードを確認してください。(→システム管理設定：P.12-23)

＜正しい用紙をセット＞と表示された場合

＜用紙設定＞メニューの＜カセット１＞または＜手差しトレイ＞に設定されている用紙サイズと、用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズが異なる場合に表示されるメッセージです。このメッセージが表示された場合は、＜用紙設定＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットするか、＜用紙設定＞メニューに設定されているサイズをセットされている用紙サイズに合わせて変更してください。

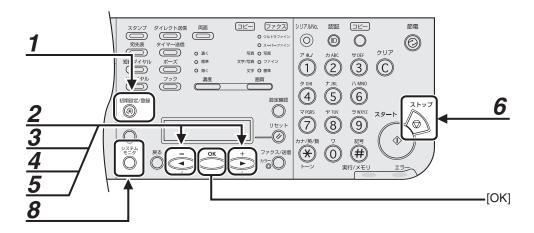
メモ

プリントジョブの場合は、本製品ではなくコンピュータ側で用紙サイズを指定してください。

用紙をセットしなおす

1 **ディスプレイに表示されている用紙サイズをセットしなおします。**

用紙をセットしなおすと、自動的にプリントが再開されます。

用紙サイズ設定を変更する

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜用紙設定＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜カセット＞または＜手差しトレイ＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜用紙サイズ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ ─］または［＋ ►］を押してセットされている用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。**

6 **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

ファクスジョブの場合は、手順 7 に進んでください。
コピージョブまたはレポート／リストジョブの場合は、手順 8 に進んでください。

7 **［OK］を押してジョブを再開します。**

これで操作は完了です。

8 **［システムモニタ］を押してジョブを中止します。**

コピージョブの場合は、［ストップ］を押してジョブを中止することもできます。
コピージョブ中止操作の詳細については、「コピー状況を確認／削除する」（→ P.3-16）を参照してください。
レポート／リストジョブ中止操作の詳細については、操作ガイド（本体編）「第 11 章　付録」「レポート状況を確認／削除する」を参照してください。
これでジョブ再開の準備は完了です。

一般的なトラブル

電源が入らない

Q **電源コードは確実に差し込まれていますか？**

A 電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。

Q **電源コードから電気は供給されていますか？**

A 別の電源コードを使うか、コードが途中で切れていないか電圧計で確認してください。

Q **主電源スイッチは入っていますか？**

A 主電源スイッチをオンにしてください。

エラーランプが点滅する

Q **本製品に用紙が正しくセットされていますか？用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がありますか？**

A 紙づまりが起きている場合は、つまった用紙を取り除いてください。（→用紙がつまったときには：P.11-1）用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がない場合は、用紙を補給してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」）

A 紙づまりが起きていない場合や用紙が用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている場合は、本製品の主電源スイッチをオフにし、10 秒以上待ってからスイッチをオンにしてください。問題が解決するとエラーランプが消え、ディスプレイは待受画面に戻ります。エラーランプが点滅したままの場合は、電源コードを抜き、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ディスプレイに何も表示されない

Q **電源コードは確実に差し込まれていますか？**

A 電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。

Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。
Q	**スリープモードになっていませんか？**
A	操作パネルの［節電］を押して、スリープモードを解除してください。

給紙のトラブル

正常に給紙されない

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」）
Q	**用紙を入れすぎていませんか？**
A	用紙の枚数が適切か確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-5）

用紙が重なって送られる

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」）
Q	**用紙を入れすぎていませんか？**
A	用紙の枚数が適切か確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-5）
Q	**セットされた用紙は 1 種類だけですか？**
A	1 種類の用紙のみをセットしてください。
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-5）
A	用紙がなくなってから補給してください。異なった用紙を混ぜないでください。

紙づまりが繰り返し起こる

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-5）

送受信のトラブル

送信時のトラブル

電子メール／Iファクス／ファイルサーバ送信ができない

Q	**主電源スイッチを入れたばかりですか？**
A	原稿の読み込みができる状態になるまで、しばらくお待ちください。
Q	**入力した電子メールアドレスやIファクスアドレスまたは宛先表に登録した電子メールアドレス、Iファクスアドレス、ファイルサーバ送信先の宛先は正しいですか？**
A	宛先が正しいか確認してください。
Q	**電子メール送信またはIファクス送信の場合、SMTP サーバ、DNS サーバの設定は正しいですか？**
A	SMTP サーバ（→操作ガイド（総合編）＞ ネットワーク設定 ＞ 電子メールの設定)、DNS サーバ (→操作ガイド（総合編）＞ ネットワーク設定 ＞ その他のネットワーク設定 ＞ DNS サーバの設定（IPv4 設定)）の設定を確認してください。
Q	**ファイルサーバ送信の場合、ユーザ名やパスワードは正しいですか？**
A	ファイルサーバの宛先登録時に指定する＜ユーザ名＞と＜暗証番号＞が、ファイルサーバ側に登録されているユーザ名とパスワードに一致していない可能性があります。宛先の設定方法については、「ファイルサーバ送信先を登録する」(→ P.4-15)、ファイルサーバの設定方法については、操作ガイド（総合編）＞ ネットワーク設定 ＞ プリント／ファクス送信の設定 ＞ コンピュータの設定 を参照し、双方の設定内容が一致しているかどうか確認してください。
Q	**＜ SMB クライアントを使用＞が＜ OFF ＞に設定されていませんか？**
A	＜ SMB クライアントを使用＞を＜ ON ＞に設定してください。(→操作ガイド（総合編）＞ ネットワーク設定 ＞ ファイルサーバの設定 ＞ 本製品の設定)

ファクスが送信できない

Q	**主電源スイッチを入れたばかりですか？**
A	原稿の読み込みができる状態になるまで、しばらくお待ちください。
Q	**電話回線の種類（ダイヤル／プッシュ）は正しく設定されていますか？**
A	電話回線の種類が正しく設定されているか確認してください。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「電話回線の種類を手動で設定する場合」）
Q	**ファクスモードになっていますか？**
A	［ファクス／送信］を繰り返し押して<ファクス>を選択し、［OK］を押してください。
Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。（→原稿をセットする：P.2-3）
A	操作パネル部と後ろカバーが確実に閉じられていることを確認してください。（→本体内部につまった用紙を取り除く：P.11-3）
Q	**入力したワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号は正しく登録されていますか？**
A	ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号が正しく登録されているか確認してください。（→宛先を指定する：P.4-30）
Q	**正しい番号にダイヤルしましたか？**
A	番号が正しいか確認してください。
Q	**スリープモードになっていませんか？**
A	スリープモードでは原稿は読み込まれません。スリープモードを解除するには、操作パネルの［節電］を押してください。
Q	**相手機の記録紙がなくなっていませんか？**
A	記録紙がなくなっていないか、相手先に確認してください。

Q	**メモリから別の原稿を送信中ではありませんか？**
A	送信が終わるまでお待ちください。
Q	**通信中にエラーが発生しませんでしたか？**
A	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。（→ディスプレイの表示：P.11-5）
A	通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。（→通信管理レポート：P.12-43）
Q	**電話線は正しく接続されていますか？**
A	電話線が正しく接続されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」）
Q	**電話回線は正常ですか？**
A	［オンフック］を押したとき、または本製品に接続されている外付け電話機の受話器を取ったときに、発信音が聞こえるか確認してください。発信音がない場合は、お近くの電話会社にお問い合わせください。
Q	**相手機は G3 機ですか？**
A	相手機が本製品と互換性があるか確認してください。
Q	**エラー送信レポートに「話し中でした」と表示されていますか？**
A	相手機が通話中です。しばらくしてからもう一度送信してみてください。
Q	**相手機が 35 秒以内に応答しましたか？**
A	相手先に連絡して、ファクスを確認してもらってください。海外へ送信する場合は、登録した番号にポーズを挿入してください。（→海外にファクスを送る（ポーズの挿入）：P.4-62）
Q	**実行／メモリランプが点滅していますか？**
A	外付け電話機が使用中です。外付け電話機の通話が終了するまでお待ちください。

Q **本製品が過熱していませんか？**

A 電源コードを抜き 5 分ほど放置して冷やしてください。そのあとに電源コードを差し込み、もう一度送信してみてください。

送信しようとするとメモリがすぐにいっぱいになる

Q **＜スーパーファイン＞または＜ウルトラファイン＞で送信していませんか？**

A 画質（解像度）を高く保ちたい場合は、原稿を分割して、各部分を別べつに送信してください。

A 細かい文字や写真のある原稿の場合は、メモリ送信を使わずに手動で送信してください。

A 細かい文字や写真のない原稿の場合は、画質（解像度）を＜標準＞に設定して送信してください。

Q **メモリ残量が少なくなっていませんか？**

A メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。

送信したファクスに汚れがある

Q **相手機は正常に動作していますか？**

A コピーをとって本製品の動作を確認してください。コピーがきれいな場合は、受信側のファクスに問題がある可能性があります。コピーが汚れている場合は、原稿台ガラスまたは読み取りエリアを清掃してください。（→日常のお手入れ：P.10-1）

Q **原稿は正しくセットされていますか？**

A 原稿が正しくセットされているか確認してください。（→原稿をセットする：P.2-3）

送信したファクスが相手側で縮小して受信される

Q **相手機側の原稿サイズの設定は適切ですか？**

A 相手機の原稿サイズの設定が適切かどうか確認するよう依頼してください。

相手の受信原稿が薄い

Q **濃度が<薄く>側に設定されていますか？**

A 濃度を<濃く>側に設定します。（→濃度を調節する：P.4-5）

Q **読み取りエリアはきれいですか？**

A 読み取りエリアがきれいか確認してください。（→日常のお手入れ：P.10-1）

送信速度が遅い

Q **画質（解像度）が<ファイン>、<写真>、<スーパーファイン>または<ウルトラファイン>に設定されていませんか？**

A 画質（解像度）を<標準>にすると送信時間が短くなります。

Q **ECM（エラー訂正モード）が設定されていませんか？**

A 通信中にエラー訂正処理が行われるため、使用している回線の状態が悪い場合は通信時間が長くなります。
< ECM 送信>を< OFF >に設定してください。（→送信／受信仕様設定：P.12-7）

ECM（エラー訂正モード）で送信できない

Q **相手機のファクスは ECM に対応していますか？**

A 相手機のファクスが ECM に対応していない場合は、エラー訂正をしない通常モードで原稿が送信されます。

送信中にエラーが頻発する

Q **電話回線の状態は良好ですか？確実に接続されていますか？**

A 電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。

A 送信速度を下げてください。（→システム管理設定：P.9-1、P.12-23）

［リダイヤル］を使って過去に指定した宛先を呼び出せない

Q **<リダイヤルの制限>または<リダイヤル／コールの制限>が< ON >に設定されていませんか？**

A <リダイヤルの制限>または<リダイヤル／コールの制限>を< ON >に設定していると、コール機能は使えません。（→リダイヤル機能／コール機能を制限する：P.9-23）

宛先指定時にファクス番号の入力を再度求められる

Q **<ファクス番号確認入力>が< ON >に設定されていませんか？**

A <ファクス番号確認入力>を< ON >に設定していると、宛先指定時にファクス番号を再度入力する必要があります。（→送信前にファクス番号を再度確認する：P.9-22）

一度に複数の宛先に送信できない

Q **<同報送信の制限>が<同報送信不可>に設定されていませんか？**

A <同報送信の制限>が<同報送信不可>に設定していると、一度に複数の宛先に送信できません。（→同報送信を制限する：P.9-24）

受信時のトラブル

電子メールが受信できない。

Q **ネットワーク設定は設定されていますか？**

A ネットワーク設定をしないと、受信できません。システム管理者に確認してください。

ファクスを自動受信できない

Q **自動受信に設定されていますか？**

A 自動受信するには、受信モードを＜ FAX/TEL ＞、＜自動＞または＜留守 TEL ＞に設定します。＜留守 TEL ＞に設定してある場合は、留守番電話機が本製品に接続され、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っているか確認してください。（→受信する：P.5-1）

Q **メモリ残量が少なくなっていませんか？**

A メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。

Q **受信中にエラーが発生しましたか？**

A 操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。（→ディスプレイの表示：P.11-5）

A 通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。（→通信管理レポート：P.12-43）

Q **用紙はセットされていますか？**

A 用紙がセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」）

Q **電話回線は正しく接続されていますか？**

A ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」）

電話とファクスが自動的に切り替わらない

Q	**電話とファクスが自動的に切り替わるよう設定されていますか？**
A	自動的に切り替えるには、受信モードを< FAX/TEL >または<留守 TEL >に設定する必要があります。<留守 TEL >に設定してある場合は、留守番電話機が本製品に接続され、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っているか確認してください。（→受信する：P.5-1）
Q	**メモリ残量が少なくなっていませんか？**
A	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
Q	**受信中にエラーが発生しましたか？**
A	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。（→ディスプレイの表示：P.11-5）
A	通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。（→通信管理レポート：P.12-43）
Q	**用紙はセットしてありますか？**
A	用紙がセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」）
Q	**相手機は、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切替信号を送信できますか？**
A	この機能に対応していないファクス機もあります。対応していない場合は、ファクスは手動で受信してください。

手動受信できない

Q	**手動受信に設定されていますか？**
A	受信モードを<手動>に設定してください。（→受信する：P.5-1）
A	受信モードが<手動>に設定していても、<自動受信切替>を< ON >に設定しているとファクスを自動で受信します。（→送信／受信仕様設定：P.12-7）

Q	**受話器を置いたあとに、[スタート]を押したりリモート受信 ID を入力したりしていませんか？**
A	受話器を置く前に、[スタート]を押すかリモート受信 ID を入力してください。先に受話器を置くと、通信が切れてしまいます。
Q	**ADF に原稿がセットされていませんか？**
A	ADF から原稿を取り除いたあと、再度、手動受信を行ってください。 ADF に原稿がセットされている状態で[スタート]を押した場合、手動送信となってしまいます。

きれいにプリントできない

Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。問題が解決しない場合は、カートリッジを交換してください。(→トナーカートリッジの交換：P.10-10)
Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-5)
Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	相手機の読み取りガラスが汚れていないか確認してもらってください。
Q	**トナーセーブモードになっていませんか？**
A	<共通仕様設定>の<トナーセーブモード>を< OFF >に設定してください。 (→メニューの設定内容：P.12-4)

プリントできない

Q　**トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**

A　トナーカートリッジのシーリングテープが外されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）

Q　**カートリッジは正しくセットされていますか？**

A　トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）

Q　**トナーが少なくなっていませんか？**

A　受信した原稿をトナーカートリッジの交換をせずにプリントする場合は、＜ファクス仕様設定＞の＜プリント設定＞で＜印字継続＞を＜ON＞に設定してください。トナーが少なくなってもプリントし続けます。この場合、トナーが完全になくなっても、原稿はメモリに蓄積されません。新しいトナーカートリッジをセットし、＜印字継続＞を＜しない＞に設定し直してください。

Q　**カートリッジにトナーは残っていますか？**

A　トナーカートリッジを交換してください。（→トナーカートリッジの交換：P.10-10）

Q　**正しい用紙がセットされていますか？**

A　本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-5）

A　＜用紙設定＞メニューの設定内容を変更してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-11）

画像に汚点またはムラがある

Q　**＜ECM受信＞を＜ON＞に設定していますか？**

A　ECM（エラー訂正モード）を使えばこのような問題は解消されます。ただし、電話回線の状態が悪い場合は、再度受信しなければならないこともあります。相手先に連絡して、再送信してもらってください。

Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	相手機の読み取りガラスが汚れていないか確認してもらってください。
Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。（→トナーカートリッジの交換：P.10-10）

受信した原稿の一部が欠けている

Q	**用紙カセットのペーパーガイドは用紙サイズに合わせてありますか？**
A	用紙カセットのガイドを用紙サイズに合わせてください。
Q	**用紙カセットの用紙サイズに合ったものを指定してありますか？**
A	用紙カセットの用紙サイズに合ったものを指定してください。
Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。問題が解決しない場合は、カートリッジを交換してください。（→トナーカートリッジの交換：P.10-10）

ECM（エラー訂正モード）で受信できない

Q	**送信側のファクスは ECM に対応していますか？**
A	送信側のファクスが ECM に対応していない場合は、エラー訂正をしない通常モードで原稿が受信されます。

受信速度が遅い

Q	**ECM（エラー訂正モード）が設定されていませんか？**
A	通信中にエラー訂正処理が行われるため、使用している回線の状態が悪い場合は通信時間が長くなります。 ＜ ECM 送信＞を＜ OFF ＞に設定してください。（→送信／受信仕様設定：P.12-7）
Q	**相手機の解像度が高く設定されていませんか？**
A	相手先に連絡して、解像度の設定が適切かどうか確認するよう依頼してください。

情報サービスからファクスを受信できない

Q	**電話回線の種類はプッシュ回線に設定されていますか？**
A	ダイヤル回線に設定されている場合は、[トーン］を押して一時的にトーン発信に切り替えてください。
Q	**情報サービス側から「発信音が聞こえたらスタートボタンを押してください。」などのアナウンスがありましたか？**
A	発信音が聞こえたら［スタート］を押してください。

受信中にエラーが頻発する

Q	**電話回線の状態は良好ですか？確実に接続されていますか？**
A	電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。
A	受信速度を下げてください。（→システム管理設定：P.12-23）
Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	相手機が正常に動作しているか、確認してもらってください。

受信したファクスを用紙の両面にプリントできない

Q	両面印刷が設定されていますか？
A	＜両面記録＞を＜ ON ＞に設定してください。（→両面印刷：P.5-22）

コピーのトラブル

白紙が排出される

Q **トナーカートリッジにトナーは残っていますか？**

A ディスプレイに<トナー少（継続プリント可）／トナー準備して下さい>というメッセージが表示されている場合は、カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてください。それでもメッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換：P.10-10）

Q **トナーカートリッジは正しくセットされていますか？**

A トナーカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）

Q **トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**

A トナーカートリッジのシーリングテープが外されていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）

印字が薄い、印字ムラが出る

Q **トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**

A トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていると、薄くなったりムラになることがあります。
カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてください。問題が解決しない場合は、カートリッジを交換してください。（→トナーカートリッジの交換：P.10-10）

コピーした用紙にスジが入る

Q **トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**

A トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていると、用紙に白いスジが入ることがあります。
カートリッジを取り外して5、6回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてください。問題が解決しない場合は、カートリッジを交換してください。（→トナーカートリッジの交換：P.10-10）

コピーが汚い

Q **本製品の読み取り部分や内部が汚れていませんか？**

A 本製品の読み取り部分や内部が汚れていると黒いスジが入ることがあります。
読み取り部分や定着器の清掃をしてください。（→日常のお手入れ：P.10-1）

用紙がつまる

Q **操作パネル部と後ろカバーは閉じられていますか？**

A 操作パネル部と後ろカバーが確実に閉じられていることを確認してください。
（→本体内部につまった用紙を取り除く：P.11-3）

Q **用紙は正しくセットされていますか？**

A 用紙が正しくセットされているか確認してください。（→用紙をセットする：P.2-8）

Q **正しい用紙がセットされていますか？**

A 本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-5）

コピーが曲がっている

Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。（→原稿をセットする：P.2-3）
Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」）
A	原稿排紙トレイや排紙トレイの排紙口がふさがれていないか確認してください。（→各部の名称とはたらき：P.1-1）

コピーの質が良くない

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-5）
Q	**用紙の正しい面にコピーしていますか？**
A	用紙によっては裏と表があります。プリントの質が悪い場合は、用紙の別の面にプリントしてみてください。

左右（上下）開きで両面コピーしたのに、上下（左右）開きで両面コピーされる

Q	**横原稿でコピーしていませんか？**
A	横原稿で両面コピーした場合、＜左右開き＞のときは上下開き、＜上下開き＞のときは、左右開きでコピーされます。（→両面コピー：P.3-7）

コピー中にアラームが鳴る、またはディスプレイに＜メモリがいっぱいです＞と表示される

Q	**メモリがいっぱいになっていませんか？**
A	メモリ残量を確認してください。（→メモリ残量を確認する：P.12-51）

電話のトラブル

ダイヤルできない

Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	電話線コードが正しく接続されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電源コードを接続し、電源を入れる」）
Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品と電源コンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップが電源に接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。
Q	**電話回線の種類（ダイヤル／プッシュ）は正しく設定されていますか？**
A	電話回線の種類が正しく設定されているか確認してください。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「電話回線の種類を手動で設定する場合」）

通話中に電話が切れる

Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	電話線コードが正しく接続されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」）
Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**電話線に不具合がありませんか？**
A	別の電話線コードを使って、電話線コードが正常かどうか確認してください。

電話が通じない、または間違った番号にかかる

Q	**電話番号を入力する前に、発信音を確認しましたか？**
A	電話番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

電力供給が止まったら

突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、内蔵バッテリによりユーザデータ設定内容やスピードダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリ内に蓄積されたジョブは、約 3 時間保存されます。
電力供給が止まっている間の機能は、以下のように制限されます。

- 送受信、コピー、スキャン、プリントはできません。
- 外付け電話機を使っての電話はかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機を使って電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

メモ

内蔵バッテリを完全に充電するには主電源を入れてから約 14 時間かかります。充電が不十分だとメモリ内にデータがきちんと保存されない場合があります。

トラブルが解決しない場合

本章の説明を参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。
ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名（Canofax L1000）
- シリアル番号（本体裏面のラベルに記載されています）
- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

注意

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合は、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

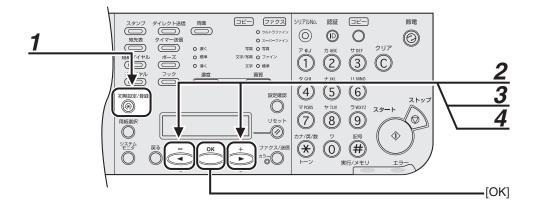
メモ

ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

12 各種機能の登録／設定

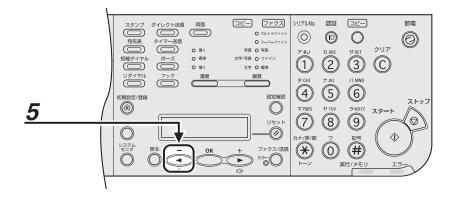
各種機能を登録／設定する

設定メニューから機能内容を設定／変更することができます。現在の設定内容を確認するには、ユーザデータリストをプリントしてください。

ユーザデータリストをプリントする

1 ［初期設定／登録］を押します。

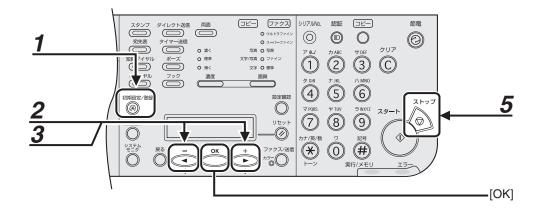
2 ［◄－］または［＋►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜リストプリント＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜ユーザデータリスト＞を選択し、［OK］を押します。

5　＜プリントしますか？＞のメッセージが表示されたら、［◄ ー］を押して＜はい＞を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。
プリントを中止する場合は、［＋►］を押して＜いいえ＞を選択します。

設定メニューを使う

---

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押してメニューを選択し、［OK］を押します。

＜用紙設定＞
＜音量調整＞
＜共通仕様設定＞
＜コピー仕様設定＞
＜送信／受信仕様設定＞
＜宛先表仕様設定＞
＜プリンタ仕様設定＞
＜タイマー設定＞
＜調整／クリーニング＞
＜レポート出力＞
＜システム管理設定＞

3 ［◄－］または［＋►］を押してサブメニューを選択し、［OK］を押します。

メモ

サブメニューの詳細は「メニューの設定内容」（→ P.12-4）を参照してください。

4 設定内容を登録するか、サブメニュー項目に進む場合は、［OK］を押します。

5 終了したら、［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

メモ

- ［OK］の前に［ストップ］を押した場合は、設定内容は保存されません。
- ［初期設定／登録］を押して直前の画面に戻ります。

メニューの設定内容

以下の項目を設定できます。

メモ

以下、表中の**太字**は工場出荷時の設定です。

用紙設定	
設定項目	**設定内容**
1 カセット 1 カセット 2*	用紙カセットにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 （→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-11）
1. 用紙サイズ	用紙カセットにセットした用紙のサイズを選択します。 （**A4**、LTR、LGL）
2. 用紙種類の登録	用紙カセットで使用する用紙の種類を選択します。 （**普通紙**、色紙、再生紙、厚紙 1）
2 手差しトレイ	手差しトレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 （→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-11）
1. 用紙サイズ	用紙カセットにセットした用紙のサイズを選択します。 （**A4**、B5、A5R 、EXEC、洋形 4 号、洋形 2 号、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキ、OFICIO、BRAZIL- OFICIO 、MEXICO-OFICIO 、FOLIO、G-LTR、G-LGL、FLSP、LTR、LGL、ユーザ設定（カスタム））
2. 用紙種類の登録	用紙カセットで使用する用紙の種類を選択します。 （**普通紙**、色紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、OHP フィルム、ラベル用紙、ハガキ、4 面ハガキ、封筒）

* オプションのカセットをお使いの場合のみ

音量調整	
設定項目	**設定内容**
1 通信音	ファクス送信中の通信音を設定します。 ・ **鳴らす**（1 ～ 3（1）） ・ 鳴らさない
2 入力音	操作パネルキーの入力音を設定します。 ・ **鳴らす**（1 ～ 3（1）） ・ 鳴らさない
3 警告音	送信失敗などのエラーが起きたときの警告音を設定します。 ・ **鳴らす**（1 ～ 3（1）） ・ 鳴らさない

音量調整	
4 送信終了音	送信終了音を設定します。 ・ **エラー時のみ鳴らす**（1 ～ 3（**1**）） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）
5 受信終了音	受信終了音を設定します。 ・ **エラー時のみ鳴らす**（1 ～ 3（**1**）） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）
6 読取終了音	読み取り終了音を設定します。 ・ **エラー時のみ鳴らす**（1 ～ 3（**1**）） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）
7 プリント終了音	プリント終了音を設定します。 ・ **エラー時のみ鳴らす**（1 ～ 3（**1**）） ・ 鳴らさない ・ 鳴らす（1 ～ 3）

共通仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1 トナーセーブモード	トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON * この機能は、プリントジョブについては無効になります。プリントジョブの設定については、「プリンタ仕様設定 **」（→ P.12-19）を参照してください。
2 プリンタ濃度の選択	原稿とプリントの間で濃度が異なる場合、濃度レベルを調整します。（1 ～ 9（**5**）） * この機能は、プリントジョブについては無効になります。プリントジョブの設定については、「プリンタ仕様設定 **」（→ P.12-19）を参照してください。
3 カセットオート選択	ジョブの処理中に用紙が切れた場合、同じサイズの用紙がセットされている別の給紙元から給紙するかどうかを設定します。
1. コピー	コピージョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ 1．カセット 1（**ON** ／ OFF） ・ 2．カセット 2（**ON** ／ OFF）* ・ 3．手差しトレイ（**OFF** ／ ON）
2. プリンタ **	プリントジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ 1．カセット 1（**ON** ／ OFF） ・ 2．カセット 2（**ON** ／ OFF）*

各種機能の登録／設定

共通仕様設定	
3. ファクス（受信 ***）	ファクスジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ １．カセット１（**ON** ／ OFF） ・ ２．カセット２（**ON** ／ OFF）* ・ ３．手差しトレイ（**OFF** ／ ON）
4. その他	レポートまたはリストのジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ １．カセット１（**ON** ／ OFF） ・ ２．カセット２（**ON** ／ OFF）* ・ ３．手差しトレイ（**OFF** ／ ON）
4 スリープ時の消費電力	スリープモード時の消費電力を 2 つのレベルから選択します。 ・ **低**（ ＜受信モード選択＞が＜自動＞に設定されていない場合のみ有効） ・ 高
5 フィーダ汚れエラー表示	ADF が汚れている場合にメッセージを表示するかどうかを設定します。 ・ **表示する** ・ 表示しない
6 共通設定の初期化	＜共通仕様設定＞をすべて初期値に戻します。 ［◄－］を押して＜はい＞を選択します。 初期値に戻さない場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。

* オプションのカセットをお使いの場合のみ
** オプションのネットワークプリンタキットを装着した場合のみ
*** オプションのセンドキットをお使いの場合のみ使用することができます。

コピー仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1 自動変倍	原稿を自動的に拡大／縮小してコピーするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2 コピー濃度選択	コピー濃度を設定します。（1 ～ 9（**5**））
3 ソート	コピーを自動でソートするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
4 標準モードの変更	コピーの初期値を設定します。
1. 画質	コピーする原稿の種類を設定します。 ・ **文字／写真** ・ 文字 ・ 写真

コピー仕様設定	
2. 濃度	コピー濃度を設定します。 ・ **標準** ・ 濃く ・ 薄く
3. 部数	コピーの部数を設定します。（1 〜 99（**1**））
4. 両面	自動的に両面コピーするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ 片面　>　両面 ・ 両面　>　両面 ・ 両面　>　片面
5. 用紙選択	コピー時の給紙方法を設定します。 ・ **カセット 1** ・ カセット 2*
5 シャープネス	コピーした画像のシャープネス（鮮明度）を調整します。（1 〜 9（**5**））
6 サイズ系列	用紙サイズグループを選択します。* ・ **AB** ・ インチ ・ A
7 コピー設定の初期化	<コピー仕様設定>をすべて初期値に戻します。 ［◄−］を押して<はい>を選択します。 初期値に戻さない場合は、［+►］を押して<いいえ>を選択します。

* オプションのカセットをお使いの場合のみ

送信／受信仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1 共通設定	送信および受信機能全般の設定をします。
1. 送信機能設定	送信機能を設定します。
1. ユーザ略称の登録	発信元のユーザ名／会社名を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」）
2. データ圧縮率 ***	カラーで読み込んだ画像を送信する際の圧縮率を設定します。圧縮率を高くすると文書のメモリ使用量は少なくなりますが低画質になります。圧縮率を低くすると文書のメモリ使用量は多くなりますが高画質になります。 ・ **普通** ・ 高圧縮 ・ 低圧縮

送信／受信仕様設定	
3. リトライ回数 ***	電子メール、I ファクスまたはファイルサーバにジョブを送信するのに、何回リトライするかを設定します。（0 回～ 5 回（**3** 回））（→操作ガイド（総合編）＞ 送受信する ＞ 送信機能をお好みに応じて調整する）
4. 読取濃度	送信する原稿の読み取り濃度を設定します。（1 ～ 9（**5**））
5. 標準モードの変更	送信の初期値を設定します。
1. 読取濃度	送信する画像の濃度を設定します。 ・ **標準** ・ 濃 ・ 薄
2. 解像度	送信する画像の解像度を設定します。 （**200 × 200dpi**、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi）
3. ファイル形式 ***	送信する画像のファイル形式を設定します。 ・ **PDF** ・ TIFF ・ PDF（高圧縮） ・ JPEG
4. 原稿の種類 ***	送信する原稿の種類を設定します。 ・ **文字／写真** ・ 文字 ・ 写真
5. ページごとに分割 ***	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
6. ダイレクト送信	＜ダイレクト送信＞を初期設定にするかどうかを選択します。 ・ **OFF** ・ ON
7. 済スタンプ	＜済スタンプ＞を初期設定にするかどうかを選択します。 ・ **OFF** ・ ON
6. 送信設定 ***	電子メール／I ファクス／ファイルサーバに送信する画像の詳細を設定します。
1. 送信ファイル名	電子メール／I ファクス／ファイルサーバに送信する画像の名前（スペースを含め最大 24 文字）を設定します。
2. 件名	電子メール／I ファクスの件名（スペースを含め最大 40 文字）を設定します。
3. 本文	電子メール／I ファクス／ファイルサーバの本文（スペースを含め最大 140 文字）を設定します。

送信／受信仕様設定	
4. 返信先	電子メール／Iファクスの返信先（スペースを含め最大 120 文字）を設定します。
5. 電子メールの重要度	電子メールの重要度を設定します。 ・ **普通** ・ 低 ・ 高
7. 発信元記録	発信元の情報を設定します。 ・ **つける** ・ つけない
1. 印字位置	発信元情報を原稿内のどこに印刷するかを設定します。 ・ **画像の外につける** ・ 画像の中につける
2. 電話番号マーク	発信元情報内の番号の前に付ける文字を選択します。 ・ **FAX** ・ TEL
8. カラー送信のガンマ値 ***	カラーで読み込んだ画像を送信する際のガンマ値を設定します。受信側に合わせたガンマ値で送信すると、受信側は適切な濃度でプリントすることができます。 （**γ1.8**、γ2.2、γ1.0、γ1.4）
9. シャープネス ***	スキャンした画像のコントラストを設定します。（1 ～ 7（**4**））
10.回転送信	画像を回転するかどうかを設定します（この設定はファクス送信の場合のみ有効です）。 ・ **ON** ・ OFF
11.標準モードの初期化	＜送信機能設定＞の＜標準モードの変更＞をすべて初期値に戻します。 ［◄–］を押して＜はい＞を選択します。 初期値に戻さない場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。
2. 受信機能設定	受信機能を設定します。
1. カセット選択	受信した文書に対応する用紙サイズがない場合の印刷方法を設定できます。
1. スイッチ A	受信した文書を用紙 2 枚に分けてプリントします。用紙 2 枚を合わせると受信した文書と同じサイズになります。 ・ **ON** ・ OFF
2. スイッチ B	受信した文書と同じ幅の用紙にプリントします。余白が空きます。 ・ **ON** ・ OFF

送信／受信仕様設定	
2. 両面記録	受信画像を用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）＞ 送受信する ＞ 両面印刷） ・ **OFF** ・ ON
3. 画像縮小	受信画像を縮小してプリントするかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）＞ 送受信する ＞ 受信画像の縮小） ・ **ON** ・ OFF
1. 縮小モード	縮小モードを選択します。 ・ **自動** ・ 固定（90%、95%、97%、75%）
2. 縮小方向	縮小方向を選択します。 ・ **縦のみ** ・ 縦横
4. 受信情報記録	ファクス番号など送信者の情報を、受信した文書に印字するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5. 印字継続	＜トナー少（継続プリント可）／トナーを準備して下さい＞のメッセージが表示された場合に印字を継続するかどうかの設定をします。 ・ **継続しない：すべての原稿はメモリに保存されます。** ・ 継続する：トナー切れでも、原稿はメモリに保存されません。トナーカートリッジを交換したあと、＜継続しない＞に設定しなおしてください。
2 ファクス設定	ファクス機能を設定します。
1. 受信モード	受信モードを選択します。（→スタートアップガイド「ファクス受信の設定」「受信モードを設定する」） ・ **自動** ・ FAX/TEL ・ 留守 TEL ・ 手動
2. 基本登録	ファクスの基本機能を設定します。
1. ユーザ電話番号登録	お使いのファクス番号（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」）
2. 回線種類の選択	電話回線の種類を選択します。
自動	電話回線の種類を自動で設定します。

送信／受信仕様設定	
手動	電話回線の種類を手動で選択します。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線の種類を手動で設定する場合」） ・ **プッシュ回線** ・ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）
3. オフフックアラーム	外付け電話機の受話器が外れている場合に警告音を鳴らすかどうかを設定します。 ・ **鳴らす** ・ 鳴らさない
3. 送信機能設定	送信機能を設定します。
1. ECM 送信	ECM（エラー訂正モード）送信をするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. ポーズ時間セット	ダイヤルに挿入するポーズの長さを設定します。（1 秒～ 15 秒（**2 秒**））
3. 自動リダイヤル	相手先が話し中、または送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）> 送受信する > 自動リダイヤルを設定する（ファクス送信）） ・ **ON** ・ OFF
1. リダイヤル回数	何回リダイヤルするかを設定します。（1 回～ 10 回（**2 回**））
2. リダイヤル間隔	リダイヤルまでの時間を設定します。（2 分～ 99 分（**2 分**））
3. 送信エラー時リダイヤル	送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
4. ダイヤルタイムアウト	ファクス番号を入力したあと、自動的に原稿を読み込むかどうかを設定します。 テンキーでダイヤルした場合は、この機能は使用できません。 ・ **OFF** ・ ON
5. 済スタンプ	済スタンプを押すタイミングを設定します（オプションのセンドキットを装着している場合、この設定はファクス、I ファクス、電子メール、ファイルサーバ送信の際に有効になります）。 ・ **読込終了時** ・ 通信終了時

送信／受信仕様設定	
6. ダイヤル時回線確認	ダイヤル時に回線確認するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
4. 受信機能設定	受信機能を設定します。
1. ECM 受信	ECM（エラー訂正モード）受信をするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. ファクス /TEL 詳細設定	<ファクス／ TEL >モードの詳細項目を設定します。（→操作ガイド（総合編）> 送受信する > ファクス／ TEL 詳細設定）
1. 呼出開始時間	着信に応答してから呼出音を鳴らすまでの時間を設定します。（0 秒〜 30 秒（**6 秒**））
2. 呼出時間	音声通話の場合に、呼び出し音を鳴らす時間を設定します。（15 秒〜 300 秒（**15 秒**））
3. 呼出後の動作	呼び出し時間が経過したら受信モードに切り替えるか、通話を終了するかを設定します。 ・ **受信** ・ 終了
3. 着信呼出	<受信モード>が<自動>または< FAX/TEL >に設定されている場合、ファクス受信時に外付け電話機の呼出音を鳴らして電話に応答できるようにするかどうかを設定します。 ・ OFF：ファクスを受信しても呼び出し音は鳴りません。（スリープモードに入っているときに、外付け電話機が鳴る場合があります。） ・ **ON：外付け電話機が接続されている場合は、ファクス受信時に呼出音を鳴らします。**
1. 呼出回数	本製品が応答するまでの着信呼び出し音の回数を設定します。（1 回〜 99 回（**2 回**））
4. リモート受信	リモート受信するかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）> 送受信する > リモート受信 ID を登録する） ・ **ON** ・ OFF
1. リモート受信 ID	外付け電話機から ID 番号をダイヤルして受信を開始することができます。 0 〜 9、*、# を使用した 2 桁の ID が設定できます。（**25**）
5. 自動受信切替	手動受信で、外付け電話機が指定された時間呼び出し音を鳴らしたあとに、自動受信に切り替えるかどうかを設定します。 ・ **OFF：外付け電話機は、受話器を取るまで鳴り続けます。** ・ ON：指定時間呼出音が鳴ったあと、受信モードに切り替わります。
1. 呼出時間	受信モードに切り替わるまでの時間を設定します。（1 秒〜 99 秒（**15 秒**））

送信／受信仕様設定	
6. DM 制限	送信者情報にファクス・電話番号が入っていない送信元からのファクスを拒否できます。 ・ **OFF：すべてのファクスを受信します。** ・ ON：送信端末識別の信号がある送信元からのファクスのみ受信します。

*** オプションのセンドキットをお使いの場合のみ使用することができます。

宛先表仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1 定型業務ボタン ***	定型業務ボタンの情報を登録します。4 件まで登録できます。（→定型業務ボタンを登録する：P.4-21）
1. ファクス	ファクス番号を登録します。
1. 電話番号	相手先のファクス番号（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. 画質	画質を設定します。 ・ 標準 ・ **ファイン** ・ 写真 ・ スーパーファイン ・ ウルトラファイン
4. 詳細設定	詳細設定をするかどうかの設定をします。 ・ **OFF** ・ ON
1. ECM 通信	ECM（エラー訂正モード）通信をするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 (**33600bps**, 14400bps, 9600bps, 4800bps)
3. 国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ **国内送信** ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3 （→ファクス番号を登録する：P.4-21）

宛先表仕様設定	
2. 電子メール	電子メールアドレスを登録します。
1. 電子メールアドレス	相手先の電子メールアドレス（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 ・ **PDF** ・ TIFF ・ PDF（高圧縮） ・ JPEG
4. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5. 画質	送信する画像の画質を設定します。 **200 × 200dpi**、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
6. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ **文字／写真** ・ 文字 ・ 写真
3. IFAX	I ファクスアドレスを登録します。
1. I ファクスアドレス	相手先の I ファクスアドレス（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
4. 画質	送信する画像の画質を設定します。 **200 × 200dpi**、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
5. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ **文字／写真** ・ 文字 ・ 写真
4. FTP	FTP アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名（最大 120 文字）を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。

宛先表仕様設定	
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス（最大 120 文字）を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名（最大 24 文字）を登録します。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号（最大 24 文字）を登録します。
6. ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 ・ **PDF** ・ TIFF ・ PDF（高圧縮） ・ JPEG
7. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
8. 画質	送信する画像の画質を設定します。 **200 × 200dpi**、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
9. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ **文字／写真** ・ 文字 ・ 写真
5. SMB	SMB サーバアドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名（最大 120 文字）を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス（最大 120 文字）を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名（最大 24 文字）を登録します。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号（最大 14 文字）を登録します。
6. ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 ・ **PDF** ・ TIFF ・ PDF（高圧縮） ・ JPEG
7. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON

宛先表仕様設定	
8. 画質	送信する画像の画質を設定します。 **200 × 200dpi**、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
9. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ **文字／写真** ・ 文字 ・ 写真
2 ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルの情報を登録します。80 件まで登録できます。(→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する:P.4-10)
1. ファクス	ファクス番号を登録します。
1. 電話番号	相手先のファクス番号（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. 詳細設定	詳細設定をするかどうかの設定をします。 ・ **OFF** ・ ON
1. ECM 通信	ECM（エラー訂正モード）を使用するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 (**33600bps**、14400bps、9600bps、4800bps)
3. 国内／国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ **国内送信** ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3 (→ファクス番号を登録する：P.4-10)
2. 電子メール ***	電子メールアドレスを登録します。
1. 電子メールアドレス	相手先の電子メールアドレス（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. IFAX***	I ファクスアドレスを登録します。
1. I ファクスアドレス	相手先の I ファクスアドレス（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
4. FTP***	FTP アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名（最大 120 文字）を登録します。

宛先表仕様設定	
2. 名前	相手先に任意の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス（最大 120 文字）を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名（最大 24 文字）を登録します。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号（最大 24 文字）を登録します。
5. SMB***	SMB アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名（最大 120 文字）を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス（最大 120 文字）を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名（最大 24 文字）を登録します。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号（最大 14 文字）を登録します。
3 短縮ダイヤル	短縮ダイヤルの情報を登録します。420 件まで登録できます。 (→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する:P.4-10)
1. ファクス	ファクス番号を登録します。
1. 電話番号	相手先のファクス番号（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. 詳細設定	詳細設定をするかどうかの設定をします。 ・ **OFF** ・ ON
1. ECM 通信	ECM（エラー訂正モード）を使用するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 （**33600bps**、14400bps、9600bps、4800bps）
3. 国内／国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ **国内送信** ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3 (→ファクス番号を登録する：P.4-10)
2. 電子メール ***	電子メールアドレスを登録します。
1. 電子メールアドレス	相手先の電子メールアドレス（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。

宛先表仕様設定	
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. IFAX***	I ファクスアドレスを登録します。
1. I ファクスアドレス	相手先の I ファクスアドレス（スペースを含め最大 120 桁）を登録します。
2. 名前	相手先の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
4. FTP***	FTP アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名（最大 120 文字）を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス（最大 120 文字）を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名（最大 24 文字）を登録します。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号（最大 24 文字）を登録します。
5. SMB***	SMB アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名（最大 120 文字）を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス（最大 120 文字）を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名（最大 24 文字）を登録します。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号（最大 14 文字）を登録します。
4 グループダイヤル	グループダイヤルの情報を登録します。499 件まで登録できます。(→グループダイヤルを登録／編集する：P.4-24)
1. 登録済み宛先選択	登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの中から、グループダイヤルとして登録する宛先を指定します。
2. 名前	グループ名（スペースを含め最大 16 文字）を登録します。

*** オプションのセンドキットをお使いの場合のみ使用することができます。

プリンタ仕様設定 **	
設定項目	**設定内容**
1 デフォルト用紙サイズ	給紙元が指定されていない場合の用紙サイズの初期値を設定します。 (**A4**、B5、A5、LGL、LTR、EXEC、ハガキ、往復ハガキ、洋形4号、洋形2号、4面ハガキ)
2 デフォルト用紙タイプ	プリントジョブの用紙種類の初期値を設定します。本製品には、指定した用紙の種類に対して最適なプリントモードが設定できます。 (**普通紙**、色紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、OHP フィルム、ラベル用紙、ハガキ、4面ハガキ、封筒)
3 コピー部数	プリントする部数を設定します。(1 ～ 999(**1**))
4 両面	両面プリントをするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5 印字調整	プリントの画質、濃度、トナーセーブモードを設定します。
1. スーパースムーズ	輪郭が粗い画像や文字をスムーズにしてプリントするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. トナー濃度	プリント濃度を調整します。(1 ～ 9(**5**))
3. トナー節約	プリント時にトナーを節約するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
6 ページレイアウト	プリントレイアウトを設定します。
1. とじ位置	両面印刷でのとじ位置を設定します。 ・ **長辺とじ** ・ 短辺とじ
2. とじしろ	ページの余白をミリまたはインチで設定します。 ・ **ミリ**(-50.0 ミリ ～ 50.0 ミリ(**0.0 ミリ**)) ・ インチ(-01.90 インチ～ 01.90 インチ)
7 自動エラースキップ	エラーをスキップして自動的にプリントを継続するか設定できます。 ・ **OFF:エラーが発生したとき、メッセージを表示し、ジョブがキャンセルされるまでプリント機能を停止します。** ・ ON:エラーが発生したとき、スキップ可能なエラーの場合は自動的にプリントを継続します。
8 ソート	出力を自動的にソートするか設定できます。 ・ **OFF** ・ 部単位

プリンタ仕様設定 **	
9 エラータイムアウト	コンピュータからデータが受信されない場合、エラーになるまでの時間を設定します。 ・ **ON：(5 秒～ 300 秒（15 秒))** ・ OFF
10プリンタ設定の初期化	<プリンタ仕様設定>をすべて初期値に戻します。 [◄−］を押して<はい>を選択します。 初期値に戻さない場合は、[+►］を押して<いいえ>を選択します。
11プリンタリセット	処理中のプリントジョブをすべて取り消し、プリンタ機能をリセットします。 [◄−］を押して<はい>を選択します。 リセットしない場合は、[+►］を押して<いいえ>を選択します。

** オプションのネットワークプリンタキットを装着した場合のみ

タイマー設定	
設定項目	**設定内容**
1 日付／時刻設定	現在の日付と時刻を設定します。 (→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「日付／時刻を設定する」)
2 タイムゾーン	本製品の設定場所のタイムゾーンを設定します。(GMT − 12：00 ～ GMT ＋ 12：00（**GMT ＋ 9：00**))
3 日付／時刻タイプ	日付／時刻タイプ日付の表示形式を設定します。 ・ **YYYY MM/DD** ・ MM/DD/YYYY ・ DD/MM YYYY
4 オートスリープタイム	本製品が一定時間（3 分～ 30 分）使用されない場合に、自動的にスリープモードに入るかどうかを設定します。 (→スリープモードを設定する：P.1-12) ・ **ON：(3 分～ 30 分（5 分))** ・ OFF
5 オートクリアタイム	オートクリア機能を設定します。本製品が一定時間（1 分～ 9 分）使用されない場合に、自動的にディスプレイが待受画面に戻ります。(→オートクリアタイムを設定する：P.1-14) ・ **ON：(1 分～ 9 分（2 分))** ・ OFF

調整／クリーニング

設定項目	設定内容
1 転写ローラのクリーニング	転写ローラをクリーニングします。（→転写ローラ：P.10-9）
2 定着器のクリーニング	定着器ローラをクリーニングします。（→定着器のお手入れ：P.10-4）
3 フィーダのクリーニング	ADF をクリーニングします。（→ ADF を自動的にクリーニングする：P.10-8）
4 特殊モード M	印字の質を向上し、印字濃度のムラをなくします。印字の質の低下や印字ムラがある場合は、転写出力が正しく機能していない可能性があります。 ・ **標準：通常はこの設定を選択します。** ・ 低：高温多湿の場所で長期間保存していた用紙を使用すると起きる印字の質の低下を補正します。 ・ 高：厚紙を使うときに起きる質の低下を補正します。
5 特殊モード N	両面印刷の際に、用紙がカールしたり、つまったりするのを防ぎます。 ・ **OFF** ・ ON
6 特殊モード P	薄紙や定着のノリが悪い紙、ムラが出やすい紙を使用する場合に有効にします。 ・ **OFF** ・ ON
7 特殊モード Q	プリントした用紙に、白や黒の点が現れるのを防ぐかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
8 特殊モード R	しばらく本製品を使用しなかったあとにハーフトーン画像や写真をプリントすると、プリントした最初のページに白いスジが現れる場合があります。白いスジが現れるのを防ぐかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
9 特殊モード S	連続プリントした直後に用紙サイズを変更すると、変更後の用紙でのプリント開始まで、少し時間がかかる場合があります。次のプリントまでの待ち時間を短くするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ スピード優先：待ち時間を短くし、スピードを優先してプリントします。ただし、前の画像が次のプリント面に写ってしまう場合があります。
10連続印刷特殊処理	写真やハーフトーンに設定して連続印刷中に、直前にプリントした用紙の後端跡が次の出力紙に現れることがあります。用紙の後端跡を防ぐかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON

調整／クリーニング	
11用紙後端特殊処理	プリントした用紙が、出力されるときに跳ね上がり、用紙の後端が汚れることがあります。用紙の後端が汚れるのを防ぐかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
12大サイズ紙特殊処理	大型用紙へのトナーの定着を向上させるかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
13フィーダ汚れ自動補正	プリント中の汚れ（チリやホコリによる）低減を有効にするかどうかを設定します。 ADF が汚れていると、コピーに点やスジが入ることがあります。 ・ **ON** ・ OFF
14保守コード	本製品ではこの機能は無効です。

レポート出力	
設定項目	**設定内容**
1 仕様設定	レポート設定を設定します。(→レポート／リストの概要：P.12-37)
1. 送信結果レポート	送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ **エラー時のみプリント：送信エラーが発生したときだけレポートをプリントします。** ・ プリントする：原稿を送信するたびにレポートをプリントします。 ・ プリントしない：レポートをプリントしません。
1. 送信原稿の表示	送信原稿の1ページ目の画像をつけてプリントするかどうかを設定します。 ・ **つけない** ・ つける
2. 受信結果レポート	ファクス受信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ **プリントしない** ・ エラー時のみプリント ・ プリントする
3. 通信管理レポート	通信管理レポートを自動的にプリントするかどうか、送信と受信を分けてプリントするかどうか、指定時刻にプリントするかどうかを設定します。

レポート出力	
1. 定期的に自動プリント	40 回通信（送信と受信）するたびに、通信管理レポートの自動プリントをするかどうかを設定します。送信文書アーカイブを＜ ON ＞に設定している場合は、40 通信ごとに通信管理レポートがプリントされる設定が自動的になされ、この設定項目は表示されません。 ・ **プリントする** ・ プリントしない
2. 送信／受信分離	送信と受信を分けて通信管理レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
3. 指定時刻プリント	指定時刻にプリントするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON（指定時刻）
2 リストプリント	各種レポート／リストをプリントします。
1. 通信管理レポート	通信管理レポート（最大最新の 40 件）を手動でプリントします。
2. 宛先表リスト	スピードダイヤルに登録されているファクス番号の一覧をプリントします。 ・ 1. ワンタッチダイヤルリスト ・ 2. 短縮ダイヤルリスト ・ 3. グループダイヤルリスト
3. 宛先表詳細リスト	スピードダイヤルの詳細をプリントします。 ・ 1. ワンタッチ詳細リスト ・ 2. 短縮詳細リスト
4. ユーザデータリスト	メニューで登録した設定一覧をプリントします。（→ユーザデータリストをプリントする：P.12-1）
5. 転送条件リスト	登録した転送条件一覧をプリントします。（→ユーザデータリストをプリントする：P.12-1）

システム管理設定	
設定項目	**設定内容**
1 システム管理者設定	＜システム管理設定＞の内容を保護するため、システム管理者についての情報を設定します。システム管理部門 ID と暗証番号を設定すると、＜システム管理設定＞に接続するたびにシステム管理部門 ID と暗証番号を入力する必要があります。
1. システム管理部門 ID	本製品のシステム管理者 ID7 桁を登録します。
2. システム管理暗証番号	システムパスワード 7 桁を登録します。

システム管理設定	
3. システム管理者名	システム管理者の名前（スペースを含め最大 32 文字）を登録します。
2 デバイス情報設定	デバイスの情報を設定します。
1. デバイス名	本製品の名前（スペースを含め最大 32 文字）を登録します。
2. 設置場所	本製品の設置場所（スペースを含め最大 32 文字）を登録します。
3 部門別 ID 管理	部門別 ID 管理を使用するかどうかを選択します。
OFF	部門別 ID 管理を無効にします。
ON	部門別 ID 管理を有効にします。
1. 部門 ID 登録	7 桁の数字で部門 ID を登録します。（最大 100 件（オプションのセンドキットを装着している場合は最大 1000 件））
1. 暗証番号	部門 ID の暗証番号を登録します。
2. 制限の設定	コピー、スキャン、プリント、およびコピーとプリントの合計枚数を部門 ID ごとに制限するかどうかを設定します。
1. トータルプリント制限	プリントの合計ページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON（000000 ～ 999999）
2. コピー制限	コピーできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON（000000 ～ 999999）
3. 白黒スキャン制限	スキャンできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON（000000 ～ 999999）
4. カラースキャン制限	スキャンできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON（000000 ～ 999999）
5. プリント制限	プリントできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON（000000 ～ 999999）
3. 消去	選択した部門 ID と設定内容を消去します。 ［◄–］を押して＜はい＞を選択します。 設定内容を消去しない場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。
2. カウント管理	カウント情報を確認、削除、プリントします。

システム管理設定	
1. カウント表示	部門ごとにどれだけの枚数が使われたかを確認します。 ・ 1. トータルプリント ・ 2. コピー ・ 3. スキャン ・ 4. カラースキャン ・ 5. プリント
2. オールクリア	カウント情報を削除します。 ［◄－］を押して＜はい＞を選択します。 削除しない場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。
3. カウントプリント	カウント情報を印刷します。 ［◄－］を押して＜はい＞を選択します。 印刷しない場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。
3. ID 不定ジョブプリント	登録部門 ID と一致しないプリンタドライバからのプリントジョブを許可するかどうかを設定します。
ON	登録部門 ID と一致しないプリンタドライバからのプリントジョブを許可します。
OFF	登録部門 ID と一致しないプリンタドライバからのプリントジョブを許可しません。
4 ユーザ ID 管理	ユーザ ID 管理を許可するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5 ネットワーク設定 **	ネットワーク設定を行います。（→操作ガイド（総合編）＞ ネットワーク設定）
1. TCP/IP 設定	TCP/IP ネットワークを設定します。
1. IPv4 設定	TCP/IPv4 ネットワークを設定します。
1. IP アドレス	IPv4 アドレスを設定します。 ・ 1. IP アドレス自動取得 ・ 2. IP アドレス ・ 3. サブネット マスク ・ 4. ゲートウェイアドレス
1. IP アドレス自動取得	IP アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）＞ 最初の設定 ＞ IP アドレス取得設定（ネットワーク設定）） ・ **ON：IP アドレスが自動的に割り当てられます。** ・ OFF：IP アドレスを手動で割り当てます。
2. IP アドレス	固定 IP アドレスを登録します。（→スタートアップガイド「ネットワーク設定」「IP アドレス取得設定」）
3. サブネット マスク	固定サブネットマスクを登録します。
4. ゲートウェイアドレス	固定ゲートウェイアドレスを登録します。

システム管理設定	
2. PING コマンド	ネットワーク上の機器の IP アドレスを入力して [OK] を押すと、その機器と接続可能か調べることができます。
3. IP アドレス範囲設定	IP アドレス範囲を制限するかどうかを設定します。
OFF	コンピュータの IP アドレス範囲を制限しません。
ON	指定された IP アドレスを持つコンピュータからのみ本製品にデータ（プリント／ファクスジョブ）を送信できるようにします。各設定に、<開始アドレス>と<終了アドレス>を入力する必要があります。 ・ 1. IP アドレス 1 ・ 2. IP アドレス 2 ・ 3. IP アドレス 3 ・ 4. IP アドレス 4 ・ 5. IP アドレス 5 ・ 6. IP アドレス 6 ・ 7. IP アドレス 7 ・ 8. IP アドレス 8 ・ 9. IP アドレス 9 ・ 10. IP アドレス 10
4. DNS 設定	DNS サーバを設定します。
1. DNS サーバ設定	DNS サーバアドレスを登録します。
1. プライマリ DNS サーバ	プライマリサーバの IP アドレスを登録します。
2. セカンダリ DNS サーバ	セカンダリサーバの IP アドレスを登録します。
2. ホスト名／ドメイン名設定	DNS サーバのホスト名とドメイン名を登録します。
1. ホスト名	DNS サーバのホスト名を登録します。
2. ドメイン名	DNS サーバのドメイン名を登録します。
3. DNS の動的更新設定	DNS の動的更新機能を設定します。
1. DNS の動的更新	DNS の動的更新機能を使うかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. IPv6 設定	TCP/IPv6 ネットワークを使用するかどうかを設定します。
1. IPv6 を使用	IPv6 ネットワークを使用するかどうかを設定します。 ・ **OFF：IPv4 の機能だけが動作します。** ・ ON：IPv4 と IPv6 の機能が両方とも動作します。また、リンクローカルアドレスが自動的に設定されます。

システム管理設定	
2. ステートレスアドレス設定	起動時にステートレスアドレスを自動的に設定するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
3. 手動アドレス設定	IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを設定します。
1. 手動アドレスを使用	本体側で固定 IPv6 アドレスを設定するかどうかを設定します。
OFF	固定 IPv6 アドレスを設定しません。
ON	本体側で固定 IPv6 アドレスを設定します。
2. 手動アドレス	本体側で固定 IPv6 アドレスを登録します。
3. プレフィックス長	IPv6 アドレスのプレフィックス長を設定します (1-128)。
4. デフォルトルータアドレス	デフォルトルータアドレスを設定します。
4. DHCPv6 を使用	DHCPv6 を使用して DHCP サーバからステートフルアドレスを取得するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5. PING コマンド	本製品をネットワーク上の機器に接続可能かどうかを調べることができます。
1. PING コマンド	ネットワーク上の機器のIPv6アドレスを入力して [OK] を押すと、その機器と接続可能か調べることができます。
2. ホスト名	ネットワーク上の機器のホスト名を入力して [OK] を押すと、その機器と接続可能か調べることができます。
6. IP アドレス範囲設定	IP アドレス範囲を制限するかどうかを設定します。
OFF	コンピュータの IP アドレス範囲を制限しません。
ON	指定された IP アドレスを持つコンピュータからのみ本製品にデータ（プリント／ファクスジョブ）を送信できるようにします。各設定に、＜開始アドレス＞と＜終了アドレス＞を入力する必要があります。 ・ 1. IP アドレス 1 ・ 2. IP アドレス 2 ・ 3. IP アドレス 3 ・ 4. IP アドレス 4 ・ 5. IP アドレス 5 ・ 6. IP アドレス 6 ・ 7. IP アドレス 7 ・ 8. IP アドレス 8 ・ 9. IP アドレス 9 ・ 10. IP アドレス 10
7. DNS 設定	DNS サーバを設定します。

システム管理設定	
1. DNS サーバ設定	DNS サーバアドレスを登録します。
1. プライマリ DNS サーバ	プライマリサーバの IP アドレスを登録します。
2. セカンダリ DNS サーバ	セカンダリサーバの IP アドレスを登録します。
2. ホスト名／ドメイン名設定	DNS サーバのホスト名とドメイン名を登録します。
1. IPv4 ホスト／ドメイン使用	・ **ON** ・ OFF
2. ホスト名	DNS サーバのホスト名を登録します。
3. ドメイン名	DNS サーバのドメイン名を登録します。
3. DNS の動的更新設定	ダイナミック DNS サーバ設定を使用するかどうかを設定します。
1. DNS 動的更新	DNS の動的更新機能を使うかどうかを設定します。
OFF	ダイナミック DNS サーバ機能を無効にします。
ON	ダイナミック DNS サーバを使用するかどうかを設定します。
1.手動アドレスの登録	手動アドレスを登録します。 ・ **OFF** ・ ON
2.ステートフルアドレスの登録	ステートレスアドレスを登録します。 ・ **OFF** ・ ON
3. WINS 設定 ***	WINS による名前解決を設定します。
1. WINS 名前解決	WINS による名前解決をするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. WINS サーバ設定	WINS サーバの IP アドレスを設定します。
4. LPD 印刷	プリント用アプリケーションに LPD を使うかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
5. RAW 印刷	プリント用アプリケーションに RAW を使うかどうかを設定します。
ON	RAW を使用します。
双方向を使用	双方向通信を使用するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF

システム管理設定	
OFF	RAW を使用しません。
6. PASV モードを使用 ***	PASV モードを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
7. 拡張 FTP***	拡張 FTP を設定します。 ・ **OFF** ・ ON
8. HTTP を使用	リモート UI に対して HTTP（HyperText Transfer Protocol）を有効にするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
9. ポート番号	ポート番号を設定します。
1. LPD	0 ～ 65535（初期値：**515**）
2. RAW	0 ～ 65535（初期値：**9100**）
3. HTTP	0 ～ 65535（初期値：**80**）
4. SMTP 受信 ***	0 ～ 65535（初期値：**25**）
5. POP3 受信 ***	0 ～ 65535（初期値：**110**）
6. FTP 送信 ***	0 ～ 65535（初期値：**21**）
7. SMTP 送信 ***	0 ～ 65535（初期値：**25**）
8. SNMP	0 ～ 65535（初期値：**161**）
10.受信許可 MAC アドレス	MAC アドレスフィルタを有効にするかどうかを設定します。
OFF	MAC アドレスフィルタを無効にします。
ON	本製品へのアクセスを許可するコンピュータの MAC アドレス（最大 5 個）を指定します。 ・ 1. 許可アドレス 1 ・ 2. 許可アドレス 2 ・ 3. 許可アドレス 3 ・ 4. 許可アドレス 4 ・ 5. 許可アドレス 5
2. SMB サーバ設定 ***	NetBIOS ネットワークで本製品を使うための SMB の設定をします。
SMB クライアントを使用	SMB クライアントを使用するかどうかを設定します。
ON	SMB クライアントを使用します。
1. サーバ名	本製品の NetBIOS 名を入力します。
2. ワークグループ名	本製品が属するワークグループ名を入力します。

システム管理設定	
3. コメント	プリンタに関するコメントを入力します。
4. LM アナウンスを使用	本製品の存在をLAN Managerに通知するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
OFF	SMB クライアントを使用しません。
3. SNMP 設定	SNMP の詳細を設定します。
1. SNMP を使用	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. コミュニティ名 1	SNMP コミュニティ名 1（初期値：**public**）を設定します。
3. コミュニティ名 2	SNMP コミュニティ名 2 を設定します。
4. SNMP 書込み可能 1	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ **ON** ・ OFF
5. SNMP 書込み可能 2	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ **OFF** ・ ON
6. 管理情報を取得	Windows Vista をお使いの場合でポートに［標準 TCP/IP ポート］を設定したとき、SNMP によるポートモニタリング機能を自動的に有効にするかどうかを設定します。プリントアプリケーションやプリンタポートなどのプリンタ管理情報を取得できます。 ・ **OFF** ・ ON
4. 専用ポート設定	キヤノンプリンタドライバまたはユーティリティを使って、本製品の詳細情報を設定したり、参照します。 ・ **ON** ・ OFF
5. ETHERNET ドライバ	ネットワークの接続タイプを指定します。
1. 自動検出	Ethernet ドライバの検出方法を選択します。
自動	通信モード（半二重／全二重）および Ethernet の種類（10Base-T/100Base-TX）を自動的に検出するよう設定します。
手動	通信モードと Ethernet の種類を手動で設定します。
1. 通信方式	通信モードを選択します。 ・ **半二重** ・ 全二重

システム管理設定	
2. ETHERNET の種類	Ethernet の種類を選択します。 ・ 10 BASE-T ・ 100 BASE-TX
6. ネットワーク情報	現在のネットワーク設定を確認します。
1. IPv4	IPv4 設定を確認します。
1. IP アドレス	IP アドレスを確認します。
2. サブネット マスク	サブネットマスクを確認します。
3. ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを確認します。
4. ドメイン名	ドメイン名を確認します。
5. ホスト名	ホスト名を確認します。
2. IPv6	IPv6 設定を確認します。
1. リンクローカルアドレス	リンクローカルアドレスを確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
2. ステートレスアドレス 1	ステートレスアドレス 1 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
3. ステートレスアドレス 2	ステートレスアドレス 2 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
4. ステートレスアドレス 3	ステートレスアドレス 3 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
5. ステートレスアドレス 4	ステートレスアドレス 4 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
6. ステートレスアドレス 5	ステートレスアドレス 5 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
7. ステートレスアドレス 6	ステートレスアドレス 6 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
8. ステートフルアドレス	ステートフルアドレスを確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
9. デフォルトルータアドレス	デフォルトのルータアドレスを確認します。

システム管理設定	
10.ドメイン名	ドメイン名を確認します。
11.ホスト名	ホスト名を確認します。
7. 電子メール／I ファクス ***	電子メール／I ファクスを設定します。
1. SMTP 受信	本製品の SMTP 受信機能を利用して直接電子メールを受信するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. SMTP サーバ	SMTP サーバの IP アドレスまたは名称を入力します。
3. POP	POP サーバを使って電子メールを受信するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
4. 認証／暗号化設定	電子メールを送信する前の認証方式を指定します。
1. 送信前の POP 認証	POP サーバにログインしてからメールを送信する方式（電子メールを送信する前に、POP サーバにログインしているユーザを認証する方式）の SMTP サーバかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. SMTP 認証	SMTP サーバにログインしてからメールを送信する方式（電子メールを送信する前に、SMTP サーバにログインしているユーザを認証する方式）の SMTP サーバかどうかを設定します。
ON	SMTP 認証を有効にします。 ・ 1. ユーザ名 ・ 2. パスワード
OFF	SMTP 認証を無効にします。
5. 電子メールアドレス	本製品の電子メールアドレス（最大 64 文字）を入力します。
6. POP サーバ	POPサーバのIPアドレスまたは名称（最大48文字）を入力します。
7. POP アドレス	POP サーバにアクセスするときのログイン名（最大 32 文字）を入力します。
8. POP パスワード	POP サーバにアクセスするときのパスワード（最大 32 文字）を入力します。
9. POP 発行間隔	POPサーバに対して受信メールを確認する間隔を設定します。「0」に設定した場合、POP の自動発行は行いません。（0 分〜 99 分（**0 分**））
8. 起動時間の設定	本製品がネットワーク通信を開始するのを遅らせる時間を設定します。（0 秒〜 300 秒（**60 秒**））
6 通信管理設定	通信機能を設定します。

システム管理設定	
1. 電子メール／Iファクス ***	電子メールの通信設定をします。
1. データサイズ上限値	電子メールを送信することができる最大データサイズを設定します。送信するデータサイズが上限値を超えた場合、複数に分割して送信します。（0MB ～ 99MB（**0MB**））
2. サイズオーバー時の分割	データサイズが設定値を超えた場合、送信するデータを別のファイルに分割するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. ファクス設定	ファクスの通信設定をします。
1. 送信スタートスピード	すべての原稿に対して送信速度を設定します。（**33600bps**、2400bps、4800bps、7200bps、9600bps、14400bps）
2. 受信スタートスピード	すべての原稿に対して受信速度を設定します。（**33600bps**、2400bps、4800bps、7200bps、9600bps、14400bps）
3. 送信文書アーカイブ	送信文書アーカイブを使用するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
3. メモリ受信設定	受信原稿はすべてメモリで受信し、自動的にプリントしないようにするかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）＞ 送受信する ＞ メモリ受信）
OFF	メモリ受信を無効にします。
ON	メモリ受信を有効にします。
1. 暗証番号	メモリを不正なアクセスから保護するための暗証番号を登録します。
2. レポートプリント	メモリ受信のレポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
3. メモリ受信時刻設定	メモリ受信の時間を指定するかどうかを設定します。
OFF	メモリ受信の時間を設定しません。
ON	メモリ受信の時間を設定します。 ・ 1. メモリ受信開始時刻 ・ 2. メモリ受信終了時刻
7 条件なし転送設定	転送条件に一致しない場合の転送先を登録します。
1. ファクス	受信したファクスを転送するかどうかを設定します。
OFF	転送条件に一致しない場合、転送しません。
ON	転送条件に一致しない場合、下記の設定で転送します。
1. 転送	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先を指定します。

システム管理設定	
2. ファイル形式	転送する時のファイル形式を設定します。 ・ TIFF ・ PDF
3. ページごとに分割	複数の画像を各ファイルで送信するかまたは複数の画像を一つのファイルに纏めて送信するかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. IFAX***	受信したＩファクスを転送するかどうかを設定します。
OFF	転送条件に一致しない場合、転送しません。
ON	転送条件に一致しない場合、下記の設定で転送します。
1. 転送	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先を指定します。
2. ファイル形式	転送する時のファイル形式を設定します。 ・ TIFF ・ PDF
3. ページごとに分割	複数の画像を各ファイルで送信するかまたは複数の画像を一つのファイルに纏めて送信するかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
8 転送時 保存 / プリント	転送時、または転送エラーが発生した場合、受信した文書をプリントするかどうかと、メモリに保存するかどうかを設定します。
1. 受信画像をプリント	転送する文書を、転送結果にかかわらず必ずプリントするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. エラー時に画像をプリント	転送エラーが発生した場合、受信した文書をプリントするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
3. エラー時に画像を保存	転送エラーが発生した場合、受信した文書をメモリに保存するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
9 リモート UI の ON/OFF	本製品の操作と設定の変更をする際に、リモート UI 機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
10 送信機能の制限	宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。
1. 宛先表の暗証番号	宛先表に暗証番号（最大 7 桁）を設定します。 ・ **OFF** ・ ON

システム管理設定	
2. 新規宛先の制限	ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルの登録や変更を制限するかどうかを設定します。スピードダイヤルに登録されていない宛先への通信を制限するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON*1 *1以下の条件をすべて満たしている場合は、外付け電話機からの通信が可能になります： ・スリープモードに入っている場合 ・＜受信モード＞が＜自動＞に設定されている場合
3. FAX ドライバ送信許可	ファクスドライバを使ってのコンピュータからのファクス送信を制限するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
4. リダイヤル／コールの制限 ***	［リダイヤル］を押してリダイヤルする機能を無効にするかどうかを設定します。 オプションのセンドキットを装着していない場合は＜リダイヤルの制限＞と表示されます。 ・ **OFF** ・ ON
5. ファクス番号確認入力	ファクスを送信するときに、入力したファクス番号を確認するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
6. 同報送信の制限	同報送信機能を設定します。
OFF	同報送信の制限を設定しません。
同報送信の確認	送信先が複数あることを送信時にメッセージ表示で通知します。
同報送信不可	同報送信を無効にします。
11ジョブ履歴表示	ジョブ履歴の表示を許可するかどうかを設定します。
ON	ジョブ履歴を確認できます。
OFF	ジョブ履歴を確認できません。通信管理レポートは自動的にプリントされません。
12USB デバイスを使用	USB 接続を使ったジョブを制限するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF

システム管理設定	
13PDL 選択（PnP）	プリンタドライバを USB 接続でパソコンにインストールする際に、インストールを許可するドライバを本体側で切り替えることができます。たとえば、ファクスドライバをインストールしたあと追加で CARPS2 プリンタドライバをインストールする場合には、本設定を <UFR II LT> にすると、CARPS2 プリンタドライバを USB 接続でインストールすることができます。 ・ FAX ・ CARPS2 ［◄－］または［+►］を押してインストールするプリンタドライバを選択し、［OK］を押します。
14ファームウェア更新	本製品のファームウェアをバージョンアップする必要がある場合に実行します。

** オプションのネットワークプリンタキットを装着した場合のみ
*** オプションのセンドキットをお使いの場合のみ使用することができます。

レポート／リストの概要

本製品で、以下のレポートとリストをプリントできます。

レポート／リスト	説明
ワンタッチ宛先リスト 1	ワンタッチダイヤルに登録された宛先の一覧です。
ワンタッチ宛先リスト 2	ワンタッチダイヤルリストの詳細一覧です。
短縮宛先リスト 1	短縮ダイヤルに登録された宛先の一覧です。
短縮宛先リスト 2	短縮ダイヤルリストの詳細一覧です。
グループ宛先リスト	グループダイヤルに登録された宛先の一覧です。
ユーザデータリスト	現在の設定の一覧および登録された発信元情報です。
部門別管理リスト	部門別 ID、各部門のスキャン、プリント、コピーの合計数、および各部門のスキャン、プリント、コピーの上限の一覧です。
通信管理レポート	最新 40 件の送受信履歴です。
送信結果レポート	送信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
マルチ通信結果レポート *1	同報送信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
受信結果レポート	受信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
転送条件リスト	転送条件の一覧です。

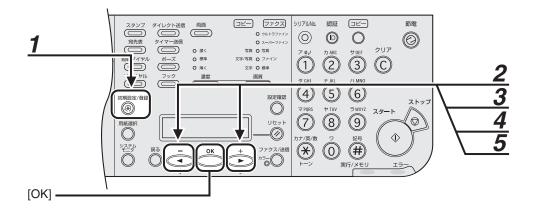
*1 マルチ通信管理レポートは、同報送信した場合の送信結果レポートです。自動でプリントする設定は、送信結果レポートと共通の手順で行います。

レポートを自動でプリントする

送信結果レポート、マルチ通信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポートを自動でプリントするよう設定することができます。

送信結果レポート／マルチ通信結果レポート

メモ

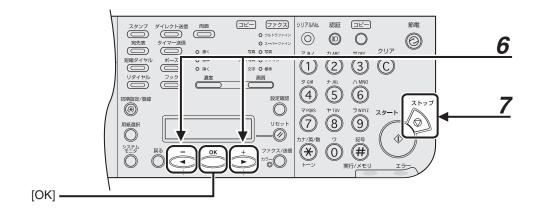
マルチ通信結果レポートは、同報送信した場合の送信結果レポートです。自動でプリントする設定は送信結果レポートと共通の、以下の手順で行います。

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜送信結果レポート＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］または［＋ ►］を押して設定項目を選択し、［OK］を押します。

＜エラー時のみプリント＞：送信エラーが起きた場合のみレポートをプリントします。
＜プリントする＞：原稿を送信するたびにレポートをプリントします。
＜プリントしない＞：レポートをプリントしません。手順 7 に進んでください。

6 [◄－] または [＋►] を押して＜送信原稿の表示＞を選択し、レポートの下に送信原稿の最初のページをプリントするため、[◄－] または [＋►] を押して＜つけない＞または＜つける＞を選択して、[OK] を押します。

＜つけない＞：最初のページをプリントしません。
＜つける＞：最初のページをプリントします。

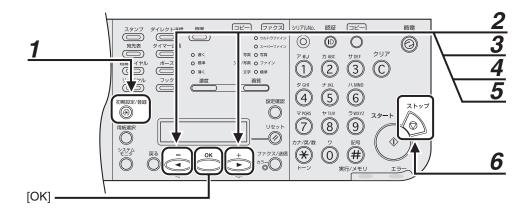
7 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

レポート項目
送信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- **受付番号：受付番号**
- **部門 ID：部門別 ID 管理を設定している場合は、部門 ID がプリントされます。**
- **相手先アドレス：相手先のファクス／電話番号または電子メールアドレス**
- **相手先略称：宛先に登録されている相手先の名前**
- **開始時刻：通信した日付と時刻**
- **通信時間：通信にかかった時間**
- **枚数：送信ページ数**
- **通信結果：通信結果**
  - **OK：通信は正常に終了しました。**
  - **--：サーバへのメールの送信が終了しました。**
  - **NG：通信できませんでした。**
  - **STOP：終了前に通信が手動でキャンセルされました。**
  - **話し中でした：話し中か、相手先が応答しませんでした。**
  - **エラー番号：エラー番号の詳細については、「エラーコード」（→ P.11-11）を参照してください。**

マルチ通信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- **受付番号：受付番号**
- **枚数：送信ページ数**
- **部門 ID：部門別 ID 管理を設定している場合は、部門 ID がプリントされます。**
- **未通信相手先：送信が終了していない相手先アドレスと名称がプリントされます。**
- **終了相手先：送信が終了した相手先アドレスと名称がプリントされます。**
- **エラー相手先：送信エラーとなった相手先アドレスと名称がプリントされます。**

受信結果レポート

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ ー］または［＋ ►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ ー］または［＋ ►］を押して＜仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ ー］または［＋ ►］を押して＜受信結果レポート＞を選択し、［OK］を押します。

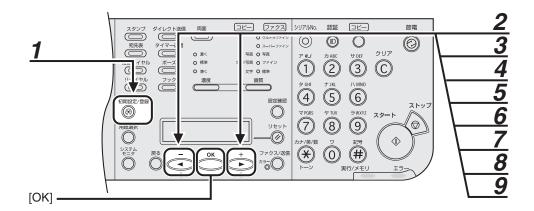
5 ［◄ ー］または［＋ ►］を押して設定項目を選択し、［OK］を押します。

＜プリントしない＞：レポートをプリントしません。
＜エラー時のみプリント＞：受信エラーが起きた場合のみレポートをプリントします。
＜プリントする＞：原稿を受信するたびにレポートをプリントします。

6 ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

レポート項目
受信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- ● **受付番号：受付番号**
- ● **相手先アドレス：送信側のファクス／電話番号または電子メールアドレス**
- ● **相手先略称：宛先に登録されている相手先の名前**
- ● **開始時刻：通信した日付と時刻**
- ● **通信時間：通信にかかった時間**
- ● **枚数：受信ページ数**
- ● **通信結果：通信結果**
- ・ **OK：受信は正常に終了しました。**
- ・ **NG：受信できませんでした。**
- ・ **STOP：終了前に受信が手動でキャンセルされました。**
- ・ **エラー番号：エラー番号の詳細については、
「エラーコード」（→ P.11-11）を参照してください。**

通信管理レポート

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜通信管理レポート＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄－］または［＋►］を押して＜定期的に自動プリント＞を選択し、［OK］を押します。

送信文書アーカイブを <ON> に設定している場合は、40 通信ごとに通信管理レポートがプリントされる設定が自動的になされ、＜定期的に自動プリント＞以下の設定項目は表示されません。手順 7 に進んでください。

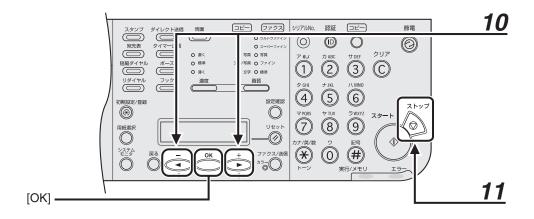
6 ［◄－］または［＋►］を押して希望の設定を選択し、［OK］を押します。

＜プリントする＞：40 通信ごとにレポートをプリントします。
＜プリントしない＞：レポートをプリントしません。

7 ［◄－］または［＋►］を押して＜送信／受信分離＞を選択し、［OK］を押します。

8 ［◄－］または［＋►］を押して希望の設定を選択し、［OK］を押します。

＜ OFF ＞：時間順に送受信結果のレポートをプリントします。
＜ ON ＞：送信、受信別に送受信結果のレポートをプリントします。

9 ［◄－］または［＋►］を押して＜指定時刻プリント＞を選択し、［OK］を押します。

10 [◄ −] または [＋ ►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。

< ON >：指定時刻にレポートをプリントします。テンキーを使って時刻（24 時間制）を入力してください。
< OFF >：指定時刻にレポートをプリントしません。

メモ

< 指定時刻プリント > が <ON> の場合、最新 40 通信分のレポートをプリントします。指定時刻までに 41 通信以上が行われた場合は、新しいものから 40 番目までのレポートをプリントします。

例：　指定時刻までに 45 通信行われた場合
最新の 40 通信分→プリントする
最初の 5 通信分→プリントしない

11 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

レポート項目
通信管理レポートには、以下の項目が表示されます。

- **部門ID：部門別ID管理を設定している場合は、部門IDがプリントされます。**
- **開始時刻：通信した時刻**
- **相手先：相手先の名前とファクス／電話番号または電子メールアドレス**
- **番号：受付番号**
- **通信モード：通信種別と通信サービス名**
- **枚数：送信／受信ページ数**
- **通信結果：通信結果と通信時間**
  - **OK：受信は正常に終了しました。**
  - **--：サーバへのメールの送信が終了しました。**
  - **NG：受信できませんでした。**
  - **STOP：終了前に通信が手動でキャンセルされました。**

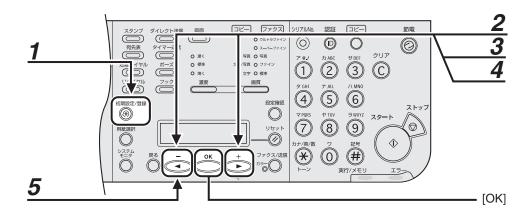
レポート／リストを手動でプリントする

以下のレポートとリストを手動でプリントできます。

・ 通信管理レポート
・ ワンタッチ宛先リスト 1
・ 短縮宛先リスト 1
・ グループ宛先リスト
・ ワンタッチ宛先リスト 2
・ 短縮宛先リスト 2
・ ユーザデータリスト
・ 部門別管理リスト
・ 転送条件リスト

メモ

・ ユーザデータリストをプリントするには、「ユーザデータリストをプリントする」(→ P.12-1) を参照してください。
・ 各レポートとリストの情報は、「レポート／リストの概要」(→ P.12-37) を参照してください。
・ 部門別管理リストをプリントするには、「カウント情報をプリントする（部門別管理リスト）」(→ P.9-13) を参照してください。
・ 転送条件リストをプリントするには、「ユーザデータリストをプリントする」(→ P.12-1) を参照してください。
・ A4、OFICIO、BRAZIL-OFICIO、MEXICO-OFICIO、FOLIO、FLSP、LTR または LGL（普通紙または再生紙）が給紙されているときにだけ、レポートをプリントできます。

通信管理レポートをプリントする

1 ［初期設定／登録］を押します。

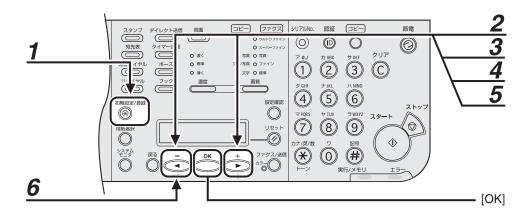
2 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜リストプリント＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して＜通信管理レポート＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］を押して＜はい＞を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。
レポートを印刷しない場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。

ワンタッチ宛先リスト１／短縮宛先リスト１／グループ宛先リストをプリントする

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ ━］または［╋ ►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ ━］または［╋ ►］を押して＜リストプリント＞を選択し、［OK］を押します。

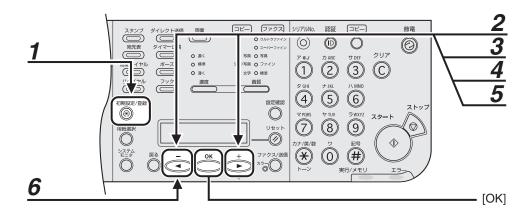
4 ［◄ ━］または［╋ ►］を押して＜宛先表リスト＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ ━］または［╋ ►］を押してプリントしたいリストを選択し、［OK］を押します。

＜ワンタッチダイヤルリスト＞：ワンタッチ宛先リスト１をプリントします。
＜短縮ダイヤルリスト＞：短縮宛先リスト１をプリントします。
＜グループ　ダイヤルリスト＞：グループ宛先リストをプリントします。

6 ［◄ ━］を押して＜はい＞を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。
レポートを印刷しない場合は、［╋ ►］を押して＜いいえ＞を選択します。

ワンタッチ宛先リスト２／短縮宛先リスト２をプリントする

1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜リストプリント＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜宛先表詳細リスト＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］または［＋ ►］を押してプリントしたいリストを選択し、［OK］を押します。

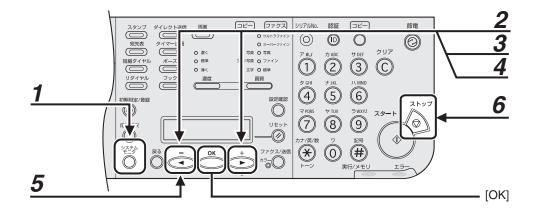
＜ワンタッチ詳細リスト＞：ワンタッチ宛先リスト２をプリントします。
＜短縮詳細リスト＞：短縮宛先リスト２をプリントします。

6 ［◄ −］を押して＜はい＞を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。
レポートを印刷しない場合は、［＋►］を押して＜イイエ＞を選択します。

ジョブの確認と削除

システムモニタを使って、処理中のレポートジョブを確認できます。

レポート状況を確認／削除する

1　［システムモニタ］を繰り返し押して＜レポート状況＞を選択し、［OK］を押します。

2　［◄ー］または［+►］を押してメモリ内にあるレポートジョブを確認します。

ジョブを削除する場合は、手順 3 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

3　［◄ー］または［+►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。

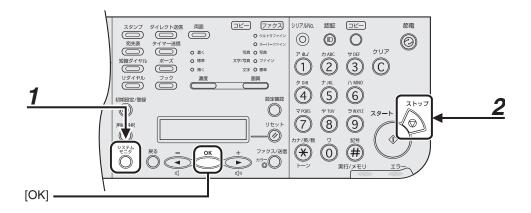
4　［◄ー］または［+►］を押して＜キャンセル＞を選択し、［OK］を押します。

5　［◄ー］を押して＜はい＞を選択します。

削除操作を中止する場合は、［+►］を押して＜いいえ＞を選択します。

6　［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

メモリ残量を確認する

本製品の状態に応じたメモリ残量を確認できます。

1　［システムモニタ］を繰り返し押して<メモリ残量>を選択し、［OK］を押します。

例）

```
メモリ残量
  75%
```

2　［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

13 付録

主な仕様

全体的な仕様	
● 形式	パーソナルデスクトップ
● 電源	100V　50/60Hz
● 消費電力	最大消費：760W 待機時消費：18W スリープモード時消費：3W 以下
● 重量	約 25.5kg（トナーカートリッジを含む）
● 外形寸法（幅×奥行×高さ）	520mm × 481mm × 452mm 520mm × 481mm × 580mm （オプションの用紙カセット取り付け時）
● 設置スペース（幅×奥行）	1097mm × 984mm （オプションのハンドセット取り付け時）
● 動作環境	温度：15 ℃～ 30 ℃ 湿度：10%～ 80%相対湿度
● 使用可能な原稿	→ P.2-1.
● 使用可能な用紙	→ P.2-5.
● プリント範囲	→ P.2-7.
● 読み取り範囲	→ P.2-2.

ファクスの仕様	
● **適用回線**	公衆交換電話網（PSTN）[*1]
● **互換性**	G3
● **データ圧縮方式**	MH、MR、MMR、JBIG
● **モデム速度**	33.6Kbps 自動フォールバック
● **伝送速度**	ページ当り約 3 秒[*2]　ECM-JBIG、33.6Kbps でメモリから送信
● **送信／受信メモリ**	最大約 1500 ページ[*2] （送受信の総ページ数） （最大メモリ送信件数：70 件／最大メモリ受信件数：90 件）
● **ファクス解像度**	＜標準＞：8 画素／ mm × 3.85 ライン／ mm ＜ファイン＞：8 画素／ mm × 7.7 ライン／ mm ＜写真＞：8 画素／ mm × 7.7 ライン／ mm ＜スーパーファイン＞：8 画素／ mm × 15.4 ライン／ mm ＜ウルトラファイン＞：16 画素／ mm × 15.4 ライン／ mm

ファクスの仕様

● ダイヤル方式	・ スピードダイヤル ワンタッチダイヤル（80 件） 短縮ダイヤル（420 件） グループダイヤル（499 件） 宛先表ダイヤル（宛先表キーによる） ・ 通常ダイヤル（テンキーによる） ・ 自動リダイヤル ・ 手動リダイヤル（コール／ポーズキーによる） ・ 同報送信（510 件）
● 受信方式	・ 自動受信 ・ 電話機によるリモート受信（初期設定 ID: 25）

*1 公衆交換電話網は、現在 28.8Kbps までのモデム速度に対応しています。ただし、電話回線の状態により異なります。

*2 ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）標準チャート No.1、JBIG 標準モードによる。

電話の仕様

● 接続可能な電話	ハンドセット（オプション）／外付け電話機／留守番録音機／データモデム

送信の仕様 *1

ファイルサーバ送信の仕様	
● 通信プロトコル	FTP（TCP/IP）、SMB（TCP/IP）
● データフォーマット	TIFF（白黒）、PDF（白黒）、JPEG（カラー）、 PDF（高圧縮）（カラー）
● 解像度	100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi、 200 × 200dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、 600 × 600dpi

送信の仕様[*1]	
● システム環境	Windows 98/Me、Windows XP Professional/Home Edition、Windows 2000 Server/Professional（SP1 以降）、Windows Server 2003、Windows Server Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Solaris Version 2.6 以降、Mac OS X、Red Hat Linux 7.2
● インタフェース	100BASE-TX、10BASE-T
● カラーモード	カラー、白黒
● 入力画像	文字、文字／写真、写真
電子メール／I ファクスの仕様	
● 通信プロトコル	SMTP、POP3、I ファクス（シンプルモード）
● 解像度	100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi、200 × 200dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi
● データフォーマット	TIFF（白黒）、PDF（白黒）、JPEG（カラー）、PDF（高圧縮）（カラー）
● 原稿サイズ	電子メール：A3、B4、A4、A4R、A5、A5R、B5、B5R、LDR、LGL、LTR、LTRR I ファクス：A3[*2]、B4[*2]、A4、A4R、A5[*2]、A5R[*2]、B5[*2]、B5R[*2]、LDR[*2]、LGL[*2]、LTR[*2]、LTRR[*2] [*2] A4 として送信
● 対応サーバソフトウェア	Microsoft Exchange Server 5.5（SP2）、Sendmail 8.11.2、Lotus Domino R4.5/R5

[*1] 送信機能（ファイルサーバ送信、電子メール／I ファクス送信）はオプションのセンドキットを装着した場合のみ使用することができます。

コピーの仕様	
● 読取解像度	＜文字＞、＜写真＞、＜文字／写真＞：600dpi × 600dpi
● 出力解像度	1200dpi 相当× 600dpi
● コピー倍率	自動倍率 1:1.45、1:1.41、1:0.70、1:0.50
● コピー速度	等倍：A4 22 枚／分
● コピー部数	最大 99 部

プリンタの仕様	
● 印刷方式	間接静電気方式（オンデマンド定着）
● 用紙積載可能枚数	・ 用紙カセット：500 枚（80 g/m^2） （オプションのカセットも同様） ・ 手差しトレイ：100 枚（80 g/m^2）
● 排紙枚数	100 枚（64 ～ 80 g/m^2）
● プリント速度	「コピー速度」（→ P.13-4）を参照してください。
● 出力解像度	1200dpi 相当× 600dpi
● 階調	256 階調
● トナーカートリッジ	→ P.1-10.

メモ

仕様は予告なく変更されることがあります。

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノンキヤノフアクスホームページ
■ http://canon.jp/canofax/

付録

索引

く

け

こ

さ

し

と

な

に

の

は

ひ

ふ

ほ

ま

め

も

ゆ

よ

り

れ

わ

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）　**050-555-90055**

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-3169　(020)

XXXXXXXXX

PRINTED IN CHINA